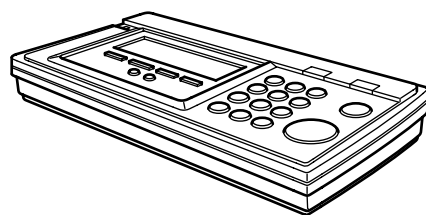




IPSiOSCAN BOX TYPE X2

使用説明書



-
- 1 IPSiOSCAN BOXについて
 - 2 設置をする
 - 3 初期設定を行う
 - 4 スキャナーに原稿をセットする
 - 5 メールで送信する
 - 6 共有フォルダーにファイル送信する
 - 7 FTPサーバーにファイル送信する
 - 8 Ridoc Document Router/Proを利用して配信する
 - 9 ネットワークTWAINスキャナーとして使う
 - 10 付録

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1) 複製、印刷することが禁止されているもの

(見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙

(関係法律)

- 紙幣類似証券取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- (刑法 第148条 第162条)

2) 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

(関係法律)

- 刑法 第149条 第155条 第159条 第162条
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3) 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物(書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など)を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

目次

安全上のご注意.....	3
表示について.....	3
表示の例.....	3
使用上のお願い.....	5
この本の読みかた.....	6
マークについて.....	6
略称・総称について.....	6
同梱品をご確認ください.....	7

1. IPSIOSCAN BOXについて

IPSIOSCAN BOXを使うとできること.....	9
メールの添付ファイルで送信する(Scan to E-mail)...	9
処理の流れ.....	9
共有フォルダーにファイル送信する(Scan to SMB)...	10
処理の流れ.....	10
FTPサーバーにファイル送信する(Scan to FTP)...	11
処理の流れ.....	11
Ridoc Document Router/Proを利用した	
配信をする(Ridoc配信).....	12
処理の流れ.....	12
ネットワークTWAINスキャナーとして共有する...	13
処理の流れ.....	13
各部の名称.....	14
画面に表示されるキーなどの選びかた.....	16
機能設定と待機画面.....	17
優先機能.....	17
機能選択.....	18
待機画面.....	19
[使用可能送信機能]を使用しているとき.....	20
初期設定画面.....	20

2. 設置をする

IPSIOSCAN BOXを設置する.....	21
設置環境を確認する.....	21
スキャナーと接続する.....	21
ネットワークに接続する.....	22
電源コードを接続する.....	22
電源ONのしかた.....	23
電源OFFのしかた.....	23
無線LANカードを装着する.....	24

3. 初期設定を行う

メール送信を利用する場合の準備.....	25
ファイル送信(SMB)を利用する場合の準備.....	26
ファイル送信(FTP)を利用する場合の準備.....	27
Ridoc配信を利用する場合の準備.....	28
ネットワークTWAINスキャナーとして	
使用する場合の準備.....	30
初期設定項目一覧.....	31
一覧表の見方.....	31
初期設定項目一覧.....	32
基本設定.....	32
ファイル送信設定.....	35
メール送信設定.....	36
配信設定.....	37
管理情報.....	38

システム初期設定.....	39
[システム初期設定]の設定項目.....	39
[システム初期設定]の設定をする.....	42
スキャナー送信設定.....	46
[スキャナー送信設定]の設定項目.....	46
[スキャナー送信設定]の設定をする.....	52
読み取り条件設定.....	54
[読み取り条件設定]で登録する項目.....	54
[読み取り条件設定]を登録する.....	58
Webブラウザを使って設定する.....	62
IPSIOSCAN BOXにアクセスする.....	62
クライアントPCの動作環境.....	62
IPSIOSCAN BOXへのアクセス手順.....	63
Web Status Monitorの画面と操作方法.....	64
[設定]の操作手順例.....	65
[読取条件]の操作手順.....	65
[メールアドレス]の操作手順.....	66
[PDFセキュリティ]の操作手順.....	69
Web Status Monitorで登録する項目.....	70
[スキャナー]の[使用可能送信機能]で	
登録する項目.....	70
[タイムサーバー]で登録する項目.....	70
[PDFセキュリティ]で登録する項目.....	71
[ファイル送信パス]で登録する項目.....	71
[FTPサーバー]で登録する項目.....	73
[メールアドレス]で登録する項目.....	75
[送信情報]で設定する項目.....	76
設定の確認.....	78
確認操作の手順.....	78
設定のバックアップとリストア(復元).....	79
バックアップ/リストアの対象項目.....	79
バックアップ時の操作手順.....	79
リストア時の操作手順.....	81
ソフトウェアをインストールする.....	82
CD-ROMの構成.....	82
ネットワークTWAINドライバーを	
インストールする.....	83
ネットワークTWAINドライバーの動作環境.....	83
ネットワークTWAINドライバーの	
インストール手順.....	83
Ridoc Desk Navigator Ltをインストールする.....	84
Ridoc Desk Navigator Ltの動作環境.....	84
Ridoc Desk Navigator Lt関連の説明書.....	84
Ridoc Desk Navigator Ltのインストール手順.....	84
Ridoc I/O Adminをインストールする.....	86
Ridoc I/O Adminについて.....	86
Ridoc I/Oのインストール手順.....	86

4. スキャナーに原稿をセットする

スキャナー送信機能の場合.....	87
原稿面を指定する.....	88
原稿のセット場所について.....	88
原稿の向きと読取面について.....	88
スキャナー送信機能を使用する場合.....	89

5. メールで送信する

メール送信の概要	91
送信されるメール内容について	92
送信者	92
件名	92
メール添付のファイル名とファイル形式	92
メールの本文	93
メール送信を行う前に	94
メール、ファイル送信の待機画面	95
あて先と件名を指定する	96
To:を指定する	96
Cc:を指定する	98
件名を指定する	98
読み取り条件を指定する	99
読み取り設定を確認する	100
送信者を指定する	101
送信する	102
読み取りを開始する	102
ADFに原稿をセットしたとき	102
原稿ガラスに原稿をセットしたとき	103
パスワード入力画面が表示されたとき	104
送信の確認をする	104

6. 共有フォルダーにファイル送信する

登録済みの共有フォルダーへファイル送信する	105
ファイル送信(SMB)の手順の概要	105
共有フォルダーを指定する	106
ファイル名を指定する	107
任意の共有フォルダーにファイルを送信する	108
任意ファイル送信の手順の概要	108
[任意ファイル送信入力]を使う	109
共有フォルダーに送信されたファイルについて	111
保存フォルダー	111
ファイル名	111

7. FTPサーバーにファイル送信する

FTPファイル送信の概要	113
FTPサーバーを指定する	114
FTPサーバーに送信されたファイルについて	116
保存場所	116
ファイル名	116

8. Ridoc Document Router/Proを 利用して配信する

Ridoc配信の概要	119
配信先を指定する	120

9. ネットワークTWAINスキャナー として使う

ネットワークTWAINスキャナーの使用手順の概要	121
Ridoc Desk Navigator Ltで原稿を読み取る	122

10.付録

こんなときには	125
思いどおりに読み取れないとき	125
エラーメッセージが表示されたとき	125
本体に関するエラーが表示されたとき	126
読取条件に関するエラーが表示されたとき	127
Ridoc配信、メール/ファイル送信時に、 本体操作画面にエラーが表示されたとき	129
Webブラウザの画面にエラーが 表示されたとき	131
その他	132
無線LANの設定をする	134
無線LANを使うための設定の概要	134
無線LANを使うための設定手順	134
連結スキャナーのカウンターや消耗品の 交換時期を調べる	138
カウンター項目について	138
カウンター表示・クリアの操作手順	138
メールアドレス一括登録/書き出し時のフォーマット	140
登録エントリー情報	140
機器タグ情報	142
[読み取り条件設定]の制約	143
仕様	144
電波障害について	145
搭載されているソフトウェアの 著作権等に関する情報	146
GPL/LGPL適用ソフトウェアについて	146
BSDライセンス適用ソフトウェアについて	146
The Apache Software License 適用 ソフトウェアについて	146
JPEGソフトウェアについて	151
TIFFソフトウェアについて	152
UCD-SNMPソフトウェアについて	153
MD5ソフトウェア使用許諾文について	154
索引	155

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⊘の中に具体的な禁止内容が描かれています。

(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●の中に具体的な指示内容が描かれています。

(左図の場合は、“電源プラグをコンセントから抜くこと”を表します)

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

警告



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。



- 機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。
- この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源スイッチ（機種によっては主電源スイッチを含みます）を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けしないでください。
- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源スイッチ（機種によっては主電源スイッチを含みます）を切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- 必ず付属のACアダプターをご利用ください。付属以外のACアダプターでは、火災・感電・故障の原因になります。



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠️注意



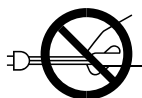
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

使用上のお願い

- 部品は、リコー指定の製品により安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定の交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。
- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- 本機内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や吸気口をふさがないようにしてください。
- 通気口などでは排気により暖かいと感じることがありますが、異常ではありません。
- クリップなどの異物が本機の中に入らないようにしてください。
- 原稿読み取り中に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。
- 日本国外へ移動された場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。

この本の読みかた

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作をすると、紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

補足

操作するとき気をつけることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

参照先を示します。

[]

画面のキーの名称を示します。

【 】

操作部（画面を除く）のキーの名称を示します。

略称・総称について

次の製品(ソフトウェア)については、総称を使用しています。

製品名	総称
Ridoc Desk Navigator *1 と Ridoc Desk Navigator Lt	Ridoc Desk Navigator/Lt
Ridoc Document Router *1 と Ridoc Document Router Pro *1	Ridoc Document Router/Pro

*1 別売になります。

同梱品をご確認ください

同梱品を確認してください。

不足品や不具合があった場合には、サービス実施店までご連絡ください。

- 本機
- 使用説明書(本書)
- 連結スキャナー別機能差異表
- 「スキャナードライバー &ユーティリティ」 CD-ROM
- ACアダプター
- 電源コード
- 保守契約書
- リコー製品サービス窓口一覧
- マイバンク & QA登録票
- お客様登録はがき・(仮)保証書
- ISDN注意書き
- IPSiOコールセンターシール
- ユーザー設定メモラベル
- 個人情報の取り扱いに関して

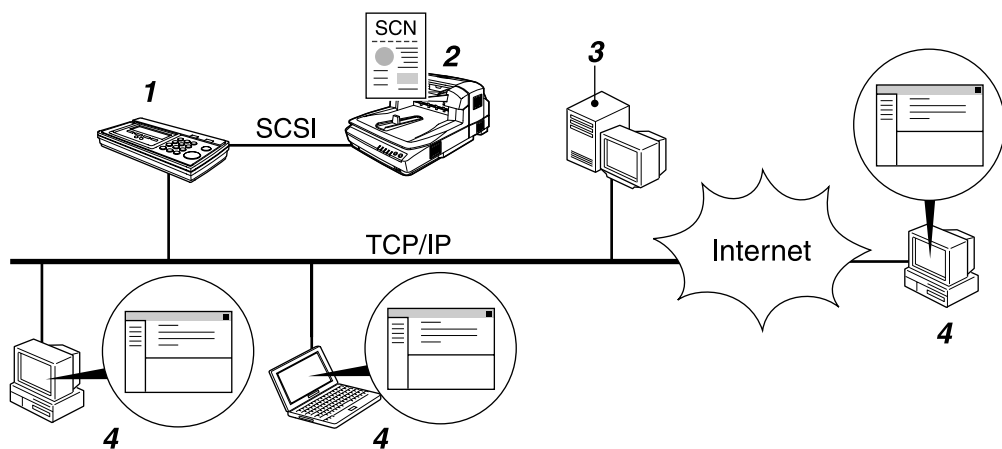
1. IPSiOSCAN BOXについて

IPSiOSCAN BOX TYPE X2(以下IPSiOSCAN BOXと略記)を使用することによってスキャナーの利用形態がどのように広がるのか、また、IPSiOSCAN BOXの各部の名称など、はじめに知っていただきたいことを説明します。

IPSiOSCAN BOXを使うとできること

メールの添付ファイルで送信する(Scan to E-mail)

メールアドレスをあて先として本機に登録することにより、スキャナーで読み取った画像が添付ファイルになったメールを、本機から直接、送信できます。



AHQ005S

1. 本機(IPSiOSCAN BOX)

100BASE-TXまたは10BASE-Tケーブルでネットワーク (TCP/IP) に接続します。オプションの無線 LAN カードで接続することもできます。

2. スキャナー

本機とSCSIケーブルで接続します。

3. SMTPサーバー

SMTPプロトコルの電子メール送信サーバーです。SMTPの電子メールが使える環境であれば利用できます。

4. メールクライアント

電子メールソフト (Outlook など) から、画像ファイルの添付されたメールを受信します。

処理の流れ

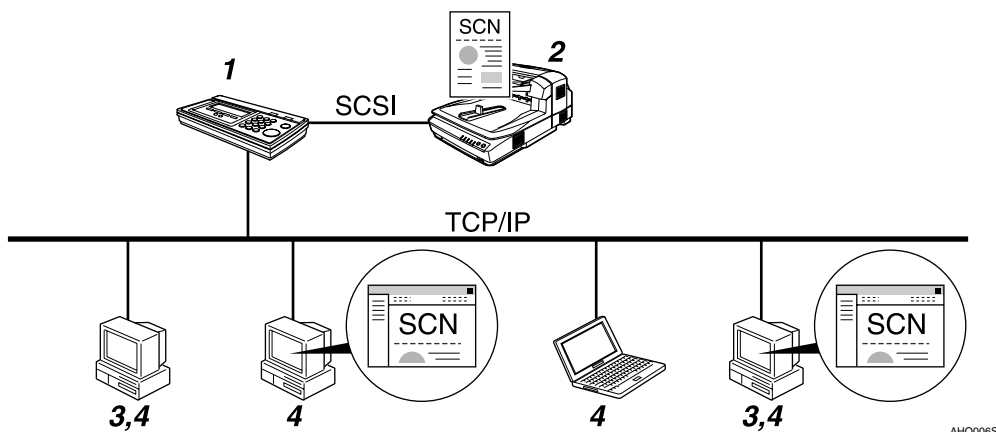
- 1** 「1.本機(IPSiOSCAN BOX)」の操作部から、あて先や件名、読取条件の指示をします。
- 2** 原稿が「2.スキャナー」から読み取られます。
- 3** 読み取られた画像ファイルを添付ファイルとするメールが、「1.本機(IPSiOSCAN BOX)」から「3.SMTPサーバー」に送信されます。
- 4** 「3.SMTPサーバー」から、各あて先の電子メール受信サーバーにメールが送信され、「4.メールクライアント」で受信できます。

共有フォルダーにファイル送信する(Scan to SMB)

同一ネットワーク上のPC等のWindows共有フォルダーをあて先として本機に登録することにより、スキャナーで読み取った画像ファイルを、その共有フォルダーに送信・保存できます。

補足

- 共有フォルダーへのファイル送信は、本機の操作画面では、「ファイル送信：SMB」と表記されています。SMBは、Windowsで採用されているファイルやプリンターの共有サービスのためのプロトコルです。



1. 本機(IPSiOSCAN BOX)

100BASE-TXまたは10BASE-Tケーブルでネットワーク (TCP/IP) に接続します。オプションの無線 LAN カードで接続することもできます。

2. スキャナー

本機とSCSIケーブルで接続します。

3. 共有フォルダーを持つPC

あらかじめ共有フォルダーを作成しておきます。共有フォルダーに読み取った画像ファイルが保存されます。

4. クライアントPC

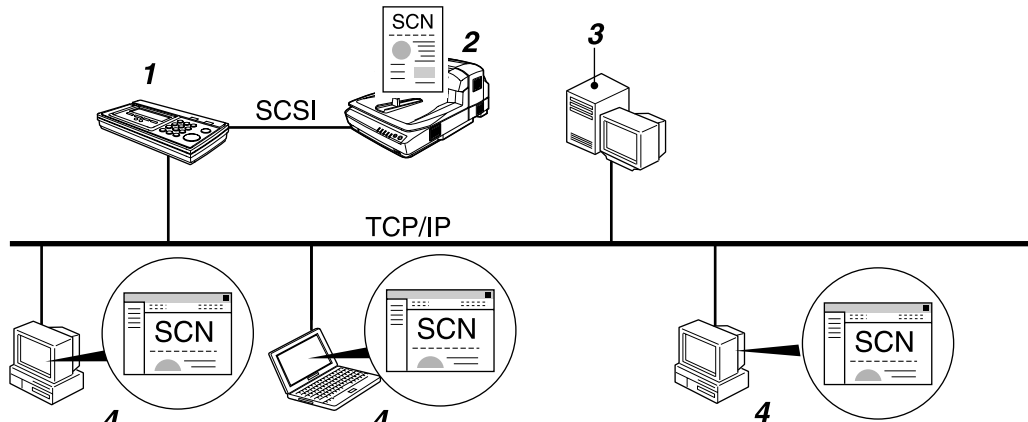
送信の指示を行ったり、共有フォルダーに保存された画像ファイルを閲覧します。送信指示を行う場合は、Webブラウザ (Internet Explorer等)が必要です。

処理の流れ

- 1 「1.本機(IPSiOSCAN BOX)」または「4.クライアントPC」から、保存する共有フォルダーやファイル名、読取条件の指示をします。
- 2 原稿が「2.スキャナー」から読み取られます。
- 3 読み取られた画像ファイルは、指定された「3.共有フォルダー」に送信され、保存されます。
- 4 保存された画像ファイルは、適時、「4.クライアントPC」から利用できます。

FTPサーバーにファイル送信する(Scan to FTP)

FTPサーバーをあて先として本機に登録することにより、スキャナーで読み取った画像ファイルを、そのFTPサーバーに、送信・保存できます。



AHQ007S

1. 本機(IPSiOSCAN BOX)

100BASE-TXまたは10BASE-Tケーブルでネットワーク (TCP/IP) に接続します。オプションの無線 LAN カードで接続することもできます。

2. スキャナー

本機とSCSIケーブルで接続します。

3. FTPサーバー

読み取った画像ファイルが保存されます。同一LAN/WAN上のFTPサーバーが利用できます。(プロキシサーバー経由でのアクセスはできません。)

4. クライアントPC

FTPサーバーに保存された画像ファイルを閲覧します。FTPサーバーに接続するためには、FTPクライアントツールが必要です。

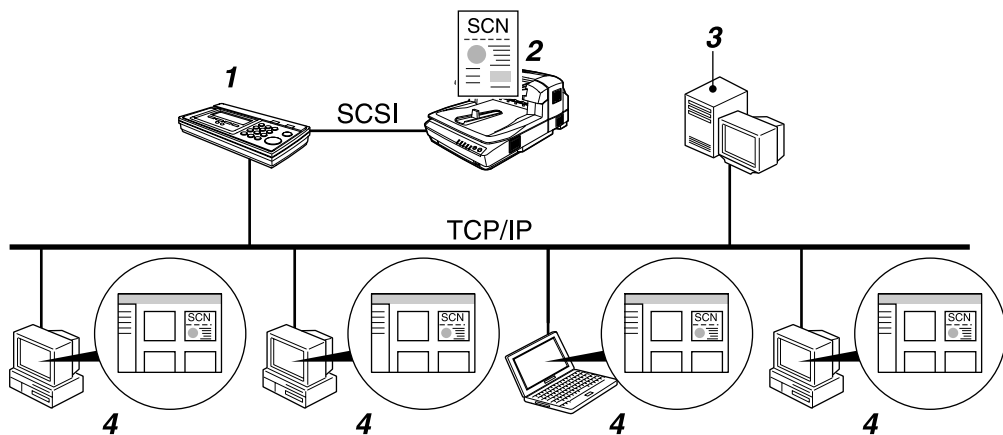
処理の流れ

- 1** 「1.本機(IPSiOSCAN BOX)」の操作部から、保存するFTPサーバーやファイル名、読取条件の指示をします。
- 2** 原稿が「2.スキャナー」から読み取られます。
- 3** 読み取られた画像ファイルは、指定された「3.FTPサーバー」に送信され、保存されます。
- 4** 保存された画像ファイルは、適時、「4.クライアントPC」から利用できます。

Ridoc Document Router/Proを利用した配信をする(Ridoc配信)

配信機能を使用する場合は、ネットワーク上に別売りのRidoc Document Routerなどをインストールした配信サーバーが必要です。Ridoc Document Routerについて詳しくはRidoc Document Routerの説明書を参照してください。

スキャナーで読み取った画像ファイルを、Ridoc Document Router/Proの最新のアドレス帳を使って配信できます。



AHQ009S

1. 本機(IPSiOSCAN BOX)

100BASE-TXまたは10BASE-Tケーブルでネットワーク (TCP/IP) に接続します。オプションの無線 LAN カードで接続することもできます。

2. スキャナー

本機とSCSIケーブルで接続します。

3. 配信サーバー

Ridoc Document Router/ProをインストールしたRidoc Document System用の配信サーバーです。個人あて、フォルダーあて、メールアドレスあて、それらを1まとめにしたグループあてのアドレス帳と、そのあて先別の文書ファイルを保存・管理しています。

4. クライアントPC

配信サーバーに保存された画像ファイルを、Ridoc Desk Navigator Ltを使って閲覧します。また、必要な文書をクライアントPCのハードディスク等に保存することも可能です。

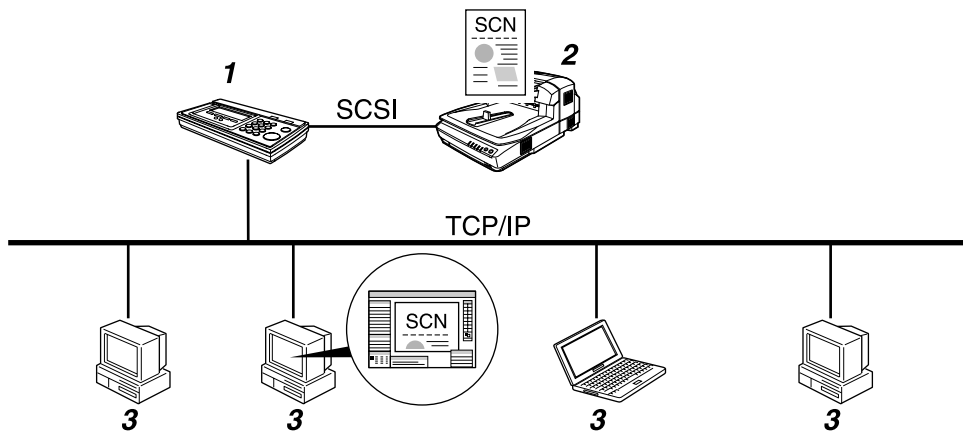
処理の流れ

- 1** 「1.本機(IPSiOSCAN BOX)」の操作部から、あて先や読取条件の指示をします。
- 2** 原稿が「2.スキャナー」から読み取られます。
- 3** 読み取られた画像ファイルは、「3.配信サーバー」に送信され、保存されます。
- 4** 「3.配信サーバー」は、配信があったことをあて先に指定された相手に通知したり、ローカルハードディスクに保存する等の処理を設定に従って行います。
- 5** 「4.クライアントPC」は、適時、Ridoc Desk Navigator Ltを使って閲覧・利用できます。

ネットワークTWAINスキャナーとして共有する

本機に接続したスキャナーを、同一ネットワーク上のPCから、PCに直接接続されたTWAIN対応スキャナーと同じように使用できます。

1台のスキャナーを複数のクライアントPCで共有できるため、スキャナー専用PCを用意したり、使用するPCごとにスキャナーを接続し直すなどの手間がありません。



AHQ010S

1. 本機(IPSiOSCAN BOX)

100BASE-TXまたは10BASE-Tケーブルでネットワーク (TCP/IP) に接続します。オプションの無線 LAN カードで接続することもできます。

2. スキャナー

本機とSCSIケーブルで接続します。

3. クライアントPC

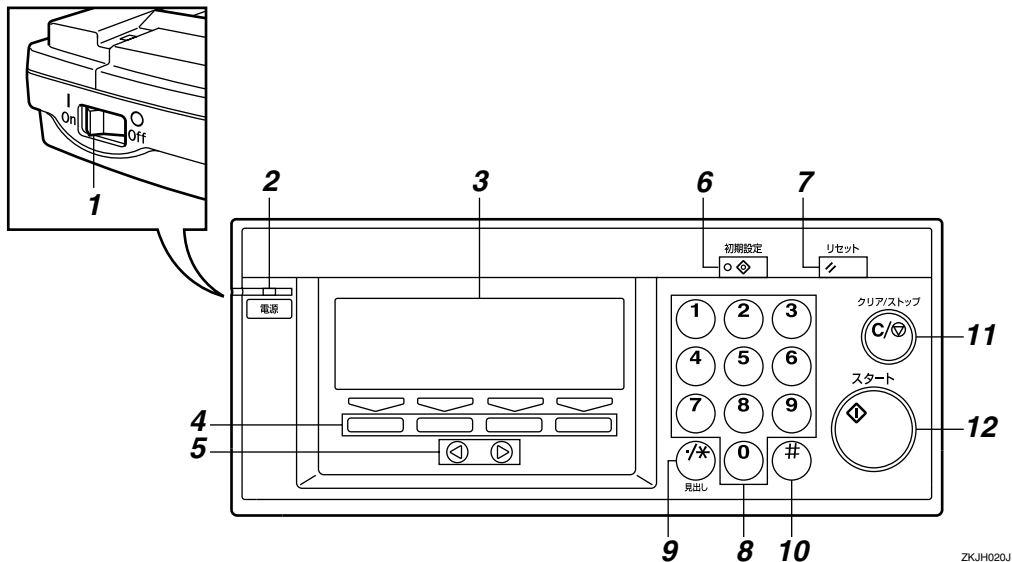
ネットワークTWAINドライバーをインストールします。TWAIN対応アプリケーションから、スキャナーを使用できます。

処理の流れ

- 1** 「3.クライアントPC」のTWAIN対応アプリケーションの中から、ネットワークTWAINドライバーを介して、読み取りの指示をします。
- 2** 「1.本機(IPSiOSCAN BOX)」を介して、原稿が「2.スキャナー」から読み取られます。
- 3** 読み取られた画像ファイルを、「3.クライアントPC」のTWAIN対応アプリケーションの中で加工し、保存します。

各部の名称

1



ZKJH020J

1. 電源スイッチ

本機の電源をON/OFFします。

2. 電源インジケータ

電源ON時、緑色に点灯します。

3. 画面

設定項目や内容などが表示されます。

4. ファンクションキー

画面に表示された項目を選ぶときに使います。⇒ P.16「画面に表示されるキーなどの選びかた」を参照してください。

5. 移動キー

画面で現在選択されている項目の次の項目、または前の項目を選択するときに使います。

6. 【初期設定】キー

ネットワークの設定やスキャナーシステム全般の設定、読取条件の初期設定を行うときに使います。

7. 【リセット】キー

電源ON時に表示される待機画面に戻すときに使います。

8. テンキー

数字の入力に使います。

9. 【/＊】(見出し)キー

あて先や送信者の見出し検索時に使います。

10. 【#】キー

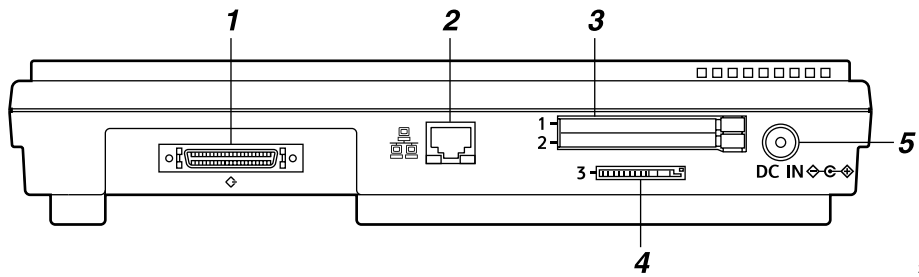
各種IPアドレス入力時に使用します。3桁ずつ右に移動できます。

11. 【クリア/ストップ】キー

入力した項目内容をクリアしたいときや、読み取りを中止したいときに使います。

12. 【スタート】キー

スキャナーの読み取りを開始するときに使います。



ZKJH030J

1. SCSIコネクタ

SCSIケーブルをつないで、スキャナと接続します。

2. ネットワーク用インターフェース

ネットワーク (Ethernet) ケーブルを差し込むコネクタです。

3. PCカードスロット

PCカードType IIが2基装備されていて、そのいずれかのスロットにオプションの無線LANカードを装着できます。

4. SDカードスロット

カスタマーエンジニアがメンテナンス時に使用します。

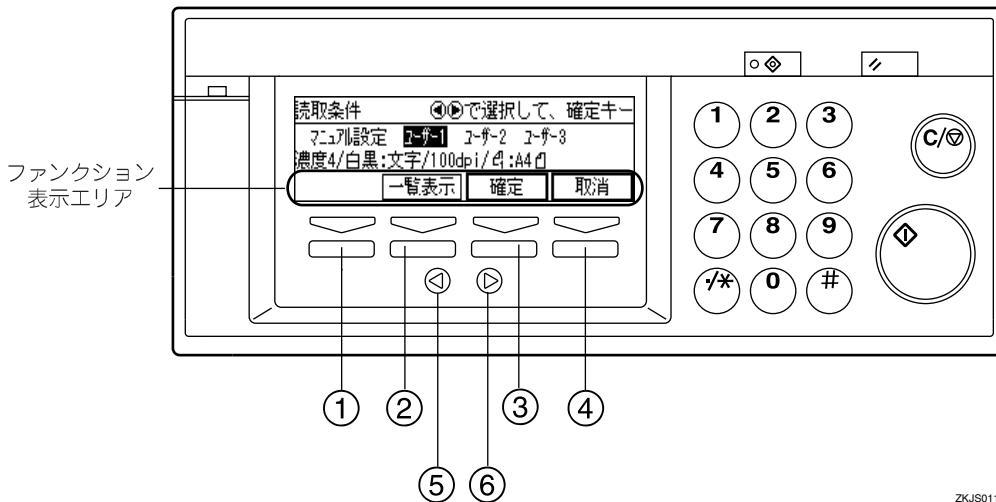
5. 電源コネクタ

電源コードを接続します。

画面に表示されるキーなどの選びかた

本機の画面は、タッチパネルではありません。画面に表示されるキーや項目などは、ファンクションキーと移動キー（【◀】や【▶】キー）を使って選びます。

例



ZKJS011J

ファンクション表示エリアに表示されている項目の下のファンクションキーを押すと、その項目が選ばれます。

- [一覧表示] を選ぶときは、②を押します。
- [確定] を選ぶときは、③を押します。
- [取消] を選ぶときは、④を押します。
- (この画面例の場合、①は使用しません。)

現在、選択されている項目は、反転表示されています。選択項目の移動には、【◀】または【▶】キーを使います。

- [マニュアル設定] を選択するときは、⑤を1回押します。
- [ユーザー 2] を選択するときは、⑥を1回押します。
- [ユーザー 3] を選択するときは、⑥を2回押します。

機能設定と待機画面

次の機能を同時に使用することはできません。

- メール送信 ⇒ P.9 「メールの添付ファイルで送信する(Scan to E-mail)」
- ファイル送信 (SMB) ⇒ P.10 「共有フォルダーにファイル送信する(Scan to SMB)」
- ファイル送信 (FTP) ⇒ P.11 「FTPサーバーにファイル送信する(Scan to FTP)」
- 配信サーバー ⇒ P.12 「Ridoc Document Router/Proを利用した配信をする(Ridoc配信)」
- ネットワークTWAIN ⇒ P.13 「ネットワークTWAINスキャナーとして共有する」

使用する機能を選択するには⇒ P.46 「[スキャナー送信設定] の設定項目」を参考にして、次の設定を行ってください。

- [1.送信/TWAIN優先設定] と [6.機能選択] から、本機の電源ON時に表示される待機画面を設定します。

補足

- [1.送信/TWAIN優先設定] と [6.機能選択] は、**【初期設定】** キーを押すと表示される初期設定画面の中の [2.スキャナー送信設定] の中にあります。

参照

上記の設定の詳細については⇒ P.46 「スキャナー送信設定」を参照してください。

優先機能

本機の電源ON時に表示される待機画面を設定することができます。[6.機能選択] の設定によって、次のどれかの画面が電源ON時に表示される待機画面になります。

- 配信サーバー待機画面
- メール/ファイル送信待機画面
- ネットワークTWAIN待機画面

宛先を指定して下さい		[全表示]
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦: A4		
読取条件	あて先	送信者

機能選択

- [6.機能選択] の項目の設定で、どの機能の組み合わせで本機を使用するか決定します。次の3つの中から選ぶことができます。
 - **Ridoc配信/TWAIN**
Ridoc配信とネットワークTWAINを使用する場合に選択します。ただし、この項目を選択すると、メール送信、ファイル送信 (SMB)、ファイル送信 (FTP)は使用できません。
 - **ファイル送信/TWAIN**
メール送信、ファイル送信 (SMB)、ファイル送信 (FTP)、ネットワークTWAINを使用する場合に選択します。ただし、この項目を選択すると、Ridoc配信は使用できません。
 - **TWAIN**
ネットワークTWAINのみを使用する場合に選択します。ただし、この項目を選択すると、Ridoc配信、メール送信、ファイル送信 (SMB)、ファイル送信 (FTP)は使用できません。
- 次の表は、[1.送信/TWAIN優先設定] と [6.機能選択] の組み合わせで表示される電源ON時の待機画面を表しています。

		1.送信/TWAIN優先設定	
		送信	TWAIN
6.機能選択	Ridoc配信/TWAIN	Ridoc配信待機画面	ネットワークTWAIN 待機画面
	ファイル送信/TWAIN	メール/ファイル送信待機画面	
	TWAIN	—	ネットワークTWAIN 専用待機画面

待機画面

- 配信サーバー待機画面

この画面が表示されている間に [あて先] を押すと、読み取った画像を配信サーバーのアドレス帳を使用して送ることができます。また、本機の操作パネルや、クライアントPCのWebブラウザから設定を行うことができます。

ただし、このモードからは、クライアントPCのWebブラウザからファイルを送ることができますが、本機の操作部からのメール送信またはSMB/FTPを使用してのファイルの送信はできません。クライアントPCのTWAIN対応アプリケーションからネットワークTWAINドライバーを起動すると、ネットワークTWAIN待機画面が表示されます。

宛先を指定して下さい	[全表示]
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:A4	
読取条件	あて先 送信者

- メール/ファイル送信待機画面

この画面が表示されている間に [メール送信] を押すと、読み取った画像データをメール送信できます。[ファイル送信] を押すと、読み取った画像データをFTP送信できます。また、本機の操作パネルや、クライアントPCのWebブラウザから設定を行うことができます。

ただし、このモードからは、配信サーバーで読み取った画像データを送ることはできません。クライアントPCのTWAIN対応アプリケーションからネットワークTWAINドライバーを起動すると、ネットワークTWAIN待機画面が表示されます。

宛先を指定して下さい	[全表示]
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:A4	
読取条件	メール送信 ファイル送信

- ネットワークTWAIN待機画面

クライアントPCのTWAIN対応アプリケーションからネットワークTWAINドライバーを起動すると、ネットワークTWAIN待機画面が表示され、ネットワークTWAINスキャナーとして使用できます。また、本機の操作パネルや、クライアントPCのWebブラウザから設定を行うことができます。この画面が電源ON時の待機画面の場合、[接続解除] を押すと [1.送信/TWAIN優先設定] と [6.機能選択] の設定に従って、待機画面が表示されます。

読み取りできます
原稿をセットして、PCから読取条件を セットしてください
[接続解除]

- ネットワークTWAIN専用待機画面

クライアントPCのTWAIN対応アプリケーションからネットワークTWAINドライバーを起動すると、ネットワークTWAIN待機画面が表示され、ネットワークTWAINスキャナーとして使用できます。また、本機の操作パネルや、クライアントPCのWebブラウザから設定を行うことができます。ただし、このモードからは、スキャナー印刷、配信サーバー、メール送信、ファイル送信 (SMB)、ファイル送信 (FTP)、クライアントPCのWebブラウザから任意指定ファイルの送信をすることはできなくなります。

読み取りできます
原稿をセットして、PCから読取条件を セットしてください

【使用可能送信機能】を使用しているとき

【初期設定】キーの [2.スキャナー送信設定] の中で [6.機能選択] を [ファイル送信/TWAIN] に設定している場合、[1.システム初期設定] の [13.使用可能送信機能] の中で、機能を制限することができます。

[すべての送信機能]、[メール送信のみ]、[SMB送信のみ(ファイル名変更可)]、[SMB送信のみ(ファイル名変更不可)]、[FTP送信のみ(ファイル名変更可)]、[FTP送信のみ(ファイル名変更不可)] から、使用できるように設定したい機能を選択してください。

次の例は、[メール送信のみ] を設置した場合です。

宛先を指定して下さい	[全表示]
濃度4/白黒:文字/100dpi/紙:A4	
読取条件	メール送信

初期設定画面

【初期設定】キーを押すと、初期設定画面が表示されます。必要に応じて、ネットワーク、スキャナー送信の条件を設定することができます。

初期設定	番号を指定
1 システム初期設定	2 スキャナー送信設定
3 読み取り条件	
終了	

2. 設置をする

本機を使用する前の準備作業である、本機の設置と、各種の設定について説明します。

IPSiOSCAN BOXを設置する

設置環境を確認する

⚠警告



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠注意



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

❖ 設置場所

水平でがたつきがなく、振動のない場所を選んで設置してください。

❖ 設置環境

⚡重要

□ 故障の原因になりますので、次のような場所に置かないでください。

- 直射日光の当たるところ
- エアコンや暖房機などの温風・ふく射熱が直接当たるところ
- ラジオ・テレビなど、他のエレクトロニクス機器に近いところ
- 高温、高湿、低温、低湿になるところ
- 加湿器の近く

温度が5～32℃、湿度が10～85%の範囲におさまる場所に設置してください。

⚡重要

- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。

スキャナーと接続する

本機とスキャナーをSCSIケーブル(別売)で接続します。

✎補足

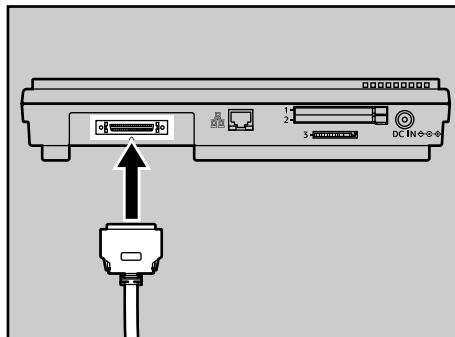
- SCSI ケーブルは指定のケーブルをご使用ください。指定ケーブルは、連結スキャナーをご確認のうえ、サービス実施店にお問い合わせください。

1 連結するスキャナーのSCSI IDを0～6のいずれかにします。

✎補足

- IPSiOSCAN BOX側ではSCSI IDを変更できません。IPSiOSCAN BOXのSCSI IDは7に固定です。
- 連結するスキャナーのSCSI IDの変更のしかたについては、接続スキャナーの取扱説明書をご覧ください。

2 SCSIケーブルを本機のSCSIコネクタに差し込みます。



- 3** SCSIケーブルのもう一方を、スキャナーのSCSIコネクタに差し込みます。

ネットワークに接続する

ネットワークケーブルを使って、本機をネットワークに接続する手順について説明します。

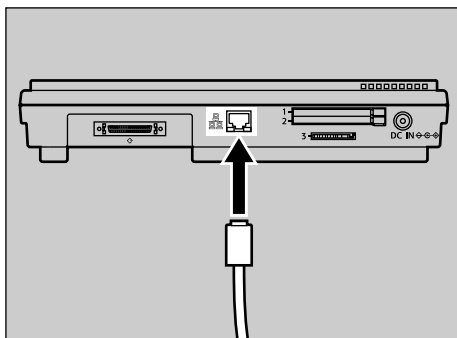
参照

オプションの無線LANカードを使用する場合は、⇒P.134「無線LANの設定をする」を参照してください。

重要

- 本機とネットワークは、100BASE-TXまたは10BASE-Tケーブルを使って接続してください。なお、100BASE-TXネットワークケーブルでネットワークに接続する場合は、カテゴリ5の規格の製品を使用してください。

- 1** ネットワーク用インターフェイスにネットワークケーブルを接続します。



ZKJH060J

- 2** ネットワークケーブルのもう一方のコネクタを、ハブ(Hub)などのネットワーク機器に接続します。

電源コードを接続する

本機に電源コードを接続する手順について説明します。

警告



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしてください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

警告



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

警告



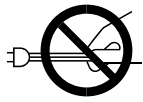
- 必ず付属のACアダプターをご利用ください。付属以外のACアダプターでは、火災・感電・故障の原因になります。

警告



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意

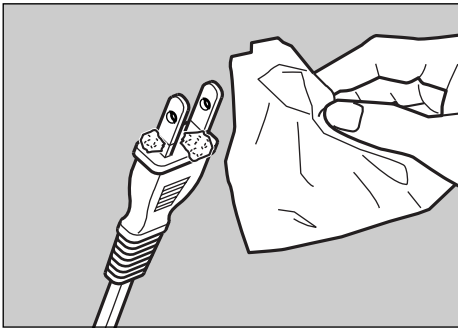


- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

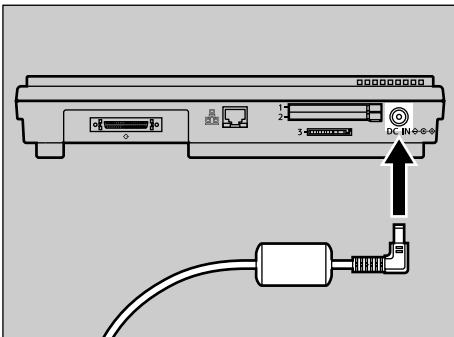


- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。



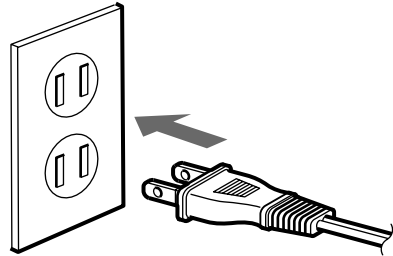
ZKJD010J

- 1** 本機の電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
- 2** ACアダプターと、電源コードを接続します。
- 3** ACアダプターの端子を本機の電源コネクタに奥までしっかり差し込みます。



ZKJH070J

- 4** 電源プラグをコンセントに差し込みます。



ZKJD020J

電源コードの接続が完了し、通電すると、ACアダプター部のLEDが緑色に点灯します。

2

電源ONのしかた

電源をONにするときは、次の順番で行ってください。

- 1** 接続したスキャナーの電源をONにします。
- 2** 本機の電源をONにします。

電源OFFのしかた

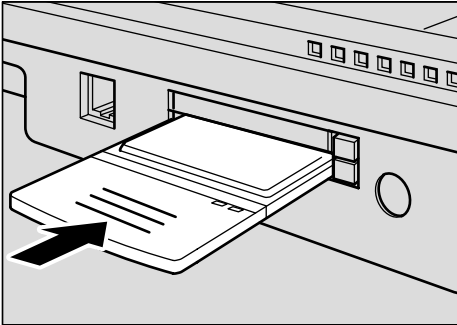
電源をOFFにするときは、スキャナー/本機のどちらを先にOFFにしてもかまいません。

無線LANカードを装着する

オプションの無線LANカードが必要です。

1 本機とスキャナーの電源をOFFにします。

2 本体背面のPCカードスロットに、無線LANカードを挿入します。

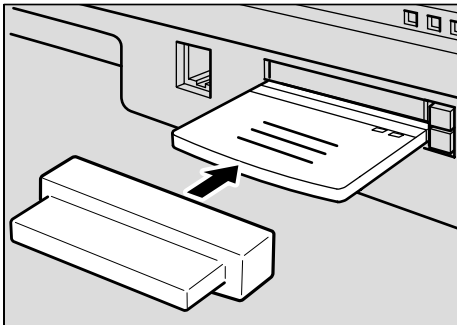


AHQ003S

補足

- 無線LANカードは、黒いアンテナ部に3本の横線が入っている面を上にして差し込んでください。正しい向きで差し込まないと、故障の原因になります。
- カチッと音がするまでしっかりと差し込みます。
- 挿入するPCカードスロットは、上下どちらのスロットでもかまいません。

3 無線LANカードにカバーを取り付けます。



AHQ011S

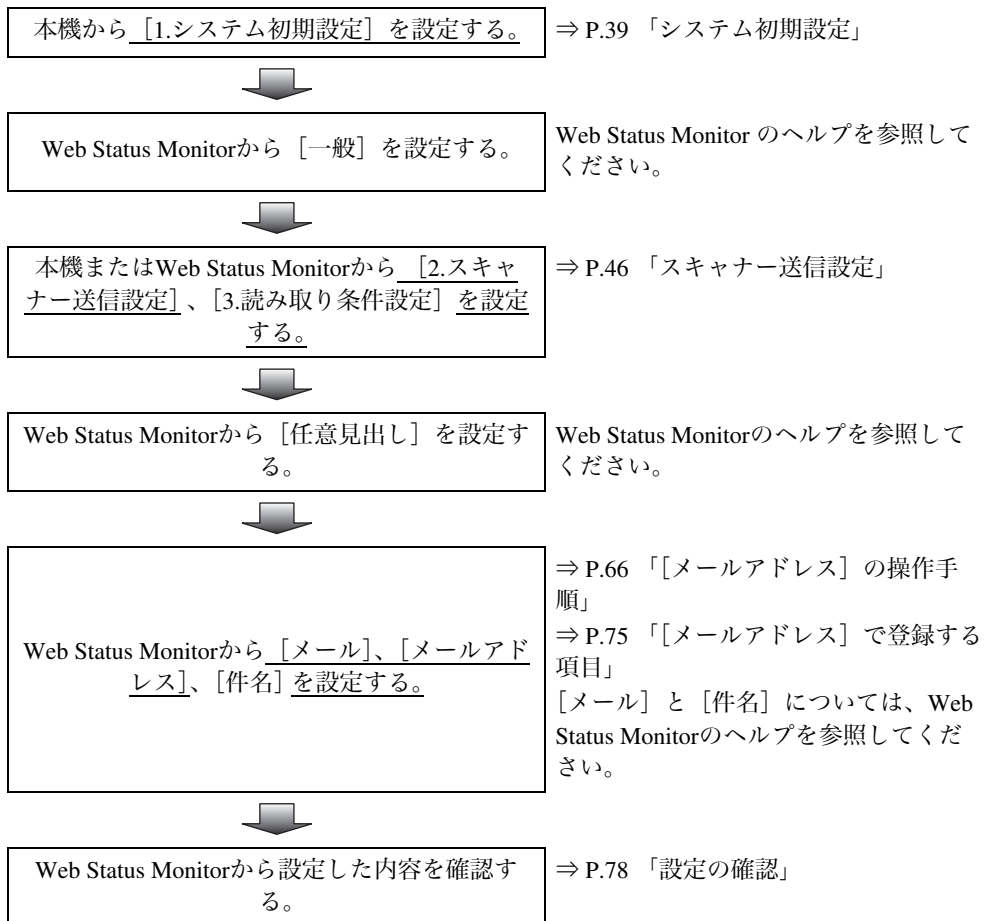
3. 初期設定を行う

メール送信を利用する場合の準備

メールの添付ファイルとして画像データを送信する場合の準備作業の流れ図を示します。下線は必須作業です。

🔍 参照

ここでは、1) 本機の操作パネルを使用して設定する項目 2) ご使用のクライアントPCのWebブラウザを使用して設定する項目 3) 上記2つのいずれからも設定できる項目の、3箇所での設定が必要になります。詳細については⇒ P.31 「初期設定項目一覧」を参照してください。この使用説明書では、本機の操作パネルを使用して設定する項目についての設定手順が記載されています。使用説明書に記載がない項目の説明については、Web Status Monitor のヘルプを参照してください。Web Status Monitorの表示方法については⇒ P.62 「IPSiOSCAN BOXにアクセスする」を参照してください。



🔍 参照

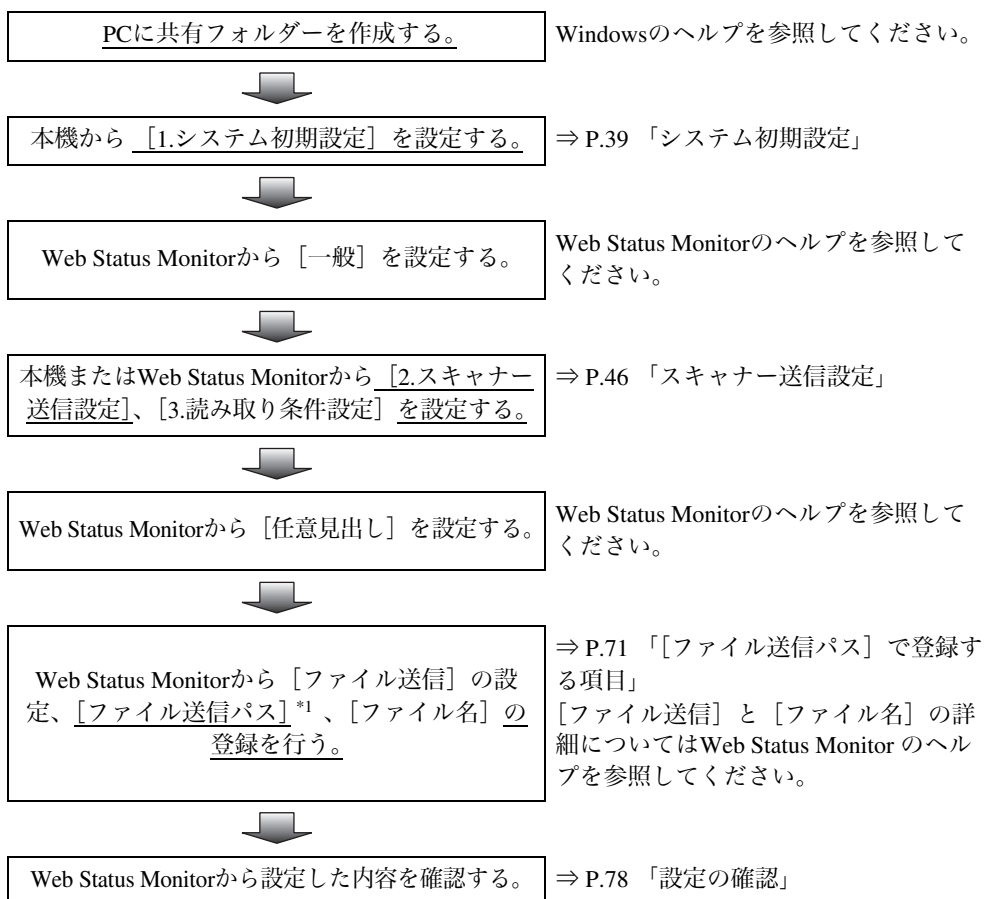
設定項目については⇒ P.31 「初期設定項目一覧」、設定と操作方法については⇒ P.91 「メールで送信する」を参照してください。

ファイル送信(SMB)を利用する場合の準備

Windows共有フォルダーにファイル送信する場合の準備作業の流れ図を示します。下線は必須作業です。

参照

ここでは、1) 本機の操作パネルを使用して設定する項目 2) ご使用のクライアントPCのWebブラウザを使用して設定する項目 3) 上記2つのいずれからも設定できる項目の、3箇所での設定が必要になります。詳細については⇒ P.31 「初期設定項目一覧」を参照してください。この使用説明書では、本機の操作パネルを使用して設定する項目についての設定手順が記載されています。使用説明書に記載がない項目の説明については、Web Status Monitor のヘルプを参照してください。Web Status Monitorの表示方法については⇒ P.62 「IPSiOSCAN BOXにアクセスする」を参照してください。



*1 この設定は、ファイル送信機能の本機から行う場合の必須作業です。Web Status Monitorから [任意ファイル送信入力] を使用する場合、[ファイル送信パス] を先に登録しておく必要はありません。

参照

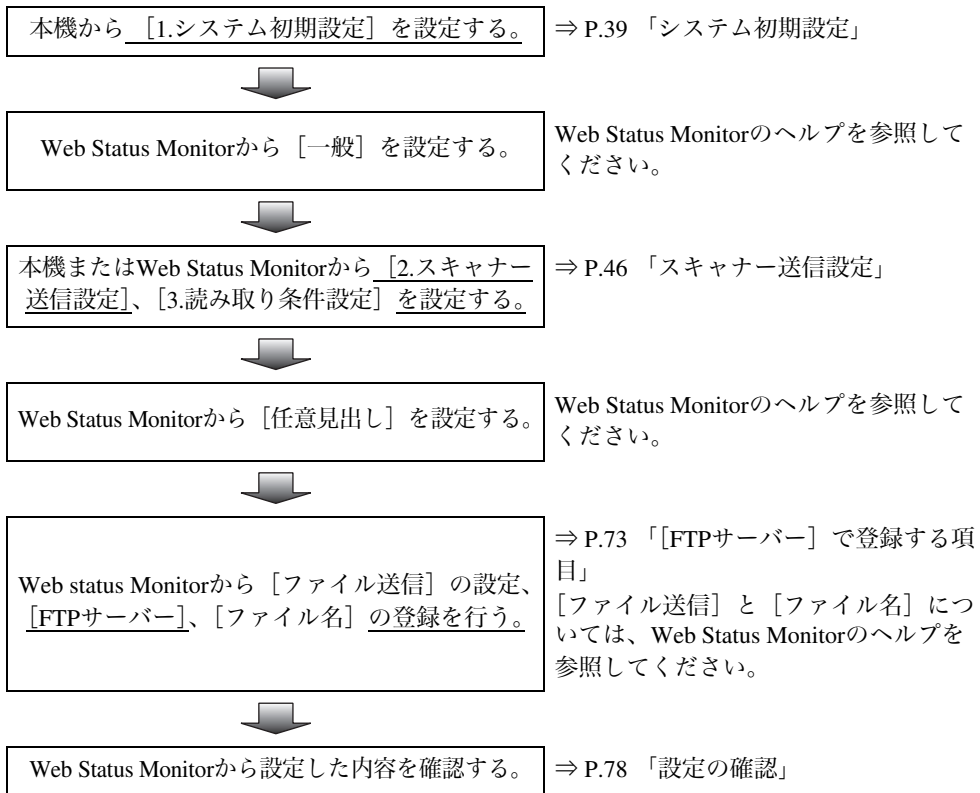
設定項目については⇒ P.31 「初期設定項目一覧」を、設定と操作方法については⇒ P.105 「共有フォルダーにファイル送信する」を参照してください。

ファイル送信(FTP)を利用する場合の準備

FTPサーバーにファイル送信する場合の準備作業の流れ図を示します。下線は必須作業です。

🔍 参照

ここでは、1) 本機の操作パネルを使用して設定する項目 2) ご使用のクライアントPCのWebブラウザを使用して設定する項目 3) 上記2つのいずれからも設定できる項目の、3箇所での設定が必要になります。詳細については⇒ P.31 「初期設定項目一覧」を参照してください。この使用説明書では、本機の操作パネルを使用して設定する項目についての設定手順が記載されています。使用説明書に記載がない項目の説明については、Web Status Monitor のヘルプを参照してください。Web Status Monitorの表示方法については⇒ P.62 「IPSiOSCAN BOXにアクセスする」を参照してください。



🔍 参照

設定項目については⇒ P.31 「初期設定項目一覧」を、設定と操作方法については⇒ P.113 「FTPサーバーにファイル送信する」を参照してください。

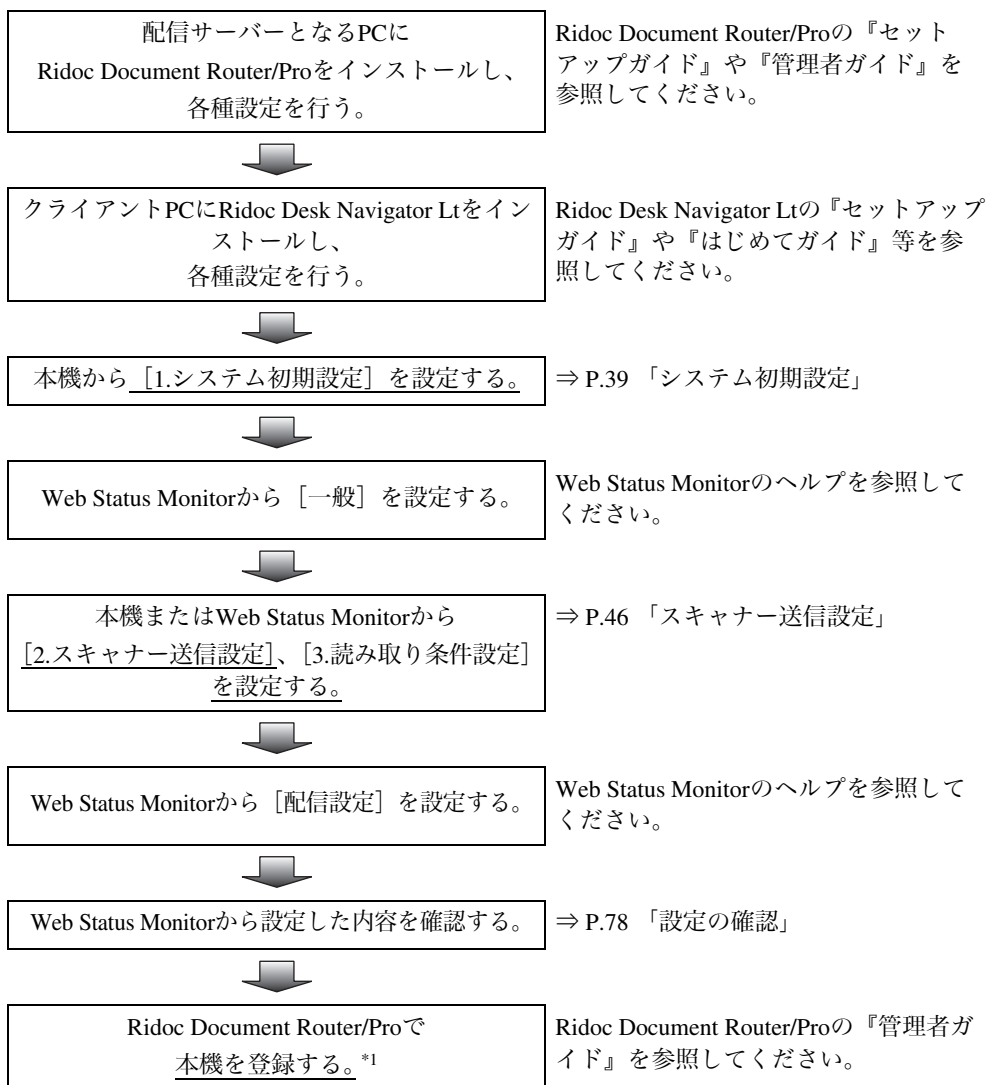
Ridoc配信を利用する場合の準備

配信機能を使用する場合は、ネットワーク上に別売りのRidoc Document Routerなどをインストールした配信サーバーが必要です。Ridoc Document Routerについて詳しくはRidoc Document Routerの説明書を参照してください。

Ridoc Document Router/Proの配信機能を利用する場合の準備作業の流れ図を示します。下線は必須作業です。

参照

ここでは、1) 本機の操作パネルを使用して設定する項目 2) ご使用のクライアントPCのWebブラウザを使用して設定する項目 3) 上記2つのいずれからも設定できる項目の、3箇所での設定が必要になります。詳細については⇒P.31「初期設定項目一覧」を参照してください。この使用説明書では、本機の操作パネルを使用して設定する項目についての設定手順が記載されています。使用説明書に記載がない項目の説明については、Web Status Monitorのヘルプを参照してください。Web Status Monitorの表示方法については⇒P.62「IPSiOSCAN BOXにアクセスする」を参照してください。



*1 [I/O機器設定] でIPアドレスを直接入力してください。

 参照

設定項目については⇒ P.31 「初期設定項目一覧」を、設定と操作方法については⇒ P.119 「Ridoc Document Router/Proを利用して配信する」を参照してください。

ネットワークTWAINスキャナーとして使用する 場合の準備

本機に接続されたスキャナーを、同一ネットワーク上の共有TWAINスキャナーとして利用する場合の準備作業の流れ図を示します。下線は必須作業です。

3 本機から [システム初期設定] を設定する。

⇒ P.39 「システム初期設定」



クライアントPC *1にネットワークTWAINドライバーをインストールする。

⇒ P.83 「ネットワークTWAINドライバーをインストールする」

*1 ネットワークTWAINスキャナーとして使用するには、クライアントPCにTWAIN対応アプリケーションソフトウェアが必要です。

初期設定項目一覧

本機の設定項目と工場出荷時の値を一覧表で示します。表の「目的」列は各設定項目がどの機能のために設定されるのかを示しています。表の「手段」列は、各項目の設定を本機もしくはWeb Status Monitorのどちらで行う事ができるかを示しています。

各設定項目の意味と設定のしかたについては⇒P.39 「システム初期設定」、⇒P.62 「Webブラウザを使って設定する」、およびWeb Status Monitorのヘルプを参照してください。

一覧表の見方

補足

□ (WSM) と記載された項目は、Web Status Monitor上での設定項目名です。

❖ 「目的」列

「目的」の列には、次の項目が記載されています。

欄の名称	機能の説明
配信	Ridoc Document Router/Proを利用したRidoc配信機能を利用するときに関係する設定項目かどうかを示します。
メール	メール送信機能を利用するときに関係する設定項目かどうかを示します。
SMB	Windows共有フォルダーへのファイル送信機能を利用するときに関係する設定項目かどうかを示します。
FTP	FTPサーバーへのファイル送信機能を利用するときに関係する設定項目かどうかを示します。
TWAIN	連結スキャナーをネットワークTWAINスキャナーとして利用するときに関係する設定項目かどうかを示します。

- 「○」の設定項目は、各機能を利用するために最低限必要な設定項目です。本機を使用する前に必ず設定してください。
- 「□」の設定項目は、必要に応じて設定してください。
- 空欄の設定項目は、その機能を使用する上で関連がない項目を示しています。

❖ 「手段」列

「手段」の列には、次の項目が記載されています。

欄の名称	説明
本機	IPSiOSCAN BOXの【初期設定】キーを使って設定できる項目かどうかを示します。
Web	クライアントPCのWebブラウザから本機にログインし、設定できる項目かどうかを示します。

- 「○」の項目は、設定・登録が可能な手段です。
- 「×」の項目は、設定・登録が可能な他の手段で設定してください。
- 「ー」の項目は設定できません。表示のみです。
- 「工場出荷時の値」が「(null)」となっている項目は、工場出荷時に何も設定されていません。

初期設定項目一覧

基本設定

設定項目	工場出荷時の値	目的					手段		
		配信	ルーター	SMB	FTP	TWAIN	本機	Web	
一般 (WSM)	識別名	RNP***** *1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	×	<input type="radio"/>
	コメント	(null)						×	<input type="radio"/>
	URL 名称	RICOH Homepage						×	<input type="radio"/>
	URL	/cgi-bin/url.cgi						×	<input type="radio"/>
	ヘルプURL	/cgi-bin/help.cgi						×	<input type="radio"/>
TCP/IP (WSM)、システム初期設定	IP アドレス	11.22.33.44	<input checked="" type="radio"/> *2	<input checked="" type="radio"/> *2	<input checked="" type="radio"/> *2	<input checked="" type="radio"/> *2	<input checked="" type="radio"/> *2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> *3
	サブネットマスク	0.0.0.0	<input checked="" type="radio"/> *2	<input checked="" type="radio"/> *2	<input checked="" type="radio"/> *2	<input checked="" type="radio"/> *2	<input checked="" type="radio"/> *2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	デフォルトゲートウェイアドレス	0.0.0.0	<input checked="" type="radio"/> *2	<input checked="" type="radio"/> *2	<input checked="" type="radio"/> *2	<input checked="" type="radio"/> *2	<input checked="" type="radio"/> *2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	アクセスコントロール	0.0.0.0					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	アクセスマスク	0.0.0.0					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	第一DNS サーバー IP アドレス	(null)		<input checked="" type="radio"/>				×	<input type="radio"/>
	第二DNS サーバー IP アドレス	(null)		<input type="radio"/>				×	<input type="radio"/>
	第三DNS サーバー IP アドレス	(null)		<input type="radio"/>				×	<input type="radio"/>
	ネットワークブート	NONE	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	通信速度	自動設定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	I/F の切り替え	Ethernet	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *5	<input type="radio"/>
	電波状態	表示のみ	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	— *5	—
	通信モード	802.11 アドホックモード	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	×	<input type="radio"/>
	SSID	(Null)	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	×	<input type="radio"/>
	チャンネル	(Null)	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	×	<input type="radio"/>
暗号化	無効	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	<input type="radio"/> *4	×	<input type="radio"/>	

設定項目	工場出荷時の値	目的					手段		
		配信	メール	SMB	FTP	TWAIN	本機	Web	
TCP/IP (WSM)、システム初期設定	WEP(暗号化)キー	(Null)	○ *4	○ *4	○ *4	○ *4	○ *4	×	○
	確認WEP(暗号化)キー	(Null)	○ *4	○ *4	○ *4	○ *4	○ *4	×	○
SNMP *6 (WSM)	コミュニティ名 1~10	public *7	○				○	×	○
	アクセスタイプ 1	read-only *7	○				○	×	○
	プロトコル 1	TCP/IP	○				○	×	
	マネージャ IP アドレス 1	0.0.0.0						×	—
パスワード (WSM)	現在のパスワード	(null)						×	○
	新規パスワード	(null)						×	○
読取条件 (WSM)、読み取り条件設定 *8	読取条件名 (デフォルト以外)	ユーザー 1~ユーザー 3 (半角)	○	○	○	○		×	○
	原稿種類	白黒2値:文字	○	○	○	○		○	○
	解像度 *9	100dpi	○	○	○	○		○	○
	原稿サイズ *9	(連結するスキャナーによる)	○	○	○	○		○	○
	開始位置	0	○	○	○	○		○	○
	読取エリア *9	0	○	○	○	○		○	○
	濃度	4	○	○	○	○		○	○
	孤立点除去 *9	しない	○	○	○	○		○	○
	スムージング *9	しない	○	○	○	○		○	○
	フィルター	なし	○	○	○	○		○	○
	白黒反転	しない	○	○	○	○		○	○
	指定色消去 *9	緑	○	○	○	○		○	○
	ファイル形式	シングルページ	○	○	○	○		○	○
原稿面/セット方向 *9	 : 片面	○	○	○	○		○	○	
スキャナー (WSM)、スキャナー送信設定	送信/TWAIN 優先設定	送信	○	○	○	○	○	○	○
	送信時接続禁止時間	しない	○	○	○	○	○	○	○
	オートクリア時間	しない	○	○	○	○		○	○
	圧縮設定(2値)	する	○	○	○	○		○	○
	圧縮設定(多値)	標準画質	○	○	○	○		○	○
	アドレス帳自動更新	しない	○	○	○	○		○	○

設定項目	工場出荷時の値	目的					手段		
		配信	メール	SMB	FTP	TWAIN	本機	Web	
スキャナー (WSM)、スキャナー送信設定	単位系設定	mm	○	○	○	○		○	○
	sRGB設定 *9	sRGB2	○	○	○	○		○	○
	読取終了後の動作	設定をクリア	○	○	○	○		○	○
	枠消去幅 *9	0mm	○	○	○	○		○	○
	ADF薄紙モード *9	しない	○	○	○	○		○	○
	追加原稿待ち時間	3秒	○	○	○	○		×	○
	機能選択	ファイル送信/TWAIN	○	○	○	○	○	○	○
	使用可能送信機能	すべての送信機能	○	○	○	○		○ *10	○
	優先見出し	全表示	○	○	○	○		×	○
	見出し選択	かな	○	○	○	○		×	○
	タイムゾーン	GMT+0900	○	○	○	○		×	○
	重送検知 *9	なし	○	○	○	○		×	○
長さ誤差 *9	+/-10 mm	○	○	○	○		×	○	
任意見出し (WSM)	任意見出し1~5		○	○	○		×	○	
バックアップ (WSM)	ファイル送信パス	(null)	○	○	○	○	○	×	○
	ログインユーザー名	(null)	○	○	○	○	○	×	○
	ログインパスワード	(null)	○	○	○	○	○	×	○
	バックアップファイル名	(null)	○	○	○	○	○	×	○
タイムサーバー (WSM)、日付設定	タイムサーバー IP アドレス	0.0.0.0	○	○	○	○		○	○
	ポーリング間隔	30分	○	○	○	○		×	○
PDFセキュリティ (WSM)	文書暗号化	しない		○	○	○		×	○
	権限変更パスワード	設定しない		○	○	○		×	○
	パスワード	(null)		○	○	○		×	○
	印刷	すべて許可する		○	○	○		×	○
	変更	許可する		○	○	○		×	○
	内容のコピーまたは抽出	許可する		○	○	○		×	○

*1 *****は物理アドレスの下6桁です。

*2 [ネットワークブート] が「NONE」のときは設定必須項目です。「DHCP」のときは入力しないでください。

- *3 最初の設定は本機から行ってください。設定後、Web Status Monitorから変更が可能です。
- *4 オプションの無線LANカード使用時の設定です。
- *5 オプションの無線LANカード挿入時に有効になります。
- *6 最大10件の登録ができます。
- *7 コミュニティー名1の工場出荷時の値です。
- *8 「デフォルト」を含め4種類の登録ができます。
- *9 連結するスキャナーにより、設定が異なります。詳細については『IPSIOSCAN BOX TYPE X2:連結スキャナー別機能差異表』を参照してください。
- *10 本機では、[1.システム初期設定] で表示されます。

ファイル送信設定

設定項目	工場出荷時の値	目的					手段		
		配信	メール	SMB	FTP	TWAIN	本機	Web	
ファイル送信 (WSM)	再送信間隔	しない			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	再送信回数	しない			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 文書最大サイズ制限	しない			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ファイル名+時分付け	する			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	識別名フォルダ作成	する			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ファイル送信パス *1 (WSM)	登録番号	(自動)			<input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ファイル送信パス名	(null)			<input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	キー表示名	(null)			<input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	所属見出し：かな	あ			<input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	所属見出し：英数	ABC			<input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	所属見出し：任意見出し	1			<input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	所属見出し：常用見出し	する			<input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ファイル送信パス	(null)			<input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ログインユーザー名	(null)			<input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ログインパスワード	(null)			<input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	パスワード保護	する			<input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保護パスワード	(null)			<input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
FTPサーバー *1 (WSM)	登録番号	(自動)			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	FTPサーバー名	(null)			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	キー表示名	(null)			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	所属見出し：かな	あ			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	所属見出し：英数	ABC			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定項目	工場出荷時の値	目的					手段		
		配信	メール	SMB	FTP	TWAIN	本機	Web	
FTP サーバー *1 (WSM)	所属見出し：任意見出し	1				◎		×	○
	所属見出し：常用見出し	する				◎		×	○
	サーバー名 パス名	(null)				◎		×	○
	ログインユーザー名	(null)				◎		×	○
	ログインパスワード	(null)				◎		×	○
	PASV モード設定	なし				◎		×	○
	パスワード保護	する				◎		×	○
	保護パスワード	(null)				◎		×	○
ファイル名 *2 (WSM)	No.1~30	(null)			○	○		×	○

*1 最大1000件の登録ができます。

*2 最大30件の登録ができます。

メール送信設定

設定項目	工場出荷時の値	目的					手段		
		配信	メール	SMB	FTP	TWAIN	本機	Web	
メール (WSM)	POP サーバーアドレス	(null)		○				×	○
	POP サーバーポート 番号	110		○				×	○
	SMTP サーバー アドレス	(null)		◎				×	○
	SMTP サーバーポート 番号	25		○				×	○
	ドメイン名	(null)		◎				×	○
	認証方法	しない		○				×	○
	認証ユーザー	(null)		○				×	○
	認証パスワード	(null)		○				×	○
	送信者初期値	管理者アドレス		○				×	○
	管理者名	(null)		○				×	○
	管理者メールアドレス	(null)		○				×	○
	メール再送信間隔	30		○				×	○

設定項目		工場出荷時の値	目的					手段	
			配信	メール	SMB	FTP	TWAIN	本機	Web
メール (WSM)	メール再送信回数	1		○				×	○
	送信メールサイズ制限	しない		○				×	○
	ファイル名+時分付け	しない		○				×	○
メール アドレス *1 (WSM)	登録番号	(自動)		○				×	○
	名前	(null)		○				×	○
	キー表示名	(null)		○				×	○
	所属見出し：かな	あ		○				×	○
	所属見出し：英数	ABC		○				×	○
	所属見出し：任意見出し	1		○				×	○
	所属見出し：常用見出し	する		○				×	○
	メールアドレス	(null)		◎				×	◎
	送信者として使用	する		○				×	
	パスワード保護	する		○				×	○
保護パスワード	(null)		○				×	○	
件名 (WSM)	1～30	(null)		○				×	○

*1 最大2000件の登録ができます。

配信設定

設定項目		工場出荷時の値	目的					手段	
			配信	メール	SMB	FTP	TWAIN	本機	Web
配信	配信サーバー IP アドレス	0.0.0.0	◎ *1					— *2	—
	再配信間隔	しない	○					×	○
	再配信回数	しない	○					×	○
	1 文書最大サイズ制限	1	○					○ *3	○

*1 Ridoc Document Router/Proで本機の登録を行うと、自動取得されます。Ridoc Document Router/Proでの登録が必須作業です。

*2 本機では、[1.システム初期設定] で表示されます。

*3 本機では、[2.スキャナー送信設定] で表示されます。

管理情報

設定項目		工場出荷時の値	目的					手段	
			配信	メール	SMB	FTP	TWAIN	本機	Web
送信情報 (WSM)	ページ	1	○					×	○
	表示件数	10	○					×	○
	ファイル送信パス	(null)	○					×	○
	ログインユーザー名	(null)	○					×	○
	ログインパスワード	(null)	○					×	○
	ファイル名	(null)	○					×	○

システム初期設定

IPアドレスなど、本機をネットワーク上で使うための基本設定を、本機の操作部を使って設定します。

参照

システム初期設定画面は、**【初期設定】** キーを押すと表示されます。

システム初期設定画面の設定手順については⇒ P.42 「[システム初期設定] の設定をする」を参照してください。

オプションの無線LANカードをご使用になるには⇒ P.134 「無線LANの設定をする」を参照してください。

補足

- (WSM)の表示がついた項目は、WebブラウザからWeb Status Monitorを起動して設定する項目です。

[システム初期設定] の設定項目

補足

- ここで説明する項目は、クライアントPCのWebブラウザからも設定できます。(ただし、最初のIPアドレス設定は本機の操作部から行い、Webブラウザからは変更のみ可能です。)

❖ IPアドレス

IPアドレスが固定的に割り振られたネットワーク環境の場合、ネットワーク管理者から割り振られた本機のIPアドレスを、8ビット区切りの10進数xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。

DHCP環境の場合は、[6.ネットワークブート]を「DHCP」にすることにより、本項目は自動取得されますので、入力しないでください。

❖ サブネットマスク

IPアドレスが固定的に割り振られたネットワーク環境の場合、接続するネットワークのサブネットマスクを8ビット区切りの10進数xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。

DHCP環境の場合は、[6.ネットワークブート]を「DHCP」にすることにより、本項目は自動取得されますので、入力しないでください。

❖ デフォルトゲートウェイアドレス

IPアドレスが固定的に割り振られたネットワーク環境の場合、デフォルトゲートウェイのIPアドレスを8ビット区切りの10進数xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。

DHCP環境の場合は、[6.ネットワークブート]を「DHCP」にすることにより、本項目は自動取得されますので、入力しないでください。

❖ **アクセスコントロールおよびアクセスマスク**

本機に接続されたスキャナーをネットワーク TWAIN スキャナーとして使用するクライアントを制限します。アクセスコントロールとアクセスマスクは、組み合わせて設定する必要があります。

- アクセスコントロールは、本機に接続されたスキャナーをネットワーク TWAIN スキャナーとして使用するクライアントを制限するときの基準となる値です。
- アクセスマスクは、制限範囲を指定するための値です。アクセスコントロールと照合(論理積)されて、本機に接続されたスキャナーをネットワーク TWAIN スキャナーとして使用するクライアントが限定されます。

アクセスコントロールおよびアクセスマスクは「xxx.xxx.xxx.xxx」(8ビット区切りの10進数)の形式で指定します。

 **補足**

- 本機の使用を制限しない場合は、工場出荷時の設定のまま使用してください。
- アクセスコントロール値をマスクした結果と、ネットワーク TWAIN スキャナーとして利用しようとしているクライアントのIPアドレスが一致した場合に、アクセスを許可して本機を使用できるようにします。
- たとえばアクセスコントロール値を192.168.15.16に設定した場合、アクセス可能なクライアントのIPアドレスは、アクセスマスクに指定した値によって次のように制限されます。(xxxはどんな値でもかまいません。)

アクセスマスクの値	アクセス可能なクライアントのIPアドレス
000.000.000.000	xxx.xxx.xxx.xxx
255.255.000.000	192.168.xxx.xxx
255.255.240.000	192.168.0.xxx ～192.168.15.xxx
255.255.255.000	192.168.15.xxx
255.255.255.240	192.168.15.16 ～192.168.15.31
255.255.255.255	192.168.15.16

❖ **ネットワークブート**

DHCP環境で起動するかどうかを設定します。IPアドレスが固定的に割り振られたネットワーク環境の場合は「NONE」、DHCP環境の場合は「DHCP」を選択します。

 **補足**

- Ridoc配信機能を使用するときは、DHCP環境であっても、本機のIPアドレスは静的に割り当ててください。なお、その場合も、本項目は「DHCP」を選択し、[1.IPアドレス]、[2.サブネットマスク]、[3.デフォルトゲートウェイアドレス]の各項目は入力しないでください。
- 本項目の設定を変更したときには、設定終了後に本機の電源をOFF/ONしてください。

❖ **第一DNS サーバー IP アドレス (WSM)**

第1DNSサーバーのIPアドレスを8ビット区切りの10進数xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。

 **補足**

- この項目はWeb Status Monitorからのみ設定できます。

❖ 第二DNS サーバー IP アドレス (WSM)

第2DNSサーバーのIPアドレスを8ビット区切りの10進数xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。

🔧 補足

- この項目はWeb Status Monitorからのみ設定できます。

❖ 第三DNS サーバー IP アドレス (WSM)

第3DNSサーバーのIPアドレスを8ビット区切りの10進数xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。

🔧 補足

- この項目はWeb Status Monitorからのみ設定できます。

❖ 配信サーバー IPアドレス

Ridoc Document Router/Proで本機を登録すると、配信サーバー (Ridoc Document Router/Proをインストールしたコンピューター)のIPアドレスが自動的設定されますので、入力しないでください。

❖ 物理アドレス

この項目は自動設定されます。

❖ 通信速度

ネットワークケーブル接続時のネットワーク通信速度を、「自動選択」、「100Mbps」、「10Mbps」の中から選択します。

❖ I/Fの切り替え

ネットワークへの接続手段を選択します。

- Ethernet
ネットワークケーブルにて接続します。
- IEEE802.11b
オプションの無線LANカードを利用して接続します。

🔧 補足

- 本項目の設定を変更したときには、設定終了後に本機の電源をOFF/ONしてください。

❖ 電波状態

通信モードのうち、インフラストラクチャーモードを設定した場合、電波の状態が%で表示されます。Web Status Monitorでは [設定] → [基本設定] → [TCP/IP] の [電波状態]、本機では初期設定内の [1.システム初期設定] の下の [11.電波状態] で確認することができます。

🔧 補足

- この項目は、オプションの無線LANカードを挿入したときのみ有効になります。

❖ 使用可能送信機能

この項目を設定することで、使用できる機能を制限することができます。この項目の設定で、本機を [すべての送信機能] で使用するか、[メール送信のみ]、[SMB送信のみ (ファイル名変更可)]、[SMB送信のみ (ファイル名変更不可)]、[FTP送信のみ (ファイル名変更可)] あるいは [FTP送信のみ (ファイル名変更不可)] のいずれかを選択し、機能を制限することができます。

❖ 日付設定

本機に内蔵されている時計の日付と時間を設定します。本機の内蔵時計の値は、設定によりファイル名の一部として使われます。

❖ 言語切り替え

本機では「日本語」に固定です。

❖ FIRMWARE

この項目では、本機の実ウェアのバージョンが表示されます。

[システム初期設定] の設定をする

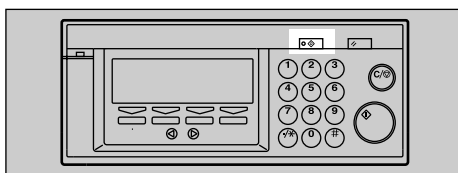
参照

画面に表示される項目の選び方については ⇒ P.16 「画面に表示されるキーなどの選びかた」を参照してください。

重要

- 設定を行う前に、スキャナーを接続してスキャナーの電源をONにしてください。スキャナー未接続時には設定できません。

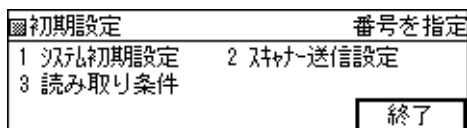
1 【初期設定】 キーを押します。



ZKJIS020J

初期設定画面が表示されます。

2 【1】 キーを押します。



システム初期設定画面が表示されます。項目選択画面「1.IPアドレス」が表示されます。

3 ご使用のネットワーク環境に応じて、必要な項目を設定します。

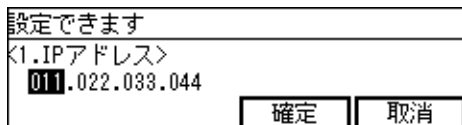
本機にIPアドレスを固定して割り振る環境の場合

1 【設定】 を押します。



「1.IPアドレス」の設定画面が表示されます。

2 本機のIPアドレスを設定してください。



- 数値は、テンキーで入力します。
- 数値は、3桁ずつ入力します。3桁入力したら、【】(または【#】)または【】キーを押して、ほかの3桁を入力します。

補足

- 間違えたときは【クリア/ストップ】キーを押します。入力した3桁の数値がクリアされますので、正しい数値を入力し直してください。
- [取消]を押すと、入力した値がキャンセルされ、前の画面に戻ります。

3 入力終了したら、[確定]を押します。

システム初期設定画面に戻ります。

補足

- [取消]を押すと、入力した値がキャンセルされます。

4 [↓次ページ] を押します。

次の項目選択画面「2.サブネットマスク」が表示されます。

5 ① から ④ までと同様にして、「2.サブネットマスク」、「3.デフォルトゲートウェイアドレス」、「4.アクセスコントロール」と「5.アクセスマスク」を設定します。

「6.ネットワークブート」が表示されます。

補足

- 本機を利用できるPCを制限しない場合は、「4.アクセスコントロール」を設定する必要はありません。「5.アクセスマスク」が「000.000.000.000。」に設定されていることを確認してください。

6 【設定】 を押します。



次の項目選択画面「6. ネットワークブート」が表示されます。

- ⑦ [↑] [↓] を押して、「NONE」を表示させます。

設定できます			
<6.ネットワークブート>			
*NONE			
↑	↓	確定	取消

補足

- 現在設定されている項目には「*」が表示されます。

- ⑧ 「NONE」が表示された状態で、[確定] を押します。

システム初期設定画面に戻ります。

補足

- [取消] を押すと、前回設定した値(「*」のついた値)のままとなり、前画面に戻ります。
- ここで設定を終了する場合、システム初期設定画面の [前メニュー] を押して待機画面を表示した後、本機の電源をOFF/ONしてください。

DHCP環境で本機を使用する場合

- ① 「1.IP アドレス」が表示された状態で、[↓次ページ] を3回押します。

「4.アクセスコントロール」が表示されず。

設定できます			
<システム初期設定>			
4.アクセスコントロール			
↑前ページ	↓次ページ	設定	前メニュー

補足

- DHCPサーバーから自動取得するため、「1.IP アドレス」、「2.サブネットワークマスク」と「3.デフォルトゲートウェイアドレス」の設定はしません。

- ② P.42 「本機にIPアドレスを固定して割り振る環境の場合」の①から④と同様に、「4.アクセスコントロール」と「5.アクセスマスク」の値を設定します。

「6. ネットワークブート」が表示されず。

補足

- 本機を利用できるPCを制限しない場合は、「4.アクセスコントロール」を設定する必要はありません。「5.アクセスマスク」が000.000.000.000. に設定されていることを確認してください。

- ③ [設定] を押します。

設定できます			
<システム初期設定>			
6.ネットワークブート			
↑前ページ	↓次ページ	設定	前メニュー

「6.ネットワークブート」が表示されます。

- ④ [↑] [↓] を押して「DHCP」を表示させます。

設定できます			
<6.ネットワークブート>			
*DHCP			
↑	↓	確定	取消

補足

- 現在設定されている項目には「*」が表示されます。

- ⑤ 「DHCP」が表示された状態で、[確定] を押します。

システム初期設定画面に戻ります。

補足

- [取消] を押すと、前回設定した値(「*」のついた値)のままとなり、前画面に戻ります。
- ここで設定を終了する場合、システム初期設定画面の [前メニュー] を押して待機画面を表示した後、本機の電源をOFF/ONしてください。

- ④ [↓次ページ] を押します。

「7.配信サーバー IP アドレス」が表示されず。

設定できます			
<システム初期設定>			
7.配信サーバーIPアドレス			
↑前ページ	↓次ページ	設定	前メニュー

5 [設定] を押します。

 補足

- Ridoc Document Router/Proで本機の登録を行うと、自動的に取得されます。[取消]を押して、システム初期設定画面に戻ります。

6 [↓次ページ] を押します。

「8.物理アドレス」が表示されます。



 補足

- 物理アドレス(MACアドレス)は製品ごとに固有の番号で、変更することはできません。[設定]を押すと本機の物理アドレスを参照できます。参照後は[取消]を押すと、前画面に戻ります。

7 [↓次ページ] を押して、「9.通信速度」と「10.I/Fの切り替え」を表示させます。「6.ネットワークブート」の設定手順と同様に設定を行います。

 補足

- オプションの無線LANカードが挿入されていない場合、または挿入されていても無線LANカードが未使用状態の場合、「10.I/Fの切り替え」は「Ethernet」に固定されています。
- ここで設定を終了する場合、システム初期設定画面の[前メニュー]を押して待機画面を表示した後、本機の電源をOFF/ONしてください。

 参照

無線LANの使用については、P.134「無線LANの設定をする」を参照してください。

8 [↓次ページ] を押します。

オプションの無線LANカードが挿入されていない場合、または挿入されていても無線LANカードが未使用状態の場合、「11.電波状態」は半輝度で表示されます。

 参照

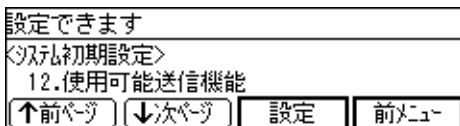
無線LANの使用については、P.134「無線LANの設定をする」を参照してください。

9 [↓次ページ] を押します。

「12.使用可能送信機能」が表示されます。

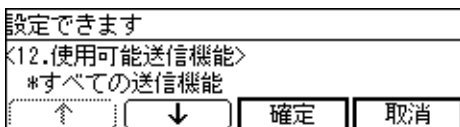
使用可能送信機能を設定する

1 [設定] を表示します。



[↓] [↑] を押して、「すべての送信機能」、「メール送信のみ」、「SMB送信のみ(ファイル名変更可)」、「SMB送信のみ(ファイル名変更不可)」、「FTP送信のみ(ファイル名変更可)」、「FTP送信のみ(ファイル名変更不可)」から設定したい項目を表示させます。

2 [確定] を押します。



 補足

- 現在設定されている項目には「*」が表示されます。
- [取消]を押すと、前回設定した値(「*」のついた値)のままとなり、「12.使用可能送信機能」の画面に戻ります。

10 [↓次ページ] を押します。

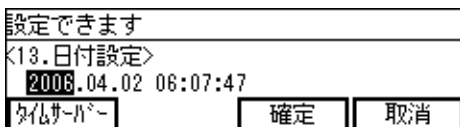
「13.日付設定」が表示されます。

日付と時間を設定するには

1 [設定] を押します。



2 テンキーを使用して日時を入力します。



3 [確定] を押します。

タイムサーバーのIPアドレスを指定する

① [設定] を押します。

設定できます
<システム初期設定>
13. 日付設定
<input type="button" value="↑前ページ"/> <input type="button" value="↓次ページ"/> <input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="前メニュー"/>

② [タイムサーバー] を押します。

設定できます
<13. 日付設定>
2008.04.02 06:07:47
<input type="button" value="タイムサーバー"/> <input type="button" value="確定"/> <input type="button" value="取消"/>

③ ネットワーク上のタイムサーバーのIPアドレスを入力します。

設定できます
<13. 日付設定><タイムサーバー>
000.000.000.000
<input type="button" value="確定"/> <input type="button" value="取消"/>

 補足

- 変更を行わない場合は、[取消] を2回押します。「13.日付設定」が表示されます。

④ [確定] を2回押します。

 参照

タイムサーバーについては、Web Status Monitorの[設定] → [基本設定] → [スキャナー] → [タイムゾーン]でも設定を行うことができます。

⑪ [↓次ページ] を押します。

言語が「日本語」になっていることを確認します。

 補足

- 本機では「日本語」に固定です。

⑫ [↓次ページ] を押します。

「15.FIRMWARE」が表示されます。

[設定] を押します。ファームウェアのバージョンが表示されます。

⑬ [取消] を押します。

設定できません
<15.FIRMWARE>
2.0.0
<input type="button" value="取消"/>

システム初期設定画面に戻ります。

⑭ [前メニュー] を押します。

設定できます
<システム初期設定>
15.FIRMWARE
<input type="button" value="↑前ページ"/> <input type="button" value="↓次ページ"/> <input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="前メニュー"/>

システム初期設定画面に戻ります。

⑮ [終了] を押します。

初期設定	番号を指定
1 システム初期設定	2 スキャナ送信設定
3 読み取り条件	
<input type="button" value="終了"/>	

初期設定を終了し、電源ON時の待機画面が表示されます。

 重要

- 電源ON時の待機画面が表示されるまでは、本機の電源をOFFにしないでください。変更した設定が反映されずに、すべて工場出荷時の設定に戻ることがあります。

 補足

- [終了] の代わりに、テンキーを押して他のメニューの設定ができます。

⑯ 「6.ネットワークブート」と「10.I/Fの切り替え」の設定を変更した場合、本機の電源をOFF/ONします。

以上で設定内容が反映されます。

スキャナー送信設定

スキャナー送信設定の設定項目と、スキャナー送信設定画面を本機の操作パネルから設定する手順について説明をします。

参照

スキャナー送信設定画面は、**【初期設定】** キーを押すと表示されます。

スキャナー送信設定画面の設定手順については⇒P.52 「[スキャナー送信設定] の設定をする」を参照してください。

重要

- 連結するスキャナーによっては、設定できない項目があります。設定できない項目は、半輝度で表示されます。

補足

- (WSM)の表示がついた項目は、WebブラウザからWeb Status Monitorを起動して設定する項目です。

[スキャナー送信設定] の設定項目

❖ 送信/TWAIN優先設定

Ridoc 配信またはメール/ファイル送信機能などの本機からの操作を優先するか、クライアントPCからのネットワークTWAIN機能を優先して使用するかの設定です。「TWAIN」を優先にすると、電源ON時の待機画面はネットワークTWAIN待機画面となり、クライアントPCからの指示待ちになります。Ridoc 配信やメール/ファイル送信(任意ファイル送信を除く)機能を使うときは、[接続解除]を押します。「送信」を優先にすると、電源ON時の待機画面は、Ridoc配信またはメール/ファイル送信の待機画面になります。送信優先時は、本機から操作をしていないときはいつでも、PCからネットワークTWAINまたは任意ファイル送信を行うことができます。

補足

- [機能選択] で「TWAIN」が設定されている状態では、本項目は半輝度で表示され、設定できません。

❖ 送信時接続禁止時間

本機からの操作時に、クライアントPCからのネットワークTWAINドライバーや[任意ファイル送信入力]に割り込まれないようにする機能で、最後に本機の操作部を触った時点からの禁止時間を設定します。「しない」にすると、即時にネットワークTWAINや[任意ファイル送信入力]からの指示データを取り込みます。設定する場合は、3~30秒の範囲で1秒単位に設定します。

補足

- 禁止時間内に、Web Status Monitorから[任意ファイル送信入力]を行ったり、アプリケーションソフトからネットワークTWAINドライバーを起動すると、「スキャナー使用中のため、設定できません。しばらくしてから設定してください」と画面に表示されます。

❖ オートクリア時間

最後に本機の操作部を触った時点から一定時間経過すると、電源ON時の状態に戻すかどうかを設定します。「しない」に設定すると、ユーザーが操作した最後の画面は電源OFFまで保持されます。「する」に設定したときは、その時間を10~999秒の範囲で1秒単位に設定します。なお、読み取りが行われた場合は、読み取り終了後から計時が開始されます。

❖ 圧縮設定(2値)

[原稿種類]に「白黒：文字」、「白黒：文字・写真」、「白黒：写真」のいずれかを指定したときに、読み取った画像データを圧縮して転送するかどうかを設定します。

 補足

- 圧縮すると、転送データのサイズが小さくなり、一度に処理できる原稿枚数が多くなります。処理できる原稿枚数は、原稿ごとに異なります。

❖ 圧縮設定(多値)

[原稿種類]に「白黒：グレースケール」、「カラー：フルカラー」のいずれかを指定したときに、読み取った画像データを圧縮して転送するかどうかを設定します。圧縮する場合は画質(圧縮率と反比例)を設定します。圧縮方式はいずれもJPEGです。

- 標準画質
画質・サイズともに標準的な設定です。
- 低画質
画質の劣化は大きくなりますが、データサイズが小さくなります。
- 高画質
画質の劣化は小さくて済みますが、データサイズが大きくなります。
- 圧縮しない
圧縮しません。画質の劣化はありませんが、データサイズが大きくなります。原稿の粗密に関係なく、読取サイズや色数・解像度により一定のデータサイズとなります。

 補足

- 圧縮する場合は、同じ画質(圧縮率)を設定しても、実際の圧縮サイズは原稿により異なりますので、処理できる原稿枚数も異なります。

❖ 機能選択

利用する機能を選択します。

- Ridoc配信/TWAIN
Ridoc Document Router/Proを利用した配信機能と、ネットワークTWAIN機能が利用できます。
- ファイル送信/TWAIN
メール送信と、Windows共有フォルダーへのファイル送信(SMB)、FTPサーバーへのファイル送信、ネットワークTWAIN機能が利用できます。
- TWAIN
ネットワークTWAIN機能のみが利用できます。

❖ アドレス帳自動更新

Ridoc Document Router/Proから取得するあて先や、ファイル送信などのあて先を、[あて先]や[送信者]を押すたびに自動更新するかしないかを選択します。

- [6.機能選択]で「Ridoc配信/TWAIN」選択時
本機の[あて先]または[送信者]を押したときに、最新のアドレス帳を配信サーバーから取得するかどうかを設定します。「しない」に設定すると、本機の電源ON時にのみ更新されます。
- [6.機能選択]で「ファイル送信/TWAIN」選択時
本機の[あて先]または[送信者]を押したときに、Web Status Monitorで設定したあて名(メールアドレス、ファイル送信パス、FTPサーバー)を更新するかどうかを設定します。「しない」に設定すると、本機の電源ON時にのみ更新されます。

 補足

- Web Status Monitorの[メールアドレス]や[ファイル送信パス]や[FTPサーバー]を追加・変更した場合、本項目を「しない」に設定したときは、本機を再起動させないと追加・変更項目が有効になりません。本項目を「する」に設定したときは、Web Status Monitorの[OK]を押す、本機の[あて先]を押すと、追加・変更したあて先が表示されます。

 補足

- アドレス帳を頻繁に変更しない場合は、「しない」に設定すると更新にかかる時間を省略でき、[あて先] や [送信者] を押したときの反応を速められます。

❖ 単位系設定

[原稿サイズ] を「任意エリア設定」に指定したときの、[開始位置] や [読取エリア] の設定を、mmで行うかinchで行うかを設定します。

❖ sRGB設定

[原稿種類] に「カラー：フルカラー」を指定したときに、スキャナーごとに異なる色再現性に対して、読み取った色を補正し、標準的な色情報として処理するかどうかを指定します。

- しない
色情報の補正をしません。
- sRGB1
Windowsに登録されているディスプレイ用のカラー定義を使用して色情報を補正します。紙の地肌も忠実に再現します。
- sRGB2
独自のカラー定義を使用して色情報を補正します。紙の地肌を低減するように設定されています。

 補足

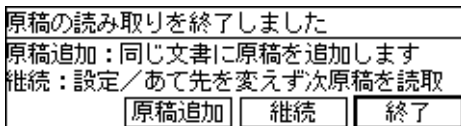
- [sRGB設定] を「sRGB1」または「sRGB2」に設定した場合は、[4.濃度] ⇒ P.56 「濃度」の設定は無効になります。
- 本項目は、連結スキャナーによっては設定できません。設定できないスキャナーが連結されている場合は、半輝度表示されます。

❖ 読取終了後の動作

原稿を読み取ったあとの本機の動作を選択します。

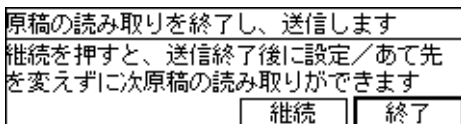
 補足

- 原稿ガラスから原稿を読み取ったときは、本項目の設定に関わらず、原稿の追加読み取りが可能です。
- 選択画面を表示する
ADF(自動原稿送り装置)から読み取った場合は、読取終了後に次の画面を表示します。



[原稿追加] を押すと、現在の画像ファイルに原稿を追加できます。[継続] を押すと、読み取りを終了して送信/配信を行いますが、セットした読取条件やあて先がそのまま残り、同じ設定で2回目の送信/配信ができます。[終了] を押すと、読み取りを終了して送信/配信し、電源ON時の画面に戻ります。

原稿ガラスから読み取る場合は、すべての原稿を読み取って、[読取終了] を押したあとに、次の画面を表示します。



[継続] を押すと、読み取りを終了して送信/配信を行いますが、セットした読取条件やあて先がそのまま残り、同じ設定で2回目の送信/配信ができます。[終了] を押すと、読み取りを終了して送信/配信し、電源ON時の画面に戻ります。

 補足

- 選択画面を表示する時間をWeb Status Monitorの [設定] → [スキャナー] の [追加原稿待ち時間] で設定できます。詳しくはWeb Status Monitorのヘルプを参照してください。
- Web Status Monitorの [任意ファイル送信入力] から送信の指定を行った場合は、[継続]、[終了] とともに、読み取りを終了してファイル送信を行い、任意ファイル送信の設定がそのまま残ります。[戻る] を押すと、電源ON時の画面に戻ります。



- 設定をクリア
読取終了後に選択画面を表示せず、電源ON時の画面に戻り、送信/配信を行います。

 補足

- Web Status Monitorの [任意ファイル送信入力] から送信の指定を行った場合は、ファイル送信を行ったあと、任意ファイル送信の設定がそのまま残ります。[戻る] を押すと、電源ON時の画面に戻ります。

❖ 枠消去幅

読み取った画像に原稿の影が発生したときに、その影を白い枠で消します。その白い枠の線幅を「0mm」(消去しない)、「1mm」、「2mm」、「3mm」、「4mm」、「5mm」から選択します。

 補足

- 本項目は、連結スキャナーによっては設定できません。設定できないスキャナーが連結されている場合は、半輝度表示されます。

❖ ADF薄紙モード

ADFからの給紙の際、薄い紙もより確実に給紙できるようにするか、普通の紙のみを原稿とし、より高速に給紙するかを設定します。

 補足

- 連結スキャナーによっては設定できません。
- 各モードに適した原稿厚は、連結スキャナーごとに異なりますので、詳細についてはスキャナーの取扱説明書をご覧ください。

❖ 配信時の1文書最大サイズ

Ridoc Document Router/Proを利用した配信時の1文書の最大サイズを制限するかしないか設定します。制限する場合は、1-64MBを1MB単位で設定します。

 補足

- Web Status Monitorから設定するときは、[設定] → [配信] の中で設定します。

❖ 追加原稿待ち時間 (WSM)

[読取終了後の動作] が「選択画面を表示」に設定されているとき、設定画面が表示されるまでの時間を設定します。3から900までの数字で、秒単位で設定します。読み取りが終了してから設定した時間を過ぎると、電源ONしてからはじめにあわられる画面が操作パネルに表示され、読み取り終わったファイルが送信されます。

 補足

- この項目はWeb Status Monitorからのみ設定できます。

❖ **読取枚数**

連結されたスキャナーの総読み取り枚数を表示します。ADF/コンタクト(原稿)ガラス別に表示します。

 **補足**

- 両面原稿を1枚読み取った場合、連結スキャナーが同時両面読取のときは1枚とカウントされますが、反転両面読取の場合は2枚としてカウントされます。

❖ **読取ページ数**

連結されたスキャナーの総読取ページ数を表示します。ADF/コンタクト(原稿)ガラス別に表示します。

 **補足**

- 両面読取機能があるスキャナーでは、1枚の原稿の両面を読み取った場合は、原則、2ページとしてカウントされますが、連結スキャナーによっては1ページとカウントされるものがあります。

❖ **ADFパッドカウンター**

IS250D/IS255D、IS220DC/IS225DCのADFパッドの交換時期の目安用カウンターです。[クリア]を押すとカウンター値が0になりますので、ADFパッドを交換したときに[クリア]を押して、ADFパッド交換後のカウンター値(ADF読取枚数)がわかるようにします。

❖ **ピックアップローラーカウンター**

IS250D/IS255D、IS220DC/IS225DCのピックアップローラーの交換時期の目安用カウンターです。[クリア]を押すとカウンター値が0になりますので、ピックアップローラーを交換したときに[クリア]を押して、ピックアップローラー交換後のカウンター値(読取枚数)がわかるようにします。

❖ **使用可能送信機能(WSM)**

この項目を設定すると、【初期設定】キーの[2.スキャナー送信設定]の中で[6.機能選択]を[ファイル送信/TWAIN]に設定している場合、[1.システム初期設定]の[13.使用可能送信機能]の中で、機能を制限することができます。

[すべての送信機能]、[メール送信のみ]、[SMB送信のみ(ファイル名変更可)]、[SMB送信のみ(ファイル名変更不可)]、[FTP送信のみ(ファイル名変更可)]、[FTP送信のみ(ファイル名変更不可)]から、使用できるように設定したい機能を選択してください。

次の例は、[メール送信]のみを設置した場合です。

宛先を指定して下さい	[全表示]
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:A4	
読取条件	メール送信

❖ **見出し選択 (WSM)**

【**見出し**】キーを押した時に、表示されるタイトルを選択することができます。「かな」、「英数」、「任意見出し」から選んでください。

 **補足**

- この項目はWeb Status Monitorからのみ設定できます。
- 「任意見出し」を使用する前に、Web Status Monitorからタイトルを設定し、本機を再起動する必要があります。

❖ **タイムゾーン (WSM)**

GMT(グリニッジ標準時)からの時差で、ご使用の地域のタイムゾーンを設定することができます。

❖ **重送検知 (WSM)**

この項目を設定すると、重送(原稿が2枚以上重なったまま送られること)を検知させることができます。「なし」、「超音波」、「長さ」、「超音波+長さ」から選択します。

 **補足**

- 連結するスキャナーにより、設定が異なります。詳細については『IPSiOSCAN BOX TYPE X2: 連結スキャナー別機能差異表』を参照してください。

❖ **長さ誤差 (WSM)**

この項目を設定すると、原稿の長さの+/-10mm、+/-15mm、もしくは+/-20mmの違いによって、原稿の重送(原稿が2枚以上重なったまま送られること)を検知させることができます。

 **補足**

- 連結するスキャナーにより、設定が異なります。詳細については『IPSiOSCAN BOX TYPE X2: 連結スキャナー別機能差異表』を参照してください。

[スキャナー送信設定] の設定をする

次の手順にしたがって、本機の操作パネルからスキャナー送信設定を設定します。

重要

- 設定を行う前に、スキャナーを接続してスキャナーの電源を ON にしてください。スキャナー未接続時には設定できません。

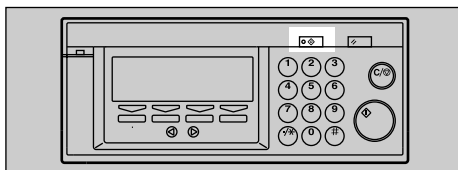
補足

- Web Status Monitorから設定を行うこともできます。

参照

画面に表示された項目を選択する方法については⇒P.16「画面に表示されるキーなどの選びかた」を参照してください。

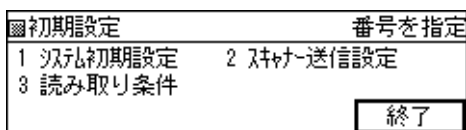
1 【初期設定】 キーを押します。



ZKJS020J

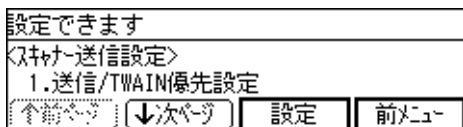
初期設定画面が表示されます。

2 【2】 キーを押します。



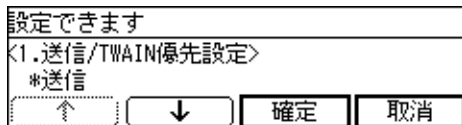
スキャナー送信設定画面が表示され、「1. 送信/TWAIN優先設定」が選択中の設定項目として表示されます。

3 【設定】 キーを押します。



「1.送信/TWAIN優先設定」の設定画面が表示されます。

4 「送信」または「TWAIN」から、主として使用したい機能を選択します。



- 現在設定されている項目が最初に表示されます。
- 現在設定されている項目には「*」が表示されます。
- [↑] [↓] を使用して、選択したい項目を表示させます。

5 【確定】 キーを押します。

設定が保存され、スキャナー送信設定画面に戻ります。

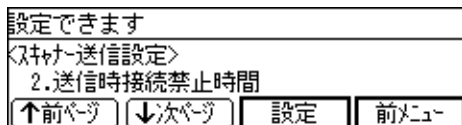
補足

- [取消] を押すと前回設定した値のまま、前画面に戻ります。

6 [↓次ページ] キーを押します。

「2.送信時接続禁止時間」が表示されます。

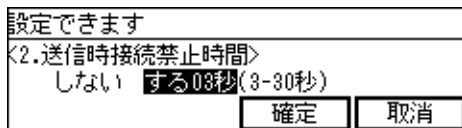
7 【設定】 キーを押します。



「2. 送信時接続禁止時間」の設定画面が表示されます。

8 「2.送信時接続禁止時間」で、設定したい項目を選択します。

「する」を選択した場合、テンキーを使用して、ネットワークTWAIN(または[任意ファイル送信入力]) を使用後から待機画面に戻るまでの時間を入力します。



- 【Ⓢ】【Ⓣ】を使用して、設定したい項目を反転表示させます。

補足

- 入力した値をクリアするには、【クリア/ストップ】キーを押します。
- 【取消】を押すと、修正前の設定のまま前画面に戻ります。

9 【確定】を押します。

設定が保存され、スキャナー送信設定画面に戻ります。

補足

- 【取消】を押すと、修正前の設定のまま前画面に戻ります。

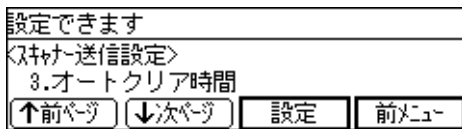
10 【↓次ページ】を押します。

「3.オートクリア時間」が表示されます。

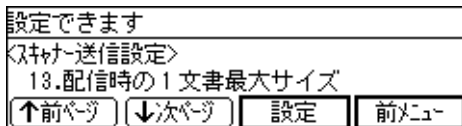
補足

- 【↑前ページ】を押すと、前の設定項目が表示されます。

11 オートクリア時間を **7** ~ **9** と同じようにして設定します。



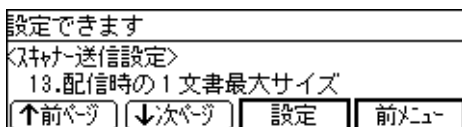
12 【↓次ページ】を押して「4.圧縮設定(2値)」~「12.ADF 薄紙モード」を表示させます。
8 ~ **6** と同じようにして各項目を設定します。



「13.配信時の1文書最大サイズ」が表示されます。

13 **7** ~ **9** と同じように、「13.配信時の1文書最大サイズ」の設定を行います。

14 【↓次ページ】を押します。



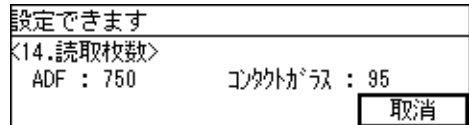
「14.読取枚数」が表示されます。

15 【設定】を押します。



読み取りされた原稿の枚数が表示されます。

16 【取消】を押します。



スキャナー送信設定画面に戻ります。

17 【↓次ページ】を押します。

「15.読取ページ数」が表示されます。

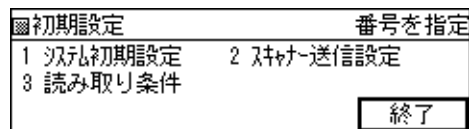
15 ~ **16** と同じようにして、読み取りされた原稿のページ数を表示します。

18 【前メニュー】を押します。



初期設定画面が表示されます。

19 【終了】を押します。



初期設定を終了し、電源ON時の待機画面が表示されます。

重要

- 電源ON時の待機画面が表示されるまでは、本機の電源をOFFにしないでください。変更した設定が反映されずに、すべて工場出荷時の設定にもどることがあります。
- [1.送信/TWAIN 優先設定] と [6.機能選択] の設定を変更した場合、本機を再起動してください。以上の設定の変更が反映されます。

補足

- 【終了】の代わりに、テンキーを押して他のメニューの設定ができます。

読み取り条件設定

メール送信、ファイル送信(SMB、FTP)、配信時によく使う読取条件をあらかじめ登録しておきます。[デフォルト]、[ユーザー1]～[ユーザー3]の合計4つの読取条件が登録できます。[デフォルト]は、読取条件を何も指定しなかったときに使われる読取条件です。このほかに、比較的良好に使用する読取条件を[ユーザー1]～[ユーザー3]に登録しておくことで、メール/ファイル送信時や配信時に[ユーザー1]～[ユーザー3]のいずれかを指定するだけで済みます。送信時ごとに詳細な指定が不要になります。

補足

- [ユーザー1]～[ユーザー3]の読取条件の名称は、任意に変更することができます。読取条件の名称の変更手順については、⇒P.66「読取条件の名称を変更する場合」を参照してください。

参照

読み取り条件設定画面は、【初期設定】キーを押すと表示されます。

読み取り条件設定画面の設定手順については⇒P.54「[読み取り条件設定]で登録する項目」を参照してください。

重要

- 連結するスキャナーによっては、設定できない項目があります。設定できない項目は、半輝度で表示されます。

[読み取り条件設定]で登録する項目

❖ 読取条件名(WSM)

[ユーザー1]～[ユーザー3]の読取条件の名称を、任意に登録します。なお、登録した読取条件名の画面表示は、マニュアル設定の場合は半角7文字以内、初期設定の場合は半角14文字以内で表示され、それ以上の文字数で登録した場合は[...]で省略表示されます。

補足

- [デフォルト]の名称は変更できません。

❖ 原稿種類

原稿の種類を選択します。選択した原稿の種類に適した設定で、読み取り時の色数や階調が設定されます。

補足

- 連結スキャナーにより、選択肢が異なります。ここに示されたすべての項目が表示されるわけではありません。そのスキャナーで選択できる項目のみが表示されます。白黒/グレースケールで読み取る場合は、次のいずれかの項目を選択します。

- 白黒：文字
文字を主体とした標準的な原稿の場合に指定します。白黒2値(白か黒のどちらか)で読み取ります。
- 白黒：文字・写真
文字のほかにグラフや写真が混じった原稿の場合に指定します。白黒2値で読み取りますが、誤差拡散モードやディザパターンの利用により、写真部分は中間調で表現されます。

補足

- 中間調の表現(誤差拡散モードやディザパターン)は、連結スキャナーにより異なります。

- 白黒：写真
白黒写真が主体の原稿の場合に指定します。白黒2値で読み取りますが、ディザパターンなどを使って、中間調で表現されます。

 補足

- 中間調の表現(ディザパターン)は、連結スキャナーにより異なります。

- 白黒：グレースケール
白黒写真を主体とした原稿のほか、カラー写真であっても白黒写真として読み取りたい原稿の場合に指定します。白黒256階調で読み取ります。

 補足

- 「白黒：グレースケール」を指定すると、一度に読み取れる原稿枚数は少なくなります。原稿をカラーで読み取る場合は、「カラー：フルカラー」に設定します。

- カラー：フルカラー
精緻なカラー写真原稿の場合に指定します。カラー 1677万色で読み取ります。

 補足

- 「カラー：フルカラー」を指定すると、一度に読み取れる原稿枚数は少なくなります。

❖ 解像度

読み取る解像度を100dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi、任意解像度から選択します。

 補足

- 解像度を上げると、一度に読み取れる原稿枚数が少なくなります。
- 任意解像度で設定できる範囲は、連結スキャナーによって異なります。

❖ 原稿サイズ

原稿を読み取るサイズを選択します。

- 連結スキャナーによって、読み取れる原稿サイズは異なります。表示されたものの中から選んでください。
- 「任意エリア設定」を選択したときは、次項の [開始位置] および [読取エリア] で読み取る範囲を指定します。

❖ 開始位置

[3.原稿サイズ] が「任意エリア設定」のときの読取開始位置を、連結スキャナーの基準点を0とした縦横の距離寸法で指定します。

 補足

- インチ単位で指定したいときは、あらかじめ初期設定画面の [2.スキャナー送信設定] の [8.単位系設定] を「inch」に設定しておきます。⇒ P.48 「単位系設定」

❖ 読取エリア

[3.原稿サイズ] が「任意エリア設定」のときの読取終了位置を、[開始位置] からの縦横の距離寸法で指定します。

 補足

- インチ単位で指定したいときは、あらかじめ初期設定画面の [2.スキャナー送信設定] の [8.単位系設定] を「inch」に設定しておきます。⇒ P.48 「単位系設定」
- 開始位置と読取エリアの合計が、縦・横とも、連結スキャナーの読取可能範囲内に収まるように設定してください。読取可能範囲は連結スキャナーによって異なります。また、[1.原稿種類] によっても異なります。各連結スキャナーの取扱説明書をご覧ください。

❖ 濃度

原稿を読み取る濃度を、「うすく(1)」～「(7)こく」の7段階から選択します。数字が大きいほど濃くなります。

 補足

- [sRGB設定]を「する」または「sRGB1」、「sRGB2」に設定すると、濃度の設定は無効になります。

❖ 指定色消去

白黒で読み取るとき([1.原稿種類] に「白黒：文字」、「白黒：文字・写真」、「白黒：写真」、「白黒：グレースケール」のいずれかを設定したとき)に、特定の色を読み取らない設定ができます。たとえば、青インクで印刷された用紙に黒字で記入された伝票の黒字記入部分のみを読み取りたいときは、「青」を [指定色消去] に指定します。

 補足

- 連結スキャナーによって、設定の可否、選択肢が異なります。
- 原稿の色味によっては消去されない場合があります。

❖ 孤立点除去

白黒2値で読み取るとき([1.原稿種類] に「白黒：文字」、「白黒：文字・写真」、「白黒：写真」のいずれかを設定したとき)に、白地部分にある小さな点を消して読み取ります。

 補足

- 連結スキャナーによっては設定できません。
- 「3×3」、「4×4」、「5×5」は、除去する孤立点を検出する範囲(ドット×ドット)を表しています。指定した範囲の枠(1ドット幅)よりも内側に入る孤立点が検出され、除去されます。たとえば「5×5」を指定すると、最大3×3ドットの孤立点が除去されます。

❖ スムージング

白黒2値で読み取るとき([1.原稿種類] に「白黒：文字」、「白黒：文字・写真」、「白黒：写真」のいずれかを設定したとき)に、原稿中の文字や図形の境目をなめらかにして読み取るかどうかを指定します。

 補足

- 連結スキャナーによっては設定できません。

❖ フィルター

フィルターを使用して読み取るかどうかを指定します。

- なし
フィルターを使わずに読み取ります。
- MTF
境目を強調してくっきりとした画像として読み込みます。
- 平滑化
画像をぼかして読み取ります。

❖ 白黒反転

白黒で読み取るとき([1.原稿種類] に「白黒：文字」、「白黒：文字・写真」、「白黒：写真」、「白黒：グレースケール」のいずれかを設定したとき)に、原稿の黒い部分を白、白い部分を黒として読み込むかどうかを設定します。

❖ ファイル形式

メール送信、Windows共有フォルダーへのファイル送信、FTPサーバーへのファイル送信時の画像ファイル形式を設定します。

 補足

□ Ridoc配信時は、Ridoc Document Router/Proの設定に依存します。

- シングルページ
原稿が複数ページの場合でも、1ページずつのファイルになります。

 補足

- [1.原稿種類] で「白黒：グレースケール」または「カラー：フルカラー」を選択し、[圧縮設定(多値)] が「高画質」、「標準画質」、「低画質」のいずれかに設定されている場合はJPEG形式のシングルページになります。
- 上記以外は、シングルTIFF形式で送信されます。

- PDF
PDF形式で送信します。

 補足

- PDFにパスワードを付けて送信することもできます。パスワード付きPDFで送信するための設定手順については⇒P.69 「[PDFセキュリティ] の操作手順」を参照してください。
- マルチページTIFF
複数枚の原稿をまとめて、1つのTIFFファイル(マルチページTIFF)にして送信します。

 補足

- [1.原稿種類] で「白黒：グレースケール」または「カラー：フルカラー」を選択し、[圧縮設定(多値)] が「高画質」、「標準画質」、「低画質」のいずれかに設定されている場合はPDF形式で送信されます。

なお各ファイル形式に対応したファイルフォーマットについては、以下の表を参照してください。

原稿種類	圧縮設定	シングルページ	PDF	マルチページ TIFF
白黒2値	圧縮しない	TIFF	PDF	マルチページ TIFF
	圧縮する	TIFF	PDF	マルチページ TIFF
グレースケール	圧縮しない	TIFF	PDF	マルチページ TIFF
	標準画質	JPEG	PDF	PDF
	高画質	JPEG	PDF	PDF
	低画質	JPEG	PDF	PDF
フルカラー	圧縮しない	TIFF	PDF	マルチページ TIFF
	標準画質	JPEG	PDF	PDF
	高画質	JPEG	PDF	PDF
	低画質	JPEG	PDF	PDF

【読み取り条件設定】を登録する

次の手順にしたがって、本機の操作パネルから読み取り条件設定を登録します。

重要

- 設定を行う前に、スキャナーを接続してスキャナーの電源をONにしてください。スキャナー未接続時には設定できません。

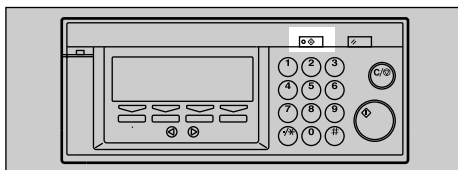
補足

- Web Status Monitorから登録を行うこともできます。

参照

画面に表示された項目を選択する方法については⇒ P.16 「画面に表示されるキーなどの選びかた」を参照してください。

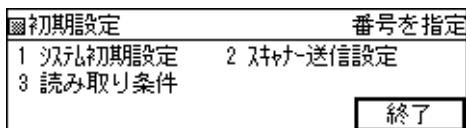
1 【初期設定】キーを押します。



ZKJS020J

初期設定画面が表示されます。

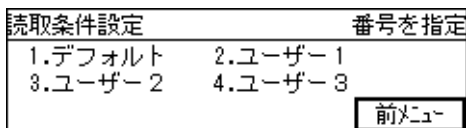
2 【3】キーを押します。



読み取り条件設定画面が表示されます。

この画面で、読取条件の「デフォルト」、「ユーザー1」、「ユーザー2」、「ユーザー3」のどれに登録するかを選びます。

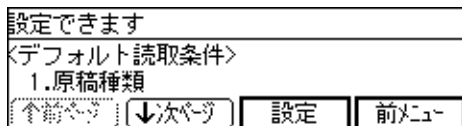
3 【1】を押します。



デフォルトの読み取り条件設定画面が表示され「1.原稿種類」が表示されます。

画面の例ではすべてのユーザーが登録済の状態を表示しています。登録されていないユーザーは半輝度で表示されます。

4 【設定】を押します。

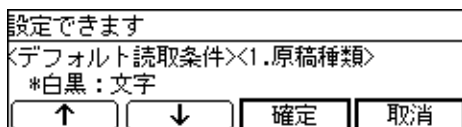


「1.原稿種類」の設定項目が表示されます。

補足

- [取消] を押すと前の画面に戻ります。

5 原稿種類を選択します。



- 現在設定されている項目が最初に表示されます。
- 現在設定されている項目には「*」が表示されます。
- [↑] [↓] を使用して、設定したい項目を表示させます。

6 設定したい項目を表示させた状態で【確定】を押します。

設定した項目が保存され、デフォルトの読取条件設定画面に戻ります。

補足

- [取消] を押すと、前回の設定のままデフォルトの読取条件設定画面に戻ります。

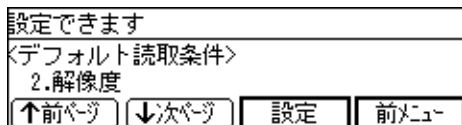
7 【↓次ページ】を押します。

「2.解像度」が表示されます。

補足

- [前メニュー] を押すと、読取条件設定画面に戻ります。

8 【設定】を押します。



「2.解像度」の設定画面が表示されます。

9 解像度を選択します。

設定できません
<デフォルト読取条件><2.解像度>
*100dpi
<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="確定"/> <input type="button" value="取消"/>

- 現在設定されている項目が最初に表示されます。
- 現在設定されている項目には「*」が表示されます。
- [↑] [↓] を使用して、設定したい項目を表示させます。

表示された解像度を選択するとき

- 1 選択したい解像度を表示させた状態で、[確定] を押します。

設定した項目が保存され、デフォルトの読取条件設定画面に戻ります。

補足

- [取消] を押すと、前回の設定のままデフォルトの読取条件設定画面に戻ります。

[任意解像度] で解像度を指定するとき

- 1 [任意解像度] を表示させ、[設定] を押します。

設定できません
<デフォルト読取条件><2.解像度>
任意解像度
<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="取消"/>

「任意解像度」の設定画面が表示されます。

- 2 テンキーを使用して、解像度を入力します。

任意解像度	テンキーで解像度を入力し#
解像度: 100 dpi (075-800dpi)	
<input type="button" value="確定"/> <input type="button" value="取消"/>	

補足

- 入力した値を修正するには、【クリア/ストップ】キーを押して入力した値をクリアします。

- 3 [確定] を押します。

設定した項目が保存され、デフォルトの読取条件設定画面に戻ります。

補足

- [取消] を押すと、設定した値がキャンセルされ、前回設定した値のまま、デフォルトの読取条件設定画面に戻ります。

- 10 [↓次ページ] を押します。

「3.原稿サイズ」が表示されます。

- 11 [設定] を押します。

設定できません
<デフォルト読取条件>
3.原稿サイズ
<input type="button" value="↑前ページ"/> <input type="button" value="↓次ページ"/> <input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="前メニュー"/>

「3.原稿サイズ」の設定画面が表示されます。

- 12 原稿サイズを選択します。

設定できません
<デフォルト読取条件><3.原稿サイズ>
*A4
<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="確定"/> <input type="button" value="取消"/>

- 現在設定されている項目が最初に表示されます。
- 現在設定されている項目には「*」が表示されます。
- [↑] [↓] を使用して、設定したい項目を表示させます。

表示された原稿サイズを選択したとき

- 1 選択したい原稿サイズが表示された状態で、[確定] を押します。

選択した原稿サイズが設定され、デフォルトの読取条件設定画面に戻ります。

補足

- [取消] を押すと、設定した値がキャンセルされ、前回設定した値のまま、デフォルトの読取条件設定画面に戻ります。

任意の原稿サイズを指定するとき

- ① 「任意エリア設定」が表示されている状態で、[設定] を押します。

設定できません			
<デフォルト読取条件><3.原稿サイズ>			
任意エリア設定			
↑	↓	設定	取消

「任意エリア設定」を設定する画面が表示されます。

- ② 【**Ⓢ**】 【**Ⓣ**】 キーを使用して入力したい項目を反転表示させ、テンキーで値を入力します。

任意エリア設定	テンキーで寸法を入力し#		
開始位置：タテ	0000mm	ヨコ	0000mm
読取エリア：タテ	0283mm	ヨコ	0283mm
	確定	取消	

補足

- 入力した値を修正するには、【**Ⓢ**】 【**Ⓣ**】 キーを使用して修正したい値を反転させ、【**クリア/ストップ**】 キーを押してクリアします。
- 項目間の移動には、【**Ⓢ**】 【**Ⓣ**】 キーの他に、【**#**】 キーも使用できます。

- ③ [確定] を押します。

選択した原稿サイズが設定され、デフォルトの読取条件設定画面に戻ります。

補足

- [取消] を押すと、設定した値がキャンセルされ、前回設定した値のまま、デフォルトの読取条件設定画面に戻ります。

- ⑬ [↓次ページ] を押します。

「4.濃度」が選択中の設定項目として表示されます。

- ⑭ [設定] を押します。

設定できません			
<デフォルト読取条件>			
4.濃度			
↑前ページ	↓次ページ	設定	前メニュー

「4.濃度」の設定画面が表示されます。

- ⑮ 【**Ⓢ**】 【**Ⓣ**】 キーを使用して設定したい濃度を選択します。

設定できません		
<デフォルト読取条件><4.濃度>		
うすく(1) □ □ □ □ □ □ □ □ (7) こく		
	確定	取消

- ⑯ [確定] を押します。

選択した項目が設定され、デフォルトの読取条件設定画面に戻ります。

補足

- [取消] を押すと、設定した値がキャンセルされ、前回設定した値のまま、デフォルトの読取条件設定画面に戻ります。

- ⑰ [↓次ページ] を押して、④～⑦と同様の手順で「5.指定色消去」から「11.原稿面/セット方向」を設定します。

- ⑱ 必要な設定がすべて完了したら、[前メニュー] を押します。

設定できません			
<デフォルト読取条件>			
11.原稿面/セット方向			
↑前ページ	↓次ページ	設定	前メニュー

「デフォルト」の読取条件が設定され、読取条件設定画面に戻ります。

- ⑲ 読取条件設定画面で【2】、【3】または【4】キーを押して、該当するユーザーの読取条件を設定します。

読取条件設定	番号を指定
1.デフォルト	2.ユーザー1
3.ユーザー2	4.ユーザー3
	前メニュー

たとえば、ユーザー1の設定項目を表示させるには、読取条件設定画面で【2】キーを押します。

- ⑳ ④～⑱を「ユーザー1」、「ユーザー2」または「ユーザー3」に変更して各ユーザーの設定を行います。

補足

- [ユーザー1] ～ [ユーザー3] の読取条件の名称は、任意に変更することができます。読取条件の名称の変更手順については、⇒ P.66 「読取条件の名称を変更する場合」を参照してください。

- 21 設定が終了したら、[前メニュー] を押します。

初期設定画面が表示されます。

- 22 [終了] を押します。

初期設定		番号を指定
1 読み取り初期設定	2 スキャナ送信設定	
3 読み取り条件		
		終了

初期設定画面を終了し、電源ON時の待機画面が表示されます。

重要

- 電源 ON 時の待機画面が表示されるまでは、本機の電源を OFF にしないでください。変更した設定が反映されずに、すべて工場出荷時の設定にもどることがあります。

補足

- [終了] の代わりに、テンキーを押して他のメニューの設定ができます。

Webブラウザを使って設定する

ここでは、クライアントPCのWebブラウザを利用して、本機の各設定をする方法を説明します。

重要

- 設定を行う前に、本機をネットワーク接続し、本機のIPアドレスを設定します。⇒ P.42 「[システム初期設定] の設定をする」
- 設定した本機のIPアドレスを確認するには、**【初期設定】** キーを押して、**【1】** キーを押して [1.システム初期設定] の中の [1.IP アドレス] を選択し、[設定] を押します。確認後、[取消]、**【初期設定】** キーを押して戻ってください。
- 設定を行う前に、スキャナーを接続し、スキャナーの電源をONにしてください。スキャナー未接続時は、設定ができません。

IPSiOSCAN BOXにアクセスする

クライアントPCの動作環境

- ❖ OS
 - Windows 95/98/98 SE/Me/2000/XP(日本語版)
 - Windows NT4.0(日本語版)
- ❖ Webブラウザ
 - Microsoft Internet Explorer 4.0、5.0、5.5、6.0(日本語版)

IPSiOSCAN BOXへのアクセス手順

- 1 クライアントPCのWebブラウザを起動します。
- 2 Webブラウザの【アドレス】欄に「http://」と入力し、続いて本機のIPアドレスを入力し、【Enter】キーを押します。

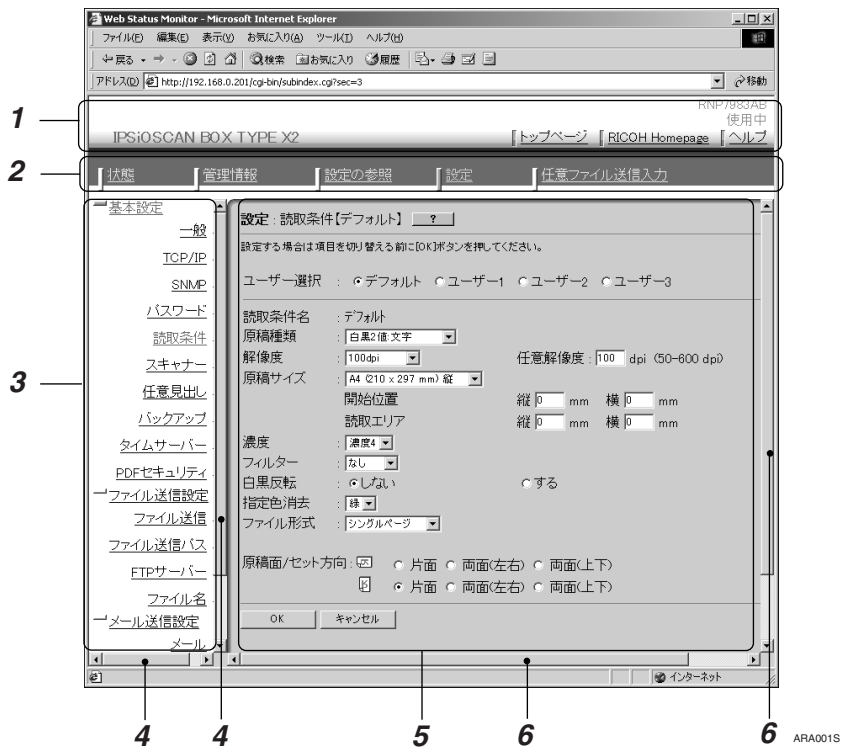
本機にログインし、本機のWeb Status Monitorのトップページが表示されます。



補足

- Web Status Monitorは、本機の設定を行ったり本機の状態を監視するためのソフトウェアで、本機に内蔵されています。クライアントPCにインストールする必要はありません。

Web Status Monitorの画面と操作方法



1. ヘッダーエリア

トップページやヘルプへのリンクボタンがあります。ここをクリックすることにより、どのページが開かれている状態であっても、トップページやヘルプを表示できます。

2. メインメニュー

大分類項目があります。最初に、[状態]～[任意ファイル送信入力]の中から項目をクリックします。

3. サブメニュー

クリックしたメインメニュー項目に応じたサブメニューが表示されます。サブメニューの中から項目をクリックします。

重要

- ブラウザーの[戻る]ボタンで前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザーの[更新]をクリックしてください。メインメニューやサブメニューをクリックし直すと、入力した内容はクリアされます。
- ブラウザーで設定しているフォントサイズによっては、一部表示がずれることがあります。「中」以下でお使いになることをお勧めします。

4. サブメニュー用のスクロールバー

サブメニューの一部が表示されていない場合に、スクロールさせて表示します。

5. 作業エリア

クリックしたサブメニューの項目に応じた入力・参照画面が表示されます。

6. 作業エリア用のスクロールバー

大きな作業画面では、作業画面の一部が表示しきれない場合があります。縦・横のスクロールバーを使って、作業画面をスクロールさせてください。

[設定] の操作手順例

ここでは、[読取条件] と [メールアドレス] の設定を例にして、Web Status Monitorの [設定] の操作手順を説明します。



[読取条件] の操作手順

1 メインメニューの [設定] をクリックします。

パスワード入力ダイアログボックスが表示されます。

2 ユーザー名に「ricoh」を入力し、パスワードを入力します。

補足

- ユーザー名は「ricoh」(半角小文字)に固定です。
- パスワードは、工場出荷時に「ricoh」に設定されています。[設定] → [パスワード] で変更可能です。

3 [OK] をクリックします。

設定画面が表示されます。

4 サブメニューの [基本設定] → [読取条件] をクリックします。

5 [ユーザー選択] の [デフォルト] をクリックしてONにします。

6 各項目を入力します。

補足

- 最もよく利用する読取条件を [デフォルト] に登録します。メール/ファイル送信時や Ricodoc 配信時に読取条件の指定を省略した場合、ここで [デフォルト] として設定した条件で読み取りが実行されます。

7 [OK] をクリックします。

補足

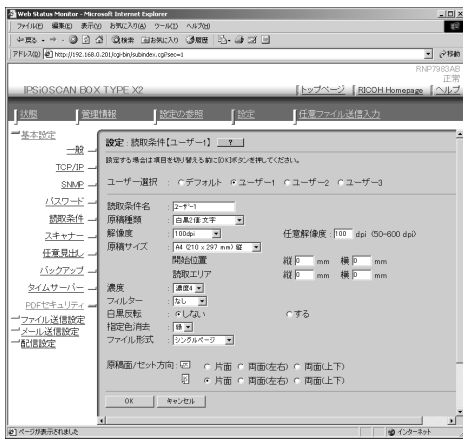
- [OK] をクリックせずに他のページに移動し、もう一度本ページに戻ってから [OK] をクリックしても、設定項目は反映されません。設定を登録・変更したいときは、必ず [OK] をクリックしてから他のページに移動してください。
- [キャンセル] をクリックすると、変更内容は破棄されます。

- 8** **5**の[ユーザー選択]の選択肢を変えながら、必要に応じて**6**~**7**を繰り返します。

読取条件の名称を変更する場合

以下の手順で、読取条件の[ユーザー1]~[ユーザー3]の名称を任意に変更することができます。

- 1** [ユーザー選択]の選択肢の[ユーザー1]~[ユーザー3]から、読取条件の名称を変更したい項目を選択します。
- 2** [読取条件名]に、任意の読取条件の名称を入力します。



- 3** [OK] をクリックします。
- 4** 本機の電源をOFF/ONします。

補足

- 本機の電源をOFF/ONするまで、読取条件名称の変更は反映されません。

[メールアドレス] の操作手順

- 1** メインメニューの[設定]をクリックします。

パスワード入力ダイアログボックスが表示されます。

補足

- 一度設定をクリックしてパスワードを入力すれば、2回目からはパスワード入力ダイアログボックスは表示されません。その場合は**4**に進んでください。

- 2** ユーザー名に「ricoh」を入力し、パスワードを入力します。

補足

- ユーザー名は「ricoh」(半角小文字)に固定です。
- パスワードは、工場出荷時に「ricoh」に設定されています。[設定]→[パスワード]で変更可能です。

- 3** [OK] をクリックします。

設定画面が表示されます。

- 4** サブメニューの[メール送信設定]→[メールアドレス]をクリックします。

- 5** 新規登録、変更、削除、メールアドレス帳の書き出し、一括登録の各作業別に、次の操作をします。

新規登録する場合

- 1** [追加] をクリックします。
- 2** 各項目を入力します。
- 3** [OK] をクリックします。

補足

- [OK] をクリックせずに他のページに移動し、もう一度本ページに戻ってから[OK]をクリックしても、設定項目は反映されません。設定を登録・変更したいときは、必ず[OK]をクリックしてから他のページに移動してください。
- [キャンセル] をクリックすると、入力内容をクリアします。

変更する場合

- 1 変更したいユーザーを画面に表示し、最左端の白丸をクリックして、ユーザーを選択します。

補足

- [表示件数] の設定にしたがって画面表示されます。1ページ分(表示件数分)が画面に収まらない場合は、右端のスクロールバーを使ってください。
 - [次へ] をクリックすると次のページを表示し、[前へ] で前ページを表示します。[先頭] で先頭ページ、[末尾] で最後尾のページに移動します。
 - [ページ] に任意の数値を入力して [GO] をクリックすると、任意のページに移動します。
- 2 [変更] をクリックします。
 - 3 変更したい項目を変更します。
 - 4 [OK] をクリックします。

補足

- [OK] をクリックせずに他のページに移動し、もう一度本ページに戻ってから [OK] をクリックしても、変更項目は反映されません。設定を登録・変更したいときは、必ず [OK] をクリックしてから他のページに移動してください。
- [キャンセル] をクリックすると、変更内容は破棄されます。

削除する場合

- 1 削除したいユーザーを画面に表示し、最左端の白丸をクリックして、ユーザーを選択します。

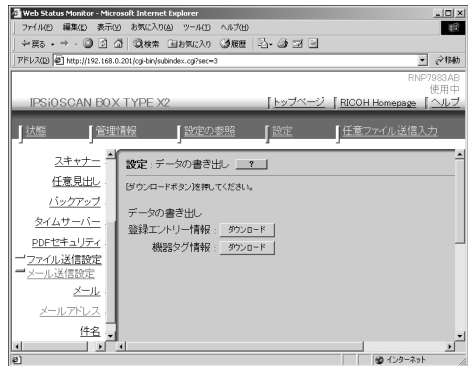
補足

- [表示件数] の設定にしたがって画面表示されます。1ページ分(表示件数分)が画面に収まらない場合は、右端のスクロールバーを使ってください。
- [次へ] をクリックすると次のページを表示し、[前へ] で前ページを表示します。[先頭] で先頭ページ、[末尾] で最後尾のページに移動します。
- [ページ] に任意の数値を入力して [GO] をクリックすると、任意のページに移動します。

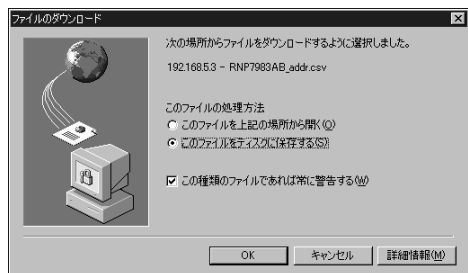
- 2 [削除] をクリックします。
- 3 確認のダイアログが表示されますので、内容を確認し、よければ [OK] をクリックします。

メールアドレス帳の書き出しをする場合

- 1 [書き出し] をクリックします。
- 2 メールアドレス帳本体を書き出したい場合は、登録エントリー情報の [ダウンロード] をクリックします。



- 3 「このファイルをディスクに保存する」を選択して [OK] をクリックします。



補足

- この画面は OS(Windows) のバージョンによって異なります。[開く] / [保存] 等のボタンがある画面のときは [保存] ボタンをクリックします。

「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。

- ④ 保存場所とファイル名を指定して、[保存] をクリックします。

 補足

- デフォルトのファイル名は、「識別名_addr.csv」になります。「識別名」には Web Status Monitorの [設定] → [一般] の [識別名] で設定した文字列が入ります。

ダウンロードが完了すると、Web Status Monitorの画面に戻ります。

 補足

- 「ダウンロードが完了したときは、このダイアログボックスを閉じる」にチェックが表示されていないときは、[閉じる] をクリックして、Web Status Monitorの画面に戻ってください。

- ⑤ 見出し情報をエクスポートする場合は、機器タグ情報の [ダウンロード] をクリックします。

- ⑥ ③～④と同様の手順でファイルを保存します。

 補足

- デフォルトのファイル名は、「識別名_taginfo.csv」になります。「識別名」には Web Status Monitorの [設定] → [基本設定] → [一般] の [識別名] で設定した文字列が入ります。

一括登録する場合

 制限

- CSV形式(カンマ区切り形式)のファイルの内容を取り込むことができますが、現在のメールアドレス帳を上書きします。必要なデータがある場合は、必ず事前に [書き出し] を行い、そのファイルを表計算ソフトやテキストエディターなどで加工するようにしてください。

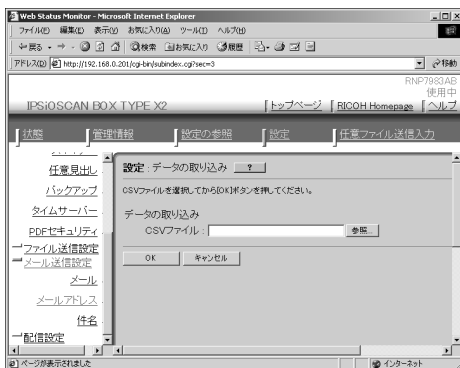
 参照

CSV ファイルの形式については P.140 「メールアドレス一括登録/書き出し時のフォーマット」を参照してください。

- ① メールアドレス帳として取り込むデータを CSV ファイルにして、ローカルディスクまたは共有フォルダー上に用意します。

- ② [取り込み] をクリックします。

- ③ [参照] をクリックして、用意した CSV ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



- ④ [OK] をクリックします。

一括登録確認のダイアログボックスが表示されます。

- ⑤ [OK] を押します。



「アドレス帳を一括登録しました。元の画面に戻るためにブラウザーの [戻る] を押してください。」と表示されます。

- ⑥ Webブラウザの [戻る] をクリックします。

 補足

- メールアドレスの画面に戻るには、サブメニューの [メールアドレス] をクリックします。

- ⑥ [スキャナー] の [アドレス帳自動更新] を「しない」に設定している場合は、本機を再起動して、追加・変更・削除内容や一括登録内容を本機に反映させます。

 補足

- [アドレス帳自動更新] を「する」に設定している場合は、[OK] を押した時点で本機に取り込まれます。[あて先] または [送信者] を押すと、更新されたメールのあて先が表示できます。⇒ P.47 「アドレス帳自動更新」

[PDFセキュリティ] の操作手順

- 1** メインメニューの [設定] をクリックします。

パスワード入力ダイアログボックスが表示されます。

補足

- 一度設定をクリックしてパスワードを入力すれば、2回目からはパスワード入力ダイアログボックスは表示されません。その場合は手順 [4] に進んでください。

- 2** ユーザー名に「ricoh」を入力し、パスワードを入力します。

補足

- ユーザー名は「ricoh」（半角小文字）に固定です。
- パスワードは、工場出荷時に「ricoh」に設定されています。[設定] → [パスワード] で変更可能です。

- 3** [OK] をクリックします。

設定画面が表示されます。

- 4** サブメニューの [基本設定] → [PDFセキュリティ] をクリックします。

PDFセキュリティを設定する画面が表示されます。

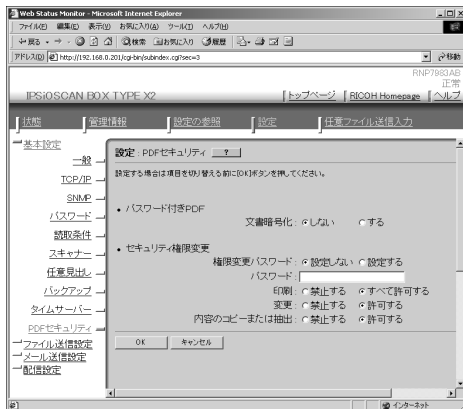
- 5** [パスワード付きPDF] の [文書暗号化] の [する] をクリックしてONにし、[セキュリティ権限変更] の各項目を設定します。

重要

- [セキュリティ権限変更] の権限変更パスワードと、PDFに設定するパスワードは違う文字列に設定してください。

補足

- 各項目の詳細については、Web Status Monitorのヘルプを参照してください。



Web Status Monitorで登録する項目

Web Status Monitorからは、[使用可能送信機能]、[タイムサーバー]、[PDFセキュリティ]、[ファイル送信パス]、[FTPサーバー]、読み取った画像の送信先となる [メールアドレス] の登録、[送信情報] の設定を行います。ここでは、メニューとサブメニューに含まれる設定項目を説明します。

各項目の詳細については、Web Status Monitorのヘルプを参照してください。

[スキャナー] の [使用可能送信機能] で登録する項目

この項目を設定すると、【初期設定】キーの [2.スキャナー送信設定] の中で [6.機能選択] を [ファイル送信/TWAIN] に設定している場合、[1.システム初期設定] の [13.使用可能送信機能] の中で、機能を制限することができます。

[すべての送信機能]、[メール送信のみ]、[SMB送信のみ(ファイル名変更可)]、[SMB送信のみ (ファイル名変更不可)]、[FTP送信のみ (ファイル名変更可)]、[FTP送信のみ (ファイル名変更不可)] から、使用できるように設定したい機能を選択してください。

[タイムサーバー] で登録する項目

タイムサーバーを利用する場合の設定を行います。[設定] → [基本設定] → [タイムサーバー] で設定できます。

 **補足**

この項目を設定した場合、本機を再起動してください。

❖ **タイムサーバー IP アドレス**

タイムサーバーのIPアドレスを設定します。「225.225.225.225」は設定できません。タイムサーバーを使用しない場合は、「000.000.000.000」に設定してください。

❖ **ポーリング間隔**

タイムサーバーへポーリングする周期を [起動時のみ] または [一定時間ごと] から選択します。[一定時間ごと] を選択した場合、ポーリング周期を15～10080の間の数字で入力してください。

 **補足**

画面サイズによっては、表示項目が改行されたり、作業画面の一部が表示しきれない場合があります。スクロールバーを使って、作業画面をスクロールさせてください。

設定中に他の設定画面に移動すると、設定中の内容は消去され、以前の設定が有効になります。

[PDFセキュリティ] で登録する項目

読み取り条件にて送信時のファイル形式をPDFに設定した場合、PDFにパスワードを付けて送信する設定を行います。

❖ パスワード付きPDF

PDFにパスワードを付けて送信するかどうかを設定します。

- 文書暗号化

❖ セキュリティ権限変更

PDFにセキュリティ設定をする場合に設定します。なお、パスワード付きPDFを [する] を設定した場合のみ、有効になります。

- 権限変更パスワード
PDFにセキュリティ設定をする場合、[する] に設定します。
- パスワード
[権限変更パスワード] を [する] に設定した場合、作成されるPDFのセキュリティパスワードを設定します。

重要

ここで設定するパスワードは、PDFに設定するパスワードとは異なります。

- 印刷
PDFの印刷を許可する権限を設定します。
- 変更
PDFの内容の変更を許可する権限を設定します。
- 内容のコピーまたは抽出
PDFの内容のコピーまたは抽出を許可する権限を設定します。

[ファイル送信パス] で登録する項目

SMBを使用してWindowsの共有フォルダーに送信する場合の、送信先のフォルダーのパスを設定します。[設定] → [ファイル送信設定] → [ファイル送信パス] → [追加] で設定できます。1000件まで送信先のフォルダーを設定することができます。

参照

詳細についてはWeb Status Monitorのヘルプを参照してください。

❖ 登録番号

共有フォルダーごとに00001～50000の整数を割り当てます。すでに登録されている番号は登録できません。

補足

空いている最小値が自動的にセットされます。自動的にセットされた番号の変更も可能です。

❖ ファイル送信パス名

Web Status Monitorで送信先を確認するときに判別しやすい名前を、半角80文字 (全角40文字) 以内で登録します。

❖ キー表示名

本機の操作部で [あて先] を指定するときに判別しやすい名前を、半角13文字 (全角6文字) 以内で登録します。新規登録時に、[ファイル送信パス名] の先頭から半角13文字分が自動的にセットされます。自動的にセットされた名称も変更できます。

❖ 所属見出し

かな、英数、任意見出しの3種の見出しについて、どこに配置するかを登録します。

- かな
あ/か/さ/た/な/は/ま/や/ら/わ
- 英数
ABC/DEF/GHI/JKL/MNO/PQRS/TUV/WXYZ
- 任意見出し
1/2/3/4/5
- 常用見出し
見出しの [常用] に配置するかどうかを設定します。[常用] は、かな見出しでは「あ」の前、英数見出しでは「ABC」の前、任意見出しの先頭に配置されます。

重要

- 常用見出しを設定する前に、[任意見出し] を先に設定し、本機を再起動する必要があります。
- [ファイル送信パス] と [任意見出し] を同時に設定することはできません。

補足

- 常用見出し内での表示順は、登録順になります。

❖ ファイル送信

- ファイル送信パス
保存するWindows共有フォルダーのパスを、「¥¥コンピューター名¥共有フォルダー名」「¥¥コンピューターのIPアドレス名¥共有フォルダー名」「¥¥コンピューターのIPアドレス名¥共有フォルダー名¥サブフォルダー名」の形式で指定します。

重要

- 共有フォルダー側のOSがWindows 2000/XPまたはWindows NT 4.0のいずれかでコンピューター名が全角の場合は、そのコンピューターのIPアドレスを使って、「¥¥ xxx.xxx.xxx.xxx¥共有フォルダー名」の形式で指定することもできます。共有フォルダーがある PC の OS が Windows 95/98/98 SE/Meの場合は、IP アドレスでの指定はできません。

補足

- コンピューター名に全角を使用することはできません。あらかじめ、登録する共有フォルダーのコンピューター名は半角で設定してください。
- ご使用のコンピューターの共有フォルダーを設定してください。共有フォルダー名は全角も使用可能です。
- ログインユーザー名
共有フォルダーにログインするためのユーザー名を、「ワークグループ名またはドメイン名¥ユーザー名」の形式で入力します。

補足

- ファイルサーバー上の共有フォルダーの場合は、そのファイルサーバーにログインできるユーザー名を入力します。
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 でアクセス権が設定された共有フォルダーの場合は、そのOSのユーザー管理で設定されたユーザー名を入力します。
- クライアント PC 上の共有フォルダーの場合は、ネットワークにログインするときのユーザー名を入力します。

- ログインパスワードとログインパスワード(確認)
[ログインユーザー名]に対応するパスワードを入力します。入力した文字は*で表示されます

 補足

- Windows 95/98/98 SE/Meで共有フォルダーにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを入力します。
- [テスト]
[ファイル送信パス]、[ログインユーザー名]、[ログインパスワード]を入力した状態で、[テスト] ボタンをクリックすると、指定した共有フォルダーに接続できるかどうかのテストができます。
- パスワード保護
あて先として該当フォルダーを選択したときに、不正アクセス防止のために本機のテンキーを使って入力するパスワード設定するかどうかを選択します。
[する]が選択されている場合、このフォルダーに送信を行う場合はパスワードの入力が必要になります。
- 保護パスワードと保護パスワード(確認)
[パスワード保護] で [する] を設定した場合、4桁以上8桁以内の数字を登録します。
入力した値は「*」で表示されます。

❖ 並び順

この項目は、「ファイル送信パス」で [変更] を設定した場合のみ表示されます。ファイル送信パスとして表示される順番は、通常、登録順となりますが、この順番を入れ替えたいときに [並び順] を「する」に指定し、「全件表示」にした場合の新しい表示順を [移動先] に入力します。

 補足

- たとえば「全件表示」時に30番目に表示されるフォルダーを、[移動先] を「5」として並び順入れ替えを行うと、全件表示時に5番目に表示され、以前5番目だったフォルダーは6番目に移動し、以前6番目だったフォルダーは7番目に移動し...と、以前29番目だったフォルダーが30番目になるまでひとつずつ移動します。

[FTPサーバー] で登録する項目

FTPサーバーに送信する場合の、送信先のフォルダーのパスを設定します。[設定] → [ファイル送信設定] → [FTPサーバー] → [追加] で設定できます。1000件まで送信先のFTPサーバーを設定することができます。

 参照

詳細についてはWeb Status Monitorのヘルプを参照してください。

❖ 登録番号

共有フォルダーごとに00001～50000の整数を割り当てます。

 補足

- 新規登録時に、空いている最小値が自動的にセットされます。自動的にセットされた値の変更をすることもできます。

❖ FTPサーバー名

Web Status Monitorで送信先を確認するときに判別しやすい名前を、半角80文字 (全角40文字)以内で登録します。

❖ キー表示名

本機の操作部で判別しやすい名前を、半角13文字(全角6文字)以内で登録します。新規登録時に、[FTPサーバー名] の先頭から半角13文字分が自動的にセットされます。自動的にセットされた値の変更をすることもできます。

❖ 所属見出し

かな、英数、任意見出しの3種の見出しについて、どこに配置するかを登録します。

- かな
あ/か/さ/た/な/は/ま/や/ら/わ
- 英数
ABC/DEF/GHI/JKL/MNO/PQRS/TUV/WXYZ
- 任意見出し
1/2/3/4/5
- 常用見出し
見出しの [常用] に配置するかどうかを設定します。[常用] は、かな見出しでは「あ」の前、英数見出しでは「ABC」の前、任意見出しの先頭に配置されます。

❗重要

- 常用見出しを設定する前に、任意見出しを先に設定し、本機を再起動する必要があります。
- [FTPサーバー] と [任意見出し] を同時に設定することはできません。

📎補足

- 常用見出し内での表示順は、登録順になります。

❖ FTPサーバー

- サーバー名 パス名
送信するFTPサーバーを「FTPサーバー名¥ディレクトリー名」の形式で、178文字以内で指定します。なお、FTPサーバーのホームディレクトリーに指定したディレクトリーがない場合は、ディレクトリーを作成し、その下に画像ファイルを送信します。

📎補足

- お使いのFTPサーバーのルートディレクトリーに作成されている共有フォルダーを設定してください。
- ポート番号21以外で接続するときは、FTPサーバー名の後に「:」を付けてポート番号(10進数)を付加してください。指定がない場合は、デフォルト値の21番で接続します。
- ログインユーザー名
FTPサーバーにログインするためのユーザー名を入力します。

📎補足

- Web Status Monitorでは20文字までとなっていますので、FTPサーバー側で20文字以内で設定してください。
- ログインパスワードとログインパスワード(確認)
[ログインユーザー名] に対応するFTPサーバーのパスワードを入力します。入力した文字は「*」で表示されます。

📎補足

- Web Status Monitorでは14文字までとなっていますので、FTPサーバー側で14文字以内で設定してください。
- [テスト]
[サーバー名/パス名]、[ログインユーザー名]、[ログインパスワード] を入力した状態で、[テスト] ボタンをクリックすると、指定したFTPサーバーに接続できるかどうかのテストができます。

- PASVモード設定

FTP送信を行うときにPASVモードを使用するかどうかを選択します。

ファイアウォールやルーターのパケットフィルタリングの設定によって、PORTモードでの接続ができない場合は、PASVモードを「あり」に設定し、制御用の21番ポートのほかにファイアウォールなどが許したデータ転送用のポートを使います。

 補足

プロキシサーバー経由でのFTPサーバーへのアクセスはできません。

- パスワード保護

あて先として該当FTPサーバーを選択したときに、不正アクセス防止のために本機のテンキーを使って入力するパスワード設定するかどうかを選択します。

[する]が選択されている場合、このフォルダーに送信を行う場合はパスワードの入力が必要になります。

- 保護パスワードと保護パスワード(確認)

[パスワード保護] で [する] を設定した場合、4桁以上8桁以内の数字を登録します。

入力した値は「*」で表示されます。

[メールアドレス] で登録する項目

メール送信する場合の、送信先のメールアドレスを設定します。[設定] → [メール送信設定] → [メールアドレス] → [追加] で設定できます。2000件まで送信先のメールアドレスを設定することができます。

❖ 登録番号

メールアドレスごとに00001～50000の5桁の整数を割り当てます。

 補足

新規登録時に、空いている最小値が自動的にセットされます。自動的にセットされた値の変更をすることもできます。

❖ 名前

Web Status Monitorであて先または送信者を確認するときに判別しやすい名前を、半角20文字(全角10文字)以内で登録します。

❖ キー表示名

本機の操作部で判別しやすい名前を、半角13文字(全角6文字)以内で登録します。新規登録時に、[名前] の先頭から半角13文字分が自動的にセットされます。自動的にセットされた値の変更をすることもできます。

❖ 所属見出し

かな、英数、任意見出しの3種の見出しについて、どこに配置するかを登録します。

- かな

あ/か/さ/た/な/は/ま/や/ら/わ

- 英数

ABC/DEF/GHI/JKL/MNO/PQRS/TUV/WXYZ

- 任意見出し

1/2/3/4/5

- 常用見出し

見出しの [常用] に配置するかどうかを設定します。[常用] は、かな見出しでは「あ」の前、英数見出しでは「ABC」の前、任意見出しの先頭に配置されます。

重要

- 常用見出しを設定する前に、任意見出しを先に設定し、本機を再起動する必要があります。
- [メールアドレス] と [任意見出し] を同時に設定することはできません。

補足

- 常用見出し内での表示順は、登録順になります。

❖ メール

- メールアドレス
@を含めて半角128文字以内で、メールアドレスを登録します。
- 送信者として使用
送信者として使用するかどうかを登録します。送信者として登録すると、メールの送信者として選択が可能になります。
- パスワード保護
あて先として該当メールアドレスを選択したときに、不正アクセス防止のために本機のテンキーを使って入力するパスワード設定するかどうかを選択します。
[する]が選択されている場合、このフォルダーに送信を行う場合はパスワードの入力が必要になります。
- 保護パスワードと保護パスワード(確認)
[パスワード保護] で [する] を設定した場合、4桁以上8桁以内の数字を登録します。
入力した値は「*」で表示されます。

[送信情報] で設定する項目

送信情報が管理されたログファイルをcsv形式で送信する場合の設定を行います。[管理情報] → [送信情報] で設定できます。

補足

- ログファイルは100件以上になった時点で、古いログから削除されます。
- 送信されるログファイルの内容は常に最新100件分です。ただし、以前に配信されたログファイルとの差分ではなく、常に最新の100件が送信されるため、ログの内容が重複する場合があります。

❖ ページ

ログデータの表示するページを数値を直接入力して指定します。

❖ 表示件数

保持されたログの1ページあたりの表示件数を指定します。指定できる表示件数は、10件、20件、50件、100件です。

❖ ファイル送信パス

保存する Windows 共有フォルダーのパスを、「¥¥ コンピューター名 ¥共有フォルダー名」「¥¥ コンピューターのIPアドレス名 ¥共有フォルダー名」「¥¥ コンピューターのIPアドレス名 ¥共有フォルダー名 ¥サブフォルダー名」の形式で指定します。

重要

- 共有フォルダー側のOSがWindows 2000/XPまたはWindows NT 4.0のいずれかでコンピューター名が全角の場合は、そのコンピューターのIPアドレスを使って、「¥¥ xxx.xxx.xxx.xxx ¥共有フォルダー名」の形式で指定することもできます。共有フォルダーがあるPCのOSがWindows 95/98/98 SE/Meの場合は、IP アドレスでの指定はできません。

 補足

- コンピューター名に全角を使用することはできません。あらかじめ、登録する共有フォルダーのコンピューター名は半角で設定してください。
- ご使用のコンピューターの共有フォルダーを設定してください。共有フォルダー名は全角も使用可能です。

❖ ログインユーザー名

共有フォルダーにログインするためのユーザー名を、「ワークグループ名またはドメイン名¥ユーザー名」の形式で入力します。

 補足

- ファイルサーバー上の共有フォルダーの場合は、そのファイルサーバーにログインできるユーザー名を入力します。
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 でアクセス権が設定された共有フォルダーの場合は、そのOSのユーザー管理で設定されたユーザー名を入力します。
- クライアント PC 上の共有フォルダーの場合は、ネットワークにログインするときのユーザー名を入力します。

❖ ログインパスワード

[ログインユーザー名] に対応するパスワードを入力します。入力した文字は*で表示されます

 補足

- Windows 95/98/98 SE/Me で共有フォルダーにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを入力します。

❖ ファイル名

送信するログファイルのファイル名を指定します。なお、送信時には、「指定したファイル名」に「年月日時分.csv」が自動的に付けられます。

• 例

ファイル名：eigyolog

ログ送信日時：2006年3月9日午後1時7分21秒

→ファイル名：

eigyolog060309130721.csv

❖ 送信ファイルについて

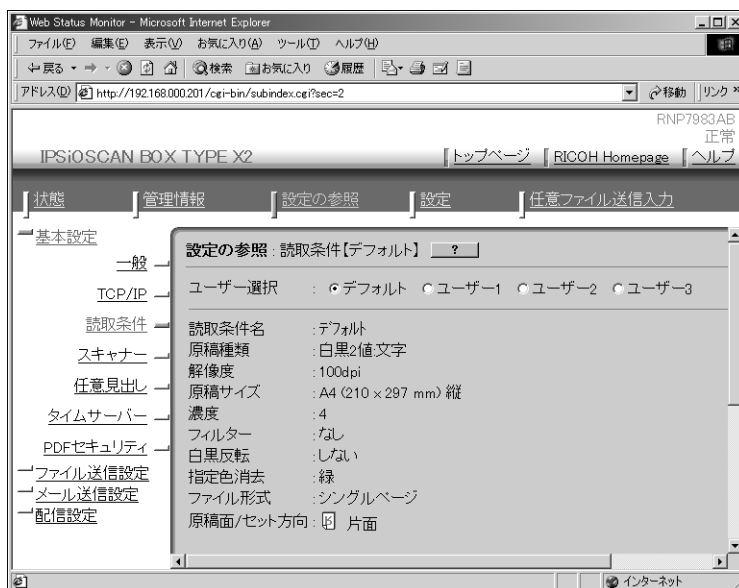
送信されるログファイルは、カンマ区切りのCSV形式となります。

CSVファイル例

1行目	"No","送信種別","日時","送信先","送信者名","文書名","原稿","結果"
2行目	"001","ファイル送信","06/03/09 13:40","営業課","TANAKA","monthlyreport01","1","完了"
3行目	"002","ファイル送信","06/03/09 13:42","総務","TANAKA","monthlyreport01","1","完了"
4行目	"003","ファイル送信","06/03/09 14:01","営業課","TANAKA","monthlyreport02","1","完了"
5行目	"004","メール送信","06/03/09 14:08","人事","TANAKA","monthlyreport01","1","完了"
6行目	"005","ファイル送信","06/03/09 14:22","営業課","TANAKA","monthlyreport03","1","完了"
.	
.	
.	
101行目	"100","ファイル送信","06/03/09 19:45","営業課","TANAKA","monthlyreport20","1","完了"

設定の確認

設定した内容は、Webブラウザ上 (Web Status Monitor) で確認できます。



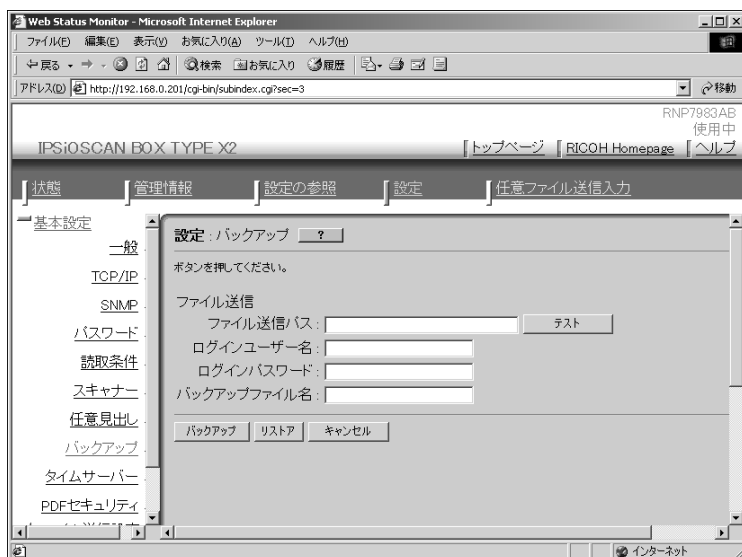
3

確認操作の手順

- 1 メインメニューの「設定の参照」をクリックします。
- 2 サブメニューから参照したい項目をクリックします。

設定のバックアップとリストア(復元)

読取条件など設定した内容を、ファイルとしてネットワーク上の共有フォルダーに保存できます。なんらかの理由により設定内容が失われた場合に、そのファイルを使って設定内容を元に戻すことができます。また、本システムが複数ある場合には、1台分のみ設定し、設定内容をほかのIPSiOSCAN BOXにコピーすることもできます。



バックアップ/リストアの対象項目

Web Status Monitorの [バックアップ] を除いた [設定] メニュー内のすべての項目が対象となります。

Web ブラウザーを使わずに、本機の操作部から設定した項目であっても、[設定] メニュー内にある項目であれば、バックアップ/リストアの対象となります。ただし、日付設定のように、Web Status Monitorの [設定] にない項目は対象となりません。

バックアップ/リストアする項目を、個別に選択することはできません。

補足

- 他のIPSiOSCAN BOXにコピーするために使う場合は、IPアドレス等のネットワーク設定もリストアされることに留意してください。

バックアップ時の操作手順

- 1** メインメニューの [設定] をクリックします。

パスワード入力ダイアログボックスが表示されます。

補足

- 一度設定をクリックしてパスワードを入力すれば、2 回目からはパスワード入力ダイアログボックスは表示されません。その場合は**4**に進んでください。

- 2** ユーザー名に「ricoh」を入力し、パスワードを入力します。

補足

- ユーザー名は「ricoh」(半角小文字)に固定です。
- パスワードは、工場出荷時に「ricoh」に設定されています。[設定] → [パスワード] で変更可能です。

3 [OK] をクリックします。

設定画面が表示されます。

4 サブメニューの [基本設定] → [バックアップ] をクリックします。

5 各項目を入力します。

❖ ファイル送信パス

バックアップファイルを保存する共有フォルダーを指定します。「¥¥コンピューター名¥共有フォルダー名」の形式で指定します。

 補足

- 共有フォルダー名は全角も使用可能ですが、コンピューター名に全角を使用すると識別できません。あらかじめ、保存先のコンピューター名は半角で設定してください。ただし、保存先コンピューターのOSがWindows 2000/XP、Windows NT 4.0のいずれかの場合は、そのコンピューターのIPアドレスを使って、「¥¥xxx.xxx.xxx.xxx¥共有フォルダー名」「¥¥xxx.xxx.xxx.xxx¥共有フォルダー名¥サブフォルダー名」の形式で指定することもできます。保存先コンピューターのOSがWindows 95/98/98 SE/Meの場合は、IPアドレスでの指定はできません。

❖ ログインユーザー名

共有フォルダーにログインするためのユーザー名を、「ワークグループ名またはドメイン名¥ユーザー名」の形式で入力します。

 補足

- ファイルサーバー上の共有フォルダーの場合は、そのファイルサーバーにログインできるユーザー名を入力します。
- クライアントPC上の共有フォルダーの場合は、ネットワークにログインするときのユーザー名を入力します。

❖ ログインパスワード

[ログインユーザー名] に対応するパスワードを入力します。入力した文字は*で表示されます。

 補足

- Windows 95/98/98 SE/Meで共有フォルダーにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを入力します。

❖ テスト

[ファイル送信パス]、[ログインユーザー名]、[ログインパスワード] を入力した状態で、[テスト] ボタンをクリックすると、設定した共有フォルダーに接続できるかどうかのテストができます。

❖ バックアップファイル名

保存するバックアップファイルのファイル名を指定します。ファイル名は半角20文字(全角10文字)以内で指定します。

6 [バックアップ] ボタンをクリックします。

 補足

- [キャンセル] をクリックすると、入力内容をクリアします。

「バックアップに成功しました」と表示されます。

7 Windowsのエクスプローラーを使って、指定した共有フォルダーに指定ファイルが作成されていることを確認します。

リストア時の操作手順

1 メインメニューの [設定] をクリックします。

パスワード入力ダイアログボックスが表示されます。

補足

- 一度設定をクリックしてパスワードを入力すれば、2回目からはパスワード入力ダイアログボックスは表示されません。その場合は4に進んでください。

2 ユーザー名に「ricoh」を入力し、パスワードを入力します。

補足

- ユーザー名は「ricoh」(半角小文字)に固定です。
- パスワードは、工場出荷時に「ricoh」に設定されています。[設定] → [パスワード] で変更可能です。

3 [OK] をクリックします。

設定画面が表示されます。

4 サブメニューの [バックアップ] をクリックします。

5 各項目を入力します。

❖ ファイル送信パス

バックアップファイルが保存されている共有フォルダーを指定します。「¥¥コンピューター名¥共有フォルダー名」の形式で指定します。

補足

- 保存元コンピューターのOSがWindows 2000/XP、Windows NT 4.0のいずれかの場合は、そのコンピューターのIPアドレスを使って、「¥¥xxx.xxx.xxx.xxx¥共有フォルダー名」「¥¥xxx.xxx.xxx.xxx¥共有フォルダー名¥サブフォルダー名」の形式で指定することもできます。保存元コンピューターのOSがWindows 95/98/98 SE/Meの場合は、IPアドレスでの指定はできません。

❖ ログインユーザー名

共有フォルダーにログインするためのユーザー名を、「ワークグループ名またはドメイン名¥ユーザー名」の形式で入力します。

補足

- ファイルサーバー上の共有フォルダーの場合は、そのファイルサーバーにログインできるユーザー名を入力します。
- クライアントPC上の共有フォルダーの場合は、ネットワークにログインするときのユーザー名を入力します。

❖ ログインパスワード

[ログインユーザー名] に対応するパスワードを入力します。入力した文字は*で表示されます。

補足

- Windows 95/98/98 SE/Meで共有フォルダーにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを入力します。

❖ テスト

[ファイル送信パス]、[ログインユーザー名]、[ログインパスワード] を入力した状態で、[テスト] ボタンをクリックすると、設定した共有フォルダーに接続できるかどうかのテストができます。

❖ バックアップファイル名

保存したバックアップファイルのファイル名を指定します。

6 [リストア] ボタンをクリックします。

補足

- [キャンセル] をクリックすると、入力内容をクリアします。

「リストアに成功しました」と表示されます。

7 本機の電源をOFF/ONします。

リストアした内容が反映されます。

ソフトウェアをインストールする

本機に接続したスキャナーをネットワークTWAINスキャナーとして利用するためには、使用するPCにネットワークスキャナードライバー (RICOHネットワークTWAIN ドライバー)をインストールする必要があります。

また、Ridoc配信機能を利用するには、配信サーバーとなるPC上にRidoc Document Router/Proをインストールします。配信された画像データを閲覧するためには、クライアントPC上にRidoc Desk Navigator Ltをインストールします。

3

CD-ROMの構成

ドライブ	ルート	サブディレクトリー-1	サブディレクトリー-2	サブディレクトリー-3	サブディレクトリー-4	説明	
CD-ROM ドライブ	Setup.exe ほか					自動起動用のインストーラーです。	
	DRIVERS	TWAIN	(スキャナー別にフォルダーがあります。)	Setup.exe ほか		各スキャナーのネットワークTWAINドライバーです。	
	UTILITY	RIDOCDSK	RDLaunch.exe ほか			Ridoc Desk Navigator Ltです。	
	NETWORK	RIDOCIO	ADMIN	DISK1	Setup.exe ほか		Ridoc I/O Adminです。
			BMPINST	DISK1	Setup.exe ほか		インストール用のBMPファイルなどです。
SETUP	main.bmp ほか					自動起動用のBMPファイルなどです。	

ネットワークTWAINドライバーをインストールする

ネットワークTWAINドライバーの動作環境

本機に接続したスキャナーをネットワークTWAINスキャナーとして利用するPCは、次の条件を満たしてください。

(「推奨」は連結スキャナーでカラー1677万色を読み取るための環境です。)

- コンピューター本体
PC/AT 互換機
- CPU
Pentium 以上 (Celeron、Pentium II、III以上推奨)
- メインメモリー
OS 最低動作メモリー+8Mバイト(128Mバイト以上推奨)
- ハードディスク空き容量
100Mバイト以上(1Gバイト以上推奨)
- ディスプレイ
800×600ドット256色以上(カラー1677万色以上推奨)
- 対象OS
Windows 95/98/98 SE/Me/2000/XP、Windows NT 4.0 (Service Pack 5 以上)、Windows Server 2003

● 制限

- TWAINドライバーがVer.3の場合、Windows Server 2003使用時、プレビュー機能は使用できません。

ネットワークTWAINドライバーのインストール手順

- 1** 「スキャナードライバー & ユーティリティー」CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

「スキャナードライバー & ユーティリティー」のメインメニュー画面が表示されます。

✎ 補足

- CD-ROMは、Windowsが起動している状態でセットします。CD-ROMをセットしたままWindowsを起動したときは、起動後にCD-ROMをセットし直してください。

インストーラーが自動的に起動しない場合

- 1** [スタート] ボタンの中の [ファイル名を指定して実行] を開きます。
- 2** [名前] に「D:¥Setup.exe」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し、[OK] をクリックします。

- 2** 接続されているスキャナー名のボタンをクリックします。

各スキャナーのインストーラーが起動しますので、画面の指示にしたがってインストールをしてください。

インストールを完了したPCでは、TWAIN対応アプリケーションソフトを使って、本機に接続したスキャナーからの読み取りが可能になります。

✎ 補足

- インストール終了後、[スタート] メニューの [プログラム] に [RICOH TWAIN for ○○] (○○にはご使用のスキャナー名が表示されます) メニューが作成され、ここからヘルプを表示できます。また、「Readme.txt」には、ネットワークTWAINスキャナーを使ううえでの注意事項などが書かれていますので、使用する前に必ずお読みください。

Ridoc Desk Navigator Ltをインストールする

Ridoc Desk Navigator Ltは、本機のRidoc配信機能で配信された画像データやその他のイメージファイル、アプリケーションソフトで作成したファイルなど、多様なデータを1つの文書として管理・印刷することができるソフトウェアです。

Ridoc Desk Navigator Ltの動作環境

Ridoc Desk Navigator LtをインストールするクライアントPCは、次の条件を満たしてください。

- コンピューター本体
PC/AT 互換機
- CPU
Pentium 133MHz以上 (Pentium 266MHz以上を推奨)
- メインメモリー
48Mバイト以上(64Mバイト以上を推奨)
- ハードディスク空き容量
50Mバイト以上、(200Mバイト以上を推奨)
- ディスプレイ
800×600ドット65,536色以上
- 対象OS
Windows 95(OSR2以上)/98/98 SE/Me/2000/XP、
Windows NT 4.0 (Service Pack 5以上)

Ridoc Desk Navigator Lt関連の説明書

補足

- PDF形式の説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerが必要です。インストールされていない場合は、Ridoc Desk Navigator Ltのセットアップ画面からAdobe Acrobat Readerをインストールできます。

❖ Ridoc Desk Navigator Ltセットアップガイド(PDF)

Ridoc Desk Navigator Ltの動作環境の詳細、インストールのしかたが記載されています。Ridoc Desk Navigator Ltのインストール時にセットアップ画面から表示します。

❖ Ridoc Desk Navigator Ltはじめてガイド(PDF)

Ridoc Desk Navigator Ltの機能概要と使いかたが記載されています。Ridoc Desk Navigator Ltをインストールすると、スタートメニューに登録されます。

❖ Ridoc Auto Documentリンクガイド(PDF)

Ridoc Desk Navigator Ltとともにインストールされる「Ridoc Auto Documentリンク」の機能と操作のしかたが記載されています。Ridoc Desk Navigator Ltをインストールすると、スタートメニューに登録されます。

Ridoc Desk Navigator Ltのインストール手順

- 1 「スキャナードライバー & ユーティリティー」 CD-ROM をご使用のコンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。

「スキャナードライバー&ユーティリティー」のメインメニュー画面が表示されます。

補足

- CD-ROMは、Windowsが起動している状態でセットします。CD-ROMをセットしたままWindowsを起動したときは、起動後にCD-ROMをセットし直してください。

インストーラーが自動的に起動しない場合

- 1 [スタート] の [ファイル名を指定して実行] を開きます。
- 2 [名前] に「D:¥Setup.exe」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し、[OK] をクリックします。

- 2 [個人文書管理ソフトRidoc Desk Navigator Lt] ボタンをクリックします。

Ridoc Desk Navigator Ltのセットアップ画面が表示されます。

3 [Ridoc Desk Navigator Lt] ボタンをクリックします。

 補足

- [セットアップガイド] ボタンをクリックすると、『セットアップガイド』(PDF形式)が表示されます。
- [Acrobat Reader] ボタンをクリックすると、Adobe Acrobat Readerがインストールされます。

Ridoc Desk Navigator Ltのインストールが始まりますので、画面の指示にしたがってインストールをしてください。

Ridoc I/O Adminをインストールする

Ridoc I/O Adminについて

「Ridoc I/O Admin」は、IPアドレスを持つネットワーク上の複数のスキャナーやプリンターを効率よく管理するためのユーティリティソフトです。必要に応じて管理者用コンピューターにインストールします。

	Ridoc I/O Admin	本機のWeb Status Monitor
管理対象	ネットワーク上の複数のスキャナーやプリンター	本機および連結スキャナー
スキャナーに関する管理項目	<ul style="list-style-type: none"> 識別名の変更*¹ IPアドレスの変更*¹ 状態の表示 	識別名やIPアドレスの変更、状態の表示のほか、多岐にわたる詳細項目の管理が可能⇒ P.31 「初期設定項目一覧」
インストール	管理者用PCにインストールする	不要

*¹ 本機の場合、Ridoc I/O Adminのイーサネットボード設定ツールは利用できません(識別名およびIPアドレスは変更できません)。他のI/O機器の識別名、IPアドレスの変更は可能です。

Ridoc I/Oのインストール手順

1 「スキャナードライバー & ユーティリティ」 CD-ROM をご使用のコンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。

「スキャナードライバー&ユーティリティ」のメインメニュー画面が表示されます。

補足

- CD-ROMは、Windowsが起動している状態でセットします。CD-ROMをセットしたままWindowsを起動したときは、起動後に CD-ROM をセットし直してください。

インストーラーが自動的に起動しない場合

- 1** [スタート] の [ファイル名を指定して実行] を開きます。
- 2** [名前] に「D:¥Setup.exe」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し、[OK] をクリックします。

2 [Ridoc I/O Admin] ボタンをクリックします。

Ridoc I/O Adminのインストールが始まりますので、画面の指示にしたがってインストールをしてください。

補足

- インストール終了後、[スタート] ボタンの [プログラム] に、[Ridoc I/O Admin] メニューが作成され、ここから各ヘルプを表示できます。また、「Readme.txt」には、各ソフトウェアを使ううえでの注意事項などが書かれていますので、使用する前に必ずお読みください。

4. スキャナーに原稿をセットする

ADFや原稿ガラスへの原稿のセットの方法や、原稿としてセットできる用紙等については、スキャナーの取扱説明書を参照してください。

スキャナー送信機能の場合

ネットワークTWAINスキャナーとして利用しているとき、および [任意ファイル送信入力] を利用しているときは、スキャナー送信機能は使えません。スキャナー送信が使用できる状態になってから、スキャナーに原稿をセットしてください。

スキャナー送信機能の待機画面が本機の操作パネルに表示されてから、連結されたスキャナーに原稿をセットしてください。

参照

⇒ P.95 「メール、ファイル送信の待機画面」を参照してください。

原稿面を指定する

工場出荷時の値では、片面原稿を上下方向に読み取る設定になっています。原稿を横方向から読み取る時や、表と裏の両面の読み取りを行う設定にする場合は、本機の操作パネルの初期設定の中の [3. 読み取り条件設定] → [デフォルトまたはユーザー 1~3] → [11.原稿面/セット方向] から変更してください。

補足

- スキャナー印刷機能を使用する場合、原稿面の指定は必要ありません。
- 連結されたスキャナーによって、選択できる項目が異なります。選択できない項目は半輝度文字で表示されます。
- 初期設定の設定を使用しない場合は、P.99「読み取り条件を指定する」を参照して設定を変更してください。

4

原稿のセット場所について

ネットワークTWAINドライバーからの読み取りを行う場合を除いて、原稿セット場所(ADFまたは原稿ガラス)を指定する必要はありません。

ADFに原稿がセットされているときはADFから、原稿ガラスに原稿がセットされているときは原稿ガラスから、原稿が読み取られます。両方にセットされている場合は、ADFにセットされた原稿を読み取ります。

原稿の向きと読取面について



スキャナー送信(メール、ファイル送信(SMB/FTP)、配信)を行う場合、メール、ファイル送信の待機画面から [読取条件] を押して、その中の [マニュアル設定] の設定で原稿の向きと読み取り面を指定することができます。手動で設定するかわりに、「デフォルト」、「ユーザー 1」、「ユーザー 2」、または「ユーザー 3」に登録された設定を使用することができます。詳細については⇒ P.99 「読み取り条件を指定する」を参照してください。

補足

- [ユーザー 1] ~ [ユーザー 3] の読取条件の名称は、任意に変更することができます。読取条件の名称の変更手順については、⇒ P.66 「読取条件の名称を変更する場合」を参照してください。

スキャナー送信機能を使用する場合

❖ 片面原稿

スキャナー送信機能で片面原稿を使用するには、[3.読み取り条件設定] → [デフォルトまたはユーザー 1~3] → [原稿面/セット方向] で、 または  と「片面」を選択します。



重要

- [原稿面/セット方向] での設定項目は、[ファイル形式] が [PDF] に設定されたときのみ有効になります。詳細についてはP.56 「ファイル形式」を参照してください。

補足

- 連結するスキャナーにより、設定が異なります。詳細については『IPSiOSCAN BOX TYPE X2: 連結スキャナー別機能差異表』を参照してください。
- [ユーザー 1] ~ [ユーザー 3] の読取条件の名称は、任意に変更することができます。読取条件の名称の変更手順については、⇒ P.66 「読取条件の名称を変更する場合」を参照してください。

❖ 両面原稿

スキャナー送信機能で両面原稿を使用するには、[3.読み取り条件設定] → [デフォルトまたはユーザー 1~3] → [原稿面/セット方向] で  または  と「両面(左右)」または「両面(上下)」を設定します。

補足

- 連結するスキャナーにより、設定が異なります。詳細については『IPSiOSCAN BOX TYPE X2: 連結スキャナー別機能差異表』を参照してください。
- [ユーザー 1] ~ [ユーザー 3] の読取条件の名称は、任意に変更することができます。読取条件の名称の変更手順については、⇒ P.66 「読取条件の名称を変更する場合」を参照してください。

5. メールで送信する

接続されたスキャナーから原稿を読み取って、メールの添付ファイルとして送信する機能の使いかたについて説明します。

メール送信の概要

メールで送信するための手順を流れ図で示します。なお下線は必須作業です。本機から行う各種指定のうち、[あて先] の [To:] の指定および、[送信者] の指定が必須項目となります。



送信されるメール内容について

送信者

- メール送信時に、本機から [送信者] の指定を行った場合は、指定されたユーザーが送信者になります。

 補足

- 送信者として本機に表示するには、Web Status Monitorの [設定] → [メール送信設定] → [メールアドレス] の [送信者として使用] を「する」にします。
- [送信者初期値] を「管理者アドレス」に設定し、メール送信時に本機から送信者の指定を行わなかったときは、登録した管理者が送信者になります。
Web Status Monitorから [送信者初期値] を設定するときは、[設定] → [メール送信設定] の中で設定します。

 補足

- [送信者初期値] を「しない」に設定した場合は、メール送信時に送信者を指定してください。

5

件名

本機の [件名] リスト表示からメールの件名を選択できます。

 補足

- 件名を指定しないとメールには件名が表示されません。(受信側のメールソフトによっては、件名として「件名なし」と表示されます。)

メール添付のファイル名とファイル形式

メール添付した送信する読み取り画像ファイルは自動的に「SDOC0001.xxx」(「xxx」は拡張子)と名前が付けられます。[ファイル形式] 設定を「シングルページ」に設定して複数ページの読み取りを実行すると、ファイル名が4桁の数字の通し番号になります。

また、「ファイル送信設定」の [ファイル名+時分付け] を「する」に設定した場合、ファイル名は「SDOC001年月日分秒.拡張子」になります。

- 例
ファイル形式：マルチTIFF
原稿種類：カラー：フルカラー
原稿枚数：2枚両面
読取実効日時：2006年3月9日午後1時7分21秒
→ファイル名：
SDOC001060309130721.PDF

 補足

- 送信時の読み取り画像のファイル形式は、[3.読み取り条件設定] 内の [ファイル形式] で設定したファイル形式となります。詳細についてはP.56 「ファイル形式」を参照してください。

メールの本文

メールには、次のような情報が自動的に生成され、本文として送信されます。

補足

- 本文は自動的に生成されます。変更はできません。

❖ 冒頭文

次の文をメールの本文として、本体の最初の行に書き込まれます。
「このメールは、『識別名』(機器モデル名)から送信されたものです。」

補足

- 「識別名」には [識別名] で設定した文字が入ります。([設定] → [基本設定] → [一般] → [識別名] で、識別名を設定します。
- モデル名には、本機のプロダクトID が自動的に挿入されます。

❖ 読み取り日時

日時・時刻情報は次の形式でメールの2行目に挿入されます。

「日時・時刻(年号・月・日付・時・分・秒)」

補足

- 初期設定画面内 [1.システム初期設定] の [日付設定] で日時を設定できます。
- 「+0900」は、GMT(グリニッジ標準時)からの差異時間を示します。Web Status monitor の [設定] → [基本設定] → [スキャナー] → [タイムゾーン] で設定できます。

❖ 問い合わせ先

[送信者初期値] (Web Status monitor の [設定] → [メール送信設定] が「管理者メールアドレス」に設定されている場合、登録した管理者のメールアドレスは連絡情報としてメール本体の3行目に書き込まれます。

[送信者初期値] を「なし」に設定した場合や、管理者アドレスを登録しない場合は、問い合わせ先は省略されます。

メール送信を行う前に

参照

原稿のセット場所と原稿面の指定については、P.87「スキャナーに原稿をセットする」を参照してください。

メール、ファイル送信の待機画面

スキャナー送信操作を行う前に、本機の操作画面にメール/ファイル送信待機画面が表示されていることを確認します。

[6.機能選択] (初期設定画面の [2.スキャナー送信設定] 内)で「ファイル送信/TWAIN 優先設定」が選択されているとき、メール/ファイル送信待機画面は初期画面として表示されます。[6.機能選択] で「Ridoc配信/TWAIN」が選択されているときは、配信サーバー待機画面が表示されます。

- 本機のディスプレイ画面の1行目に「読み取りできます」、コピー枚数が表示されているときは、スキャナー印刷の待機中です。

○読み取りできます	[メール] [全表示]
■ [1/1] 001 営業課	(◀前、▶次)
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:A4	
読取条件	メール送信 ファイル送信

- 「PCとネットワークで接続されています」メッセージが本機の画面に表示されると、本機に接続されているスキャナーはクライアントPCから使用中で、読み取り動作中です。作業が終了するまで待ってください。

接続中です
PCとネットワークで接続されています

- 「原稿をセットして、PCから読取条件をセットしてください」メッセージが本機の画面に表示されているときは、本機に接続されているスキャナーはネットワークTWAIN スキャナーの待機画面です。[接続解除] を押します。

○読み取りできます
原稿をセットして、PCから読取条件を セットしてください
接続解除

- [接続解除] が表示されない場合、ネットワークTWAIN 専用画面が本機の画面に表示されています。[6.機能選択] (初期設定画面の [2.スキャナー送信設定] 内)を「送信/TWAIN 優先設定」に設定し、本機を再起動してください。

○読み取りできます
原稿をセットして、PCから読取条件を セットしてください

- ファイル送信パス名が本機のディスプレイ画面の2行目に表示されている場合 [任意ファイル送信入力] の待機画面が表示されています。この場合は、[戻る] を押してください。

○読み取りできます	[SMB]
■ [1/1] 001//PCName/FolderName	
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:8x11	
戻る	

あて先と件名を指定する

あて先の指定をします。登録してある中から、100件までに同時に送ることができます。[Cc:]で送る相手先と、送信メールの件名もここで指定できます。

To:を指定する

1 [メール送信] を押します。

宛先を指定して下さい	[全表示]
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:A4	
読取条件	メール送信
	ファイル送信

補足

- 初期設定画面の中の [2. スキャナー送信設定] で、[7. アドレス帳自動更新] が「する」に設定されている場合、[メール送信] を押すとあて先が自動的に更新されます。詳細については⇒P.47「アドレス帳自動更新」を参照してください。
- [To:] または [Cc:] が設定されている場合、あて先の検索が有効になります。

2 [To:] が反転表示されている間に、[一覧] または [./*] (見出し)キーを押します。

選択してください	[全表示]		
メール送信	<input checked="" type="checkbox"/> To:	<input type="checkbox"/> Cc:	<input type="checkbox"/> 送信者
	<input type="checkbox"/> 件名		
		[一覧]	[確定]

補足

- [To:] にチェックがついた状態で表示された場合、すでに設定されているあて先があります。あて先から外したい場合は、あて先を反転させた状態で[選択解除]を押します。
- メール/ファイル送信で同時に送信できるあて先の数は100件です。
- メールを使用する場合は、最低でも1件の [To:] あて先を指定してください。

アドレス帳に登録されたあて先から選ぶ

1 [To:] が反転表示されている状態で、[一覧] を押します。

選択してください	[全表示]		
メール送信	<input checked="" type="checkbox"/> To:	<input type="checkbox"/> Cc:	<input type="checkbox"/> 送信者
	<input type="checkbox"/> 件名		
		[一覧]	[確定]

2 選択したいあて先が反転表示されている間に [選択] を押します。

選択されたあて先にチェックが表示されます。

あて先	001/002	◀▶で指定し選択
<input checked="" type="checkbox"/>	00001 広報部・総務部	<input type="checkbox"/> 00002 企画部・鈴木
<input type="checkbox"/>	00003 技術部・工藤	<input type="checkbox"/> 00004 業務部・池田
↑前ページ	↓次ページ	[選択] [終了]

補足

- 複数のあて先を選択する場合、【Ⓢ】 または 【Ⓡ】 キーで選択したいあて先を反転させ、[選択] を押します。
- 選択したあて先から外したい場合は、すでに設定されているあて先を反転表示させた状態で [選択解除] を押します。あて先から外れると、チェックマークが消えます。

3 [終了] を押します。

見出しを使ってあて先を検索する

① 【/＊】（見出し）キーを押します。

見出しが表示されます。

 補足

- 見出しは、Web Status Monitorの[設定] → [基本設定] → [スキャナー] → [見出し選択]で設定された順番で表示されます。

② 【⓪】または【Ⓛ】キーで選択したい見出しを選択し、[設定]を押します。

選択してください	
全表示 常用	かきたなはまやらわ
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="取消"/>	

該当の見出しに含まれるあて先が表示されます。

 補足

- 各あて先の所属する見出しの設定は、Web Status Monitorの[設定] → [メール送信設定] → [メールアドレス] → [所属見出し]で設定します。

③ [一覧]を押します。

選択してください		[あ]
メール送信	<input type="checkbox"/> To:	<input type="checkbox"/> Cc:
	<input type="checkbox"/> 送信者	
	<input type="checkbox"/> 件名	
<input type="button" value="一覧"/> <input type="button" value="確定"/>		

④ 選択したいあて先を反転表示させ、[選択]を押します。

あて先	ベジ:001/001	 で指定し選択
	00005経理部・香木	
<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="選択"/> <input type="button" value="終了"/>		

 補足

- あて先から外したい場合は、あて先を選択して反転表示させ、[選択解除]を押します。
- 他の見出しからあて先を選択したい場合は、【/＊】（見出し）キーを押し、再度選択してください。

⑤ [終了]を押します。

見出しをすべて表示させる

① 【/＊】（見出し）キーを押します。

見出しが表示されます。

② 【⓪】または【Ⓛ】キーを使用して、[全表示]を反転表示させ、[設定]を押します。

選択してください	
全表示	常用 あかきたなはまやらわ
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="取消"/>	

③ あて先を選択します。

④ [一覧]を押します。

選択してください		[全表示]
メール送信	<input type="checkbox"/> To:	<input type="checkbox"/> Cc:
	<input type="checkbox"/> 送信者	
	<input type="checkbox"/> 件名	
<input type="button" value="一覧"/> <input type="button" value="確定"/>		

③ あて先を選択し終わったら、[終了]を押します。

②の画面に戻ります。

 補足

- [Cc:]で指定したいあて先や、件名を指定しない場合は、[確定]を押してください。メール/ファイル送信待機画面が表示され、一番初めに指定したあて先が画面の2行目に表示されます。複数のあて先を指定した場合は、【⓪】【Ⓛ】キーを使用して確認することができます。

Cc:を指定する

直接の送り先ではないが、メールでやりとりしていることやそのメールの内容を知らせておきたい相手がいる場合は、[Cc:] に指定します。同時に指定できる送り先は、[To:] と [Cc:] を合わせて100件以内となります。

- 1 【⓪】 または 【Ⓛ】 を使用して、[Cc:] を反転表示させ、[一覧] を押します。

本機に登録されたあて先が表示されます。

- 2 P.96 「To:を指定する」の2の3にしたがって [Cc:] を指定してください。

- 3 [Cc:] の指定が完了したら、[終了] を押します。

1の画面が表示されます。

補足

- 件名を指定する必要がない場合、[確定] を押します。メール/ファイル送信待機画面が表示されます。
- 一番初めに指定したあて先が画面の2行目に表示されます。複数のあて先を指定した場合は、【⓪】 【Ⓛ】 キーを使用して確認することができます。
- メール/ファイル送信待機画面では、[Cc:] で指定したあて先の確認をすることはできません。

件名を指定する

- 1 【⓪】 または 【Ⓛ】 キーを使用して [件名] を反転表示させます。

- 2 [一覧] を押します。

本機に登録された件名が表示されます。

- 3 [↓次ページ] または [↑前ページ] を使用して選択したい件名を表示させます。

- 4 【⓪】 または 【Ⓛ】 を使用して選択したい件名を反転表示させ、[選択] を押します。

選択した件名にチェックが表示されます。

補足

- 別の件名を選択すると、前に選択された件名は解除されます。(チェックが消えます。)
- チェックが入った件名を反転表示中に [選択解除] を押すと、チェックが消えます。(選択が解除されます。)

読み取り条件を指定する

次の手順では、連結されたスキャナーで読み取り条件を設定する方法を説明します。ここでの設定を行わなかった場合、初期設定画面内 [3.読み取り条件設定] の [デフォルト] の設定でスキャナー送信が行われます。

- 1 メールの「読み取りできます」が表示された状態で、[読取条件] を押します。

○読み取りできます		[戻る] [全表示]
■ [1/1] 001 営業課	(◀前) (▶次)	
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:A4		
[読取条件]	[メール送信]	[ファイル送信]

読取条件画面が表示されます。

- 2 個別で読み取り条件を設定するか、登録済の読み取り条件を指定するかを選択します。

読取条件	◀▶で選択して、確定キー		
マニユアル設定	ユーザ-1	ユーザ-2	ユーザ-3
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:8%1			
[設定変更]	[一覧表示]	[確定]	[取消]

参照

登録された読み取り条件設定を確認することができます。⇒ P.100「読み取り設定を確認する」を参照してください。

補足

- [デフォルト] で登録された設定で読み取りを行う場合は、[確定] または [取消] を押します。
- [ユーザー 1] ～ [ユーザー 3] に登録された内容の一部を直接変更することはできません。一部のみを変更して読み取りたいときは、一度、元になる条件を [ユーザー 1] ～ [ユーザー 3] の中から選択し、[確定] を押し、取り込みます。その後、変更したい項目のみを [マニユアル設定] で変更します。
- [ユーザー 1] ～ [ユーザー 3] の読取条件の名称は、任意に変更することができます。読取条件の名称の変更手順については、⇒ P.66「読取条件の名称を変更する場合」を参照してください。

登録済の読み取り条件を使用する場合

- 1 【⓪】 または 【㊦】 キーで、[ユーザー 1]、[ユーザー 2]、[ユーザー 3] のいずれかを反転状態にし、[確定] を押します。

メール/ファイル送信待機画面に戻り、指定した読み取り条件が 3 行目に表示されます。

個別に指定する場合

- 1 【⓪】 または 【㊦】 キーで、[マニユアル設定] を反転状態にし、[設定変更] を押します。

読取条件設定画面のはじめのページ (読取条件設定 1/3) が表示されます。

- 2 [↓次ページ] や [↑前ページ] を使用して設定したい項目を表示させ、【⓪】 または 【㊦】 キーを使用して設定したい項目を反転表示させた状態で [設定] を押します。

読取条件設定 1/3	◀▶で選択して、設定		
原稿種類	解像度		
原稿サイズ	濃度		
[↑前ページ]	[↓次ページ]	[設定]	[前メニュー]

参照

設定項目の詳細については⇒ P.54「[読み取り条件設定] で登録する項目」を参照してください。

補足

- ここでは、例として [解像度] が選択されています。
- 3 【⓪】 または 【㊦】 キーを使用して指定したい内容を反転表示させて、[確定] を押します。

解像度	◀▶で選択して、確定キー			
100dpi	200dpi	300dpi	400dpi	600dpi
任意解像度				
				[確定]
				[取消]

補足

- [取消] を押すと選択が解除され、前画面に戻ります。
- [解像度] で「任意解像度」を選択したときと、[原稿サイズ] で「任意エリア設定」を選択したときは、テンキーを使って数値を入力します。

④ 必要に応じて、②と③の手順を繰り返します。

⑤ 各項目の設定が終わったら、[前メニュー] を押します。

読取条件画面に戻ります。

⑥ [確定] を押します。

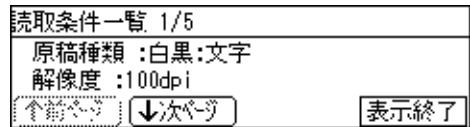
メール/ファイル送信待機画面が表示され、設定された読み取り条件が3行目に表示されます。

② [Ⓧ] または [Ⓨ] を使用して [マニュアル設定]、[ユーザー1]、[ユーザー2] または [ユーザー3] を反転表示させ、[一覧表示] を押します。



読取条件一覧画面が表示されます。

③ [↓次ページ] または [↑前ページ] を使用して、確認したい設定項目を表示させます。



④ 確認が終了したら、[表示終了] を押します。

⑤ [取消] または [確定] を押します。

補足

- 手順②で選択した読み取り設定を使用する場合、[確定] を押します。変更しないで確認画面を終了したい場合は、[取消] を押してください。

メール/ファイル送信待機画面が表示されます。

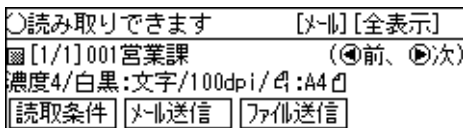
読み取り設定を確認する

[デフォルト]、[ユーザー1]、[ユーザー2]、[ユーザー3] に登録した読み取り設定、または現在の読み取り設定を確認できます。

補足

- 次の②で [マニュアル設定] を選択すると【初期設定】キーで設定した内容が確認できます。
- [ユーザー1]～[ユーザー3] の読取条件の名称は、任意に変更することができます。読取条件の名称の変更手順については、⇒ P.66 「読取条件の名称を変更する場合」を参照してください。

① [読取条件] を押します。



読み取り条件設定画面が表示されます。

送信者を指定する

本機の [送信者] を使用して、メールの送信者を指定することができます。[送信者] で表示されるユーザーは、Web Status Monitorの [設定] → [メール送信設定] → [メールアドレス] の [送信者として使用] を「する」にして指定します。

- 1 メール「読み取りできません」が表示された状態で、[メール送信] を押し、[送信者] を [F5] や [F6] キーを使用して反転表示させ、[一覧] を押します。

選択してください		[F5] [全表示]
メール送信	<input checked="" type="checkbox"/> To:	<input checked="" type="checkbox"/> 送信者
	<input checked="" type="checkbox"/> Cc:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 件名	
		[一覧] [確定]

本機に送信者として登録されたユーザーが表示されます。

- 2 [次ページ] または [前ページ] を使用して送信者に指定したいユーザーを表示させ、[F5] や [F6] キーを使用して送信者に指定したいユーザーを反転表示させた状態で、[選択] を押します。

送信者 ページ:001/002		[F5] [F6] で指定し選択
<input checked="" type="checkbox"/> 00001 広報・岡部	<input type="checkbox"/> 00002 企画部・鈴木	
<input type="checkbox"/> 00003 技術部・工藤	<input type="checkbox"/> 00004 業務部・池田	
[前ページ]	[次ページ]	[選択] [終了]

送信者に指定されたユーザーにチェックが表示されます。

補足

- 別のユーザーを選択すると、前に選択されたユーザーは解除されます。(チェックが消えます。)
- チェックが付いたユーザーを反転表示中に [選択解除] を押すと、チェックが消えます。(選択が解除されます。)
- Web Status Monitorの [設定] → [メール送信設定] → [メールアドレス] で [パスワード保護] が「する」に設定されたユーザーを送信者に指定すると、パスワード入力を求める画面が表示されます。テンキーを使用して、パスワードを入力してください。
- 見出しを使って送信者を検索することもできます。⇒ P.106「見出しを使ってあて先を検索する」を参照してください。

- 3 [終了] を押します。

送信者 ページ:001/003		[F5] [F6] で指定し選択
<input checked="" type="checkbox"/> 00001 広報・岡部	<input type="checkbox"/> 00002 企画部・鈴木	
<input type="checkbox"/> 00003 技術部・工藤	<input type="checkbox"/> 00004 業務部・池田	
[前ページ]	[次ページ]	[選択解除] [終了]

メール/ファイル送信待機画面が表示されま

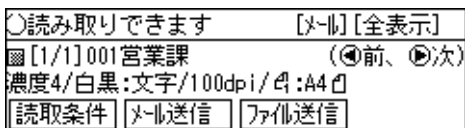
す。

送信する

読み取りを開始する

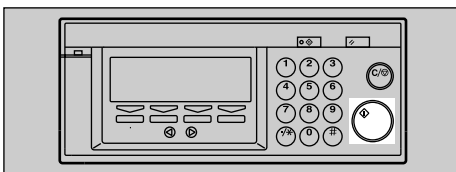
ADFに原稿をセットしたとき

- 1** メール「読み取りできます」が表示されていることを確認します。



「宛先を指定して下さい」が表示されている場合は、あて先が指定されていません。あて先を指定して、「読み取りできます」を表示させます。

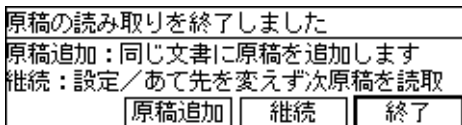
- 2** 本機の【スタート】キーを押します。



ADFにセットした原稿の読み取りが開始されます。

補足


- 読み取りを中止したいときには本機の【クリア/ストップ】キーを押します。
- [2.スキャナー送信設定]の[10.読取終了後の動作]が「選択画面を表示する」に指定されているときは、その後の動作を選択する画面が表示されますので選択してください。

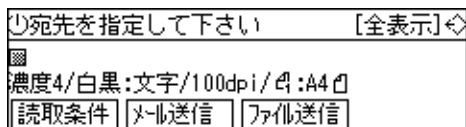


- 原稿を追加して送信する場合は[原稿追加]を押してください。なお追加原稿はADFにセットしてください。



- 読み取りを終了して送信する一方、あて名や読取条件等の指定を残す場合は、[継続]を押してください。
- 読み取りを終了して送信する場合は[終了]を押してください。送信が完了した後に、電源ON時の待機画面が表示されます。
- 設定された時間内に選択しない場合は[終了]を押した場合と同じ動作を行います。


- [2.スキャナー送信設定]の[ファイル形式]でPDFを指定し、パスワード付きPDFの文書暗号化を[する]に設定した場合、パスワード入力画面が表示されます。パスワード入力画面が表示された場合の手順については、P.104「パスワード入力画面が表示されたとき」を参照してください。

読み取りが正常に終了すると、電子メール送信サーバー(SMTPサーバー)への送信が開始されます。送信中は、マークが画面右上に表示されます。



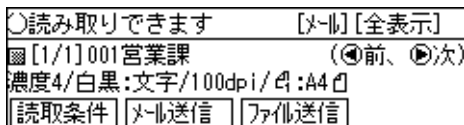
補足

- マークが表示されている間は、本機および連結スキャナーの使用はできません。
- マークが表示されている間は、本機の電源をOFFにしないでください。

電子メール送信サーバー(SMTPサーバー)への送信が終了すると、マークが消え、メール/ファイル送信の待機画面になります。

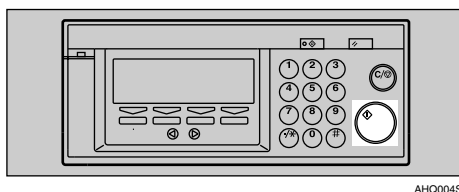
原稿ガラスに原稿をセットしたとき

- 1** メールの「読み取りできます」が表示されていることを確認します。



「宛先を指定して下さい」が表示されている場合は、あて先が指定されていません。あて先を指定して、「読み取りできます」を表示させます。

- 2** 本機の【スタート】キーを押します。



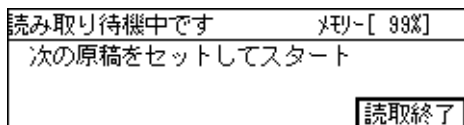
スキャナーの原稿ガラスにセットした原稿の読み取りが開始されます。

補足

- 読み取りを中止したいときには本機の【クリア/ストップ】キーを押します。
- [2.スキャナー送信設定] の [ファイル形式] でPDFを指定し、パスワード付きPDFの文書暗号化を [する] に設定した場合、パスワード入力画面が表示されます。パスワード入力画面が表示された場合の手順については、P.104 「パスワード入力画面が表示されたとき」を参照してください。

1枚目の原稿の読み取りが正常に終了すると、「読み取り待機中です」の画面が表示されます。

- 3** 続けて原稿を読み取るときには、原稿ガラスに次の原稿をセットし、本機の【スタート】キーを押します。

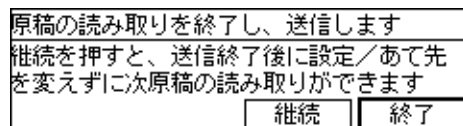


- 4** 必要なだけ、**3**を繰り返します。

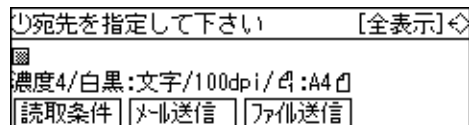
- 5** 読み取りを終了するときは、【読取終了】を押します。

補足

- [2.スキャナー送信設定] の [10.読取終了後の動作] が「選択画面を表示する」に指定されているときは、その後の動作を選択する画面が表示されますので選択してください。



読み取りが正常に終了すると、電子メール送信サーバー (SMTPサーバー) への送信が開始されます。送信中は、◀マークが画面右上に表示されます。



補足

- ◀マークが表示されている間は、本機および連結スキャナーの使用はできません。
- ◀マークが表示されている間は、本機の電源をOFFにしないでください。

電子メール送信サーバー (SMTPサーバー) への送信が終了すると、◀マークが消え、メール/ファイル送信の待機画面になります。

パスワード入力画面が表示されたとき

【スタート】キーを押した際、パスワード入力画面が表示されたときは、以下の手順でパスワードを入力し、読み取りを行ってください。

- 1 「PDFパスワード入力」画面でパスワードを入力し、【設定】を押します。

補足

- 【取消】を押すと、メール/ファイル送信待機画面に戻ります。

- 2 確認のために、再度「PDFパスワード入力」画面が表示されるので、手順1で入力したパスワードと同じ文字列を入力し、【設定】を押します。

補足

- 【取消】を押すと、メール/ファイル送信待機画面に戻ります。
- パスワードが一致しないときは、「パスワードが一致していません。もう一度入力してください。」というメッセージが表示されます。手順1に戻って、パスワードの入力を再度行ってください。
- 「パスワードが不正です」というメッセージが表示された場合、不適切なパスワードを入力している可能性があります。手順1に戻り、入力した文字列と別のパスワードを入力してください。

原稿の読み取りが開始されます。

送信の確認をする

クライアントPCのWebブラウザを使って、送信状態の確認ができます。

- 1 Web ブラウザーを起動して、【アドレス】欄に本機のIPアドレスを入力します。

参照

⇒ P.63 「IPSiOSCAN BOXへのアクセス手順」

補足

- 本機のIPアドレスは、本機の【初期設定】キーを押して [1. システム初期設定] の [1.IPアドレス] で確認できます。

Web Status Monitorのトップ画面が表示されます。

- 2 メインメニューの【管理情報】をクリックします。

- 3 サブメニューの【送信情報】をクリックします。

- 4 送信種別や日時、送信先、文書名等から、該当のメールを探し、【結果】欄を確認します。

補足

- 【送信情報】には、送信結果が100件まで表示されます。スキャナー送信機能を使用するたびにリストが更新されます。
- 送信結果は、本機の電源をOFFにするとクリアされます。
- 【結果】欄には、「待機中」、「配信中」、「完了」、「不達」のいずれかが表示されます。
- なんらかの理由で送信ができなかった場合は、【結果】欄に「不達」と表示されます。
- 【送信種別】欄には、データ時の送信方法が【メール】、【ファイル送信】、【FTP送信】、【配信】、【スキャナー印刷】で表示されます。
- 【原稿】欄には、送信した原稿枚数が表示されます。

6. 共有フォルダーにファイル送信する

Windowsの共有フォルダに読み取った画像ファイルを送信する方法を説明します。ここでは、次の2通りの方法を別々にして説明しています。

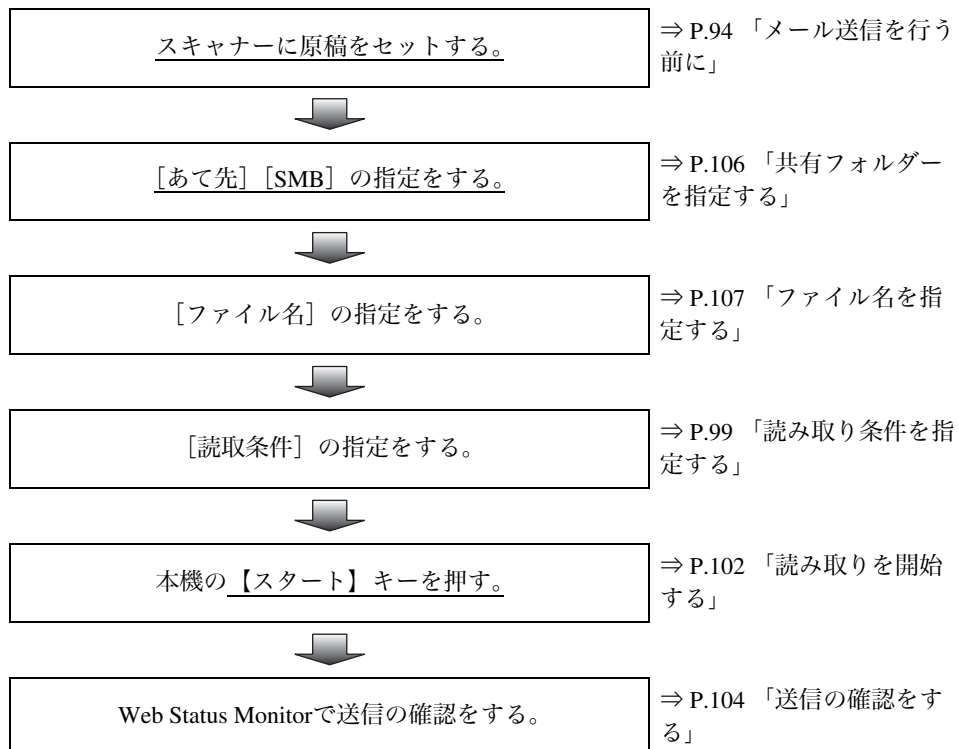
- 本機に登録された共有フォルダーに読み取った画像データを送信する手順。
- 本機に登録されていない共有フォルダーに読み取った画像データを送信する手順。この機能を「任意ファイル送信入力」といいます。

登録済みの共有フォルダーへファイル送信する

Web Status Monitorで登録したWindows共有フォルダーへ、本機の操作部からファイル送信します。

ファイル送信(SMB)の手順の概要

本機の操作部を使って、登録済みのWindows共有フォルダーにファイル送信する手順の流れを示します。なお、下線は必須作業です。本機から行う各種指定のうち、[あて先] の [SMB] の指定のみが必須となります。



共有フォルダーを指定する

あて先として、登録してあるWindows共有フォルダーの中から1件のみ選択できます。

1 [ファイル送信] を押します。

宛先を指定して下さい	[全表示]
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:A4	
読取条件	メール送信
ファイル送信	

2 [⓪] または [⓫] を押して [SMB] を反転表示させ、[一覧] を押します。

選択してください	[全表示]
ファイル送信 <input checked="" type="checkbox"/> SMB	<input type="checkbox"/> FTP
	<input type="checkbox"/> ファイル名
一覧 確定	

登録されている共有フォルダー名が表示されます。

3 [↓次ページ] や [↑前ページ] を押して、送信したい共有フォルダー名を表示させます。

SMB ヲ:001/002	⓪⓫で指定し選択
<input checked="" type="checkbox"/> 00001岡部	<input type="checkbox"/> 00002鈴木
<input type="checkbox"/> 00003工藤	<input type="checkbox"/> 00004池田
↑前ページ	↓次ページ
選択	終了

4 [⓪] や [⓫] を押して、送信したい共有フォルダー名を反転表示させ、[選択] を押します。

選択したフォルダーにチェックが表示されます。

補足

- 別のフォルダーを選択すると、前に選択したフォルダーは解除されます。

見出しを使ってあて先を検索する

1 [/*] (見出し)キーを押します。

見出しが表示されます。

補足

- Web Status Monitorの [設定] → [基本設定] → [スキャナー] → [見出し選択] で設定した見出しが表示されます。

2 [⓪] または [⓫] キーを使って該当する共有フォルダーの所属する見出しを反転状態にし、[設定] を押します。

選択してください	[SMB]
全表示 常用	あかしたなはまやら
わ	
設定 取消	

選択した見出しに所属する共有フォルダーが表示されます。

補足

- 共有フォルダーの所属する見出しは、Web Status Monitorの [設定] → [ファイル送信設定] → [ファイル送信パス] → [所属見出し] で設定します。

3 選択したい共有フォルダーを表示させ、[選択] を押します。

SMB ヲ:001/002	⓪⓫で指定し選択
<input type="checkbox"/> 00001岡部	<input type="checkbox"/> 00002鈴木
<input checked="" type="checkbox"/> 00003工藤	<input type="checkbox"/> 00004池田
↑前ページ	↓次ページ
選択	終了

選択したフォルダーにチェックが表示されます。

見出しを「全表示」にする

1 [/*] (見出し)キーを押します。

見出しが表示されます。

2 [⓪] または [⓫] キーを使用して [全表示] を反転表示させ、[設定] を押します。

選択してください	[SMB]
全表示 常用	あかしたなはまやら
わ	
設定 取消	

5 [終了] を押します。

[保護パスワード] が設定されている場合は「アドレス保護コードを入力してください」が表示されます。

- 6** 本機のテンキーを使って、パスワードを入力します。

パスワード保護コードを入力してください	
****	確認 戻る

補足

- Web Status Monitorの [設定] → [ファイル送信設定] → [ファイル送信パス] → [保護パスワード] で設定した4～8桁の数字を入力します。

- 7** [確認] を押します。

パスワード保護コードを入力してください	
****	確認 戻る

手順**2**の画面に戻ります。

補足

- 続いて、ファイル名の指定をしない場合は、[確定] を押します。「読み取りできます」画面が表示され、2行目に指定したフォルダー名が表示されています。

ファイル名を指定する

登録してあるファイル名の中から1件のみ指定できます。ファイル名の指定を省略したときは、「DOC」を指定したことになります。ファイル名を指定しない場合は、本手順は不要です。

- 1** メール/ファイル送信待機画面で、[ファイル送信] を押します。

宛先を指定して下さい	[全表示]
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:A4	
読取条件	メール送信 文件送信

補足

- メール/ファイル送信待機画面が表示されている場合、本手順は不要です。手順**2**に進んでください。

- 2** [⓪] または [Ⓜ] キーを使用して [ファイル名] を反転表示させ [一覧] を押します。

選択してください	[全表示]
文件送信 <input type="checkbox"/> SMB	<input type="checkbox"/> FTP <input type="checkbox"/> 文件名
一覧 確定	

本機に登録されたファイル名が表示されます。

- 3** [↓次ページ] または [↑前ページ] を押して選択したいファイル名を表示させます。

ファイル名 ページ:01/02	⓪Ⓜで指定し選択
<input checked="" type="checkbox"/> サンプル	<input type="checkbox"/> 設計図
↑前ページ ↓次ページ	選択 終了

- 4** [⓪] または [Ⓜ] キーを使用して選択したいファイル名を反転表示させ、[選択] を押します。

選択したファイル名にチェックが表示されます。

補足

- 別のファイル名を選択すると、前に選択されたファイル名は解除されます。(チェックが消えます。)
- チェックが入ったファイル名を反転表示中に [選択解除] を押すと、チェックが消えます。

- 5** [終了] を押します。

手順**2**の画面に戻ります。

- 6** [確定] を押します。

選択してください	[SMB] [全表示]
文件送信 <input type="checkbox"/> SMB	<input type="checkbox"/> FTP <input checked="" type="checkbox"/> 文件名
一覧 確定	

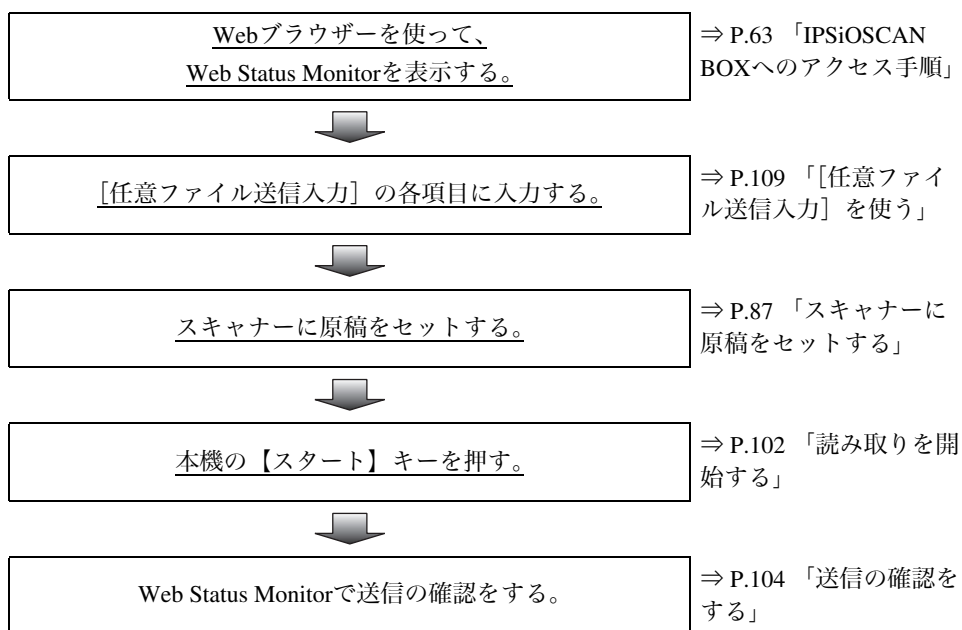
メール/ファイル送信待機画面に戻ります。

任意の共有フォルダーにファイルを送信する

Web Status Monitorの[任意ファイル送信入力]機能を使用すると、アクセス権が設定された、本機に登録していないWindowsの共有フォルダーに読み取った画像データを送ることができます。

任意ファイル送信の手順の概要

Web Status Monitorを使って、Windows共有フォルダーに読み取った画像データを送信する手順の流れを示します。なお、下線は必須作業です。



[任意ファイル送信入力] を使う

Web ブラウザーを使って、同一ネットワーク上の任意の Windows 共有フォルダーに、任意の読取条件でファイル送信ができます。

- 1 Web ブラウザーを起動して、[アドレス] 欄に本機の IP アドレスを入力します。⇒ P.62 「IPSiOSCAN BOXにアクセスする」

補足

- 本機のIPアドレスは、【初期設定】キーを押すと表示される [1.システム初期設定] の [1.IP アドレス] から確認できます。

Web Status Monitor画面になります。

- 2 メインメニューの [任意ファイル送信入力] をクリックします。

任意ファイル送信入力画面になります。

- 3 [原稿種類] から [ファイル形式] までの読取条件を指定します。

参照

指定する項目の詳細については⇒ P.54 「[読み取り条件設定] で登録する項目」を参照してください。

補足

- 指定できる項目は連結スキャナーにより異なります。設定できない項目は表示されません。

- 4 [原稿面/セット方向] を指定します。

参照

指定する項目の詳細については⇒ P.88 「原稿面を指定する」を参照してください。

- 5 [ファイル送信] の各項目を指定をします。

❖ ファイル送信パス

送信するフォルダーを「¥¥コンピュータ名¥共有フォルダー名」「¥¥コンピュータ名¥共有フォルダー名¥サブフォルダー名」の形式で指定します。

補足

- コンピューター名に全角を使用すると識別できません。あらかじめ、送信先のコンピューター名は半角で設定してください。なお、送信先のOSが Windows 2000/XP、Windows NT 4.0のいずれかでコンピューター名が全角の場合は、そのコンピューターのIPアドレスを使って、「¥¥xxx.xxx.xxx.xxx¥共有フォルダー名」の形式で指定することもできます。送信先のOSが Windows 95/98/98 SE/Meの場合は、IPアドレスでの指定はできません。
- 現在、任意ファイル送信入力の指定に使っているPC内のフォルダーに送信したい場合も、あらかじめそのフォルダーを書き込み可能な共有フォルダーに設定しておく必要があります。また、[ファイル送信パス] のコンピューター名(またはIPアドレス)は省略できません。

❖ ログインユーザー名

共有フォルダーにログインするためのユーザー名を、「ワークグループ名またはドメイン名¥ユーザー名」の形式で入力します。

補足

- ファイルサーバー上の共有フォルダーの場合は、そのファイルサーバーにログインできるユーザー名を入力します。
- Windows 2000/XP、Windows NT 4.0でアクセス権が設定された共有フォルダーの場合は、そのOSのユーザー管理で設定されたユーザー名を入力します。
- クライアントPC上の共有フォルダーの場合は、ネットワークにログインするときのユーザー名を入力します。

❖ ログインパスワード

[ログインユーザー名] に対応するパスワードを入力します。入力した文字は*で表示されます。

✎ 補足

- Windows 95/98/98 SE/Meで共有フォルダーにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを入力します。

❖ テスト

[ファイル送信パス]、[ログインユーザー名]、[ログインパスワード] を入力した状態で、[テスト] ボタンをクリックすると、指定した共有フォルダーに接続できるかどうかのテストができます。

❖ ファイル名

送信する画像ファイルのファイル名を入力します。半角で20文字、全角なら10文字まで入力できます。

✎ 補足

- Windows のファイル名として入力できない文字(¥: * ? < > | および先頭の「.」やスペース)は使用できません。

6 [OK] をクリックします。

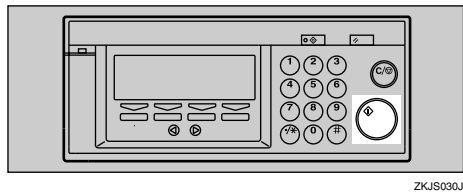
「任意ファイル送信入力を設定しました。もう一度入力するためには、任意ファイル送信入力をクリックしてください」と表示され、指定が本機に転送されます。

本機の画面は「読み取りできます」画面になります。



7 スキャナーに原稿をセットします。

8 本機の【スタート】キーを押します。



スキャナーから原稿が読み取られます。

✎ 補足

- 読み取りを中止したいときには本機の【クリア/ストップ】キーを押します。

🔍 参照

原稿ガラスにセットしたときは P.103 「原稿ガラスに原稿をセットしたとき」を参照してください。

読み取りが正常に終了すると、共有フォルダーへのファイル送信が開始されます。ファイル送信中は、↔ マークが画面右上に表示されます。



✎ 補足

- ↔ マークが表示されている間は、本機および連結スキャナーの使用はできません。

9 本機の【戻る】を押します。

メール/ファイル送信待機画面または Ridoc 配信待機画面になります。

✎ 補足

- 続けて [任意ファイル送信入力] の条件を変更して送信したい場合も、[戻る] を押して、メール/ファイル送信待機画面または Ridoc 配信待機画面に戻ってください。メール/ファイル送信待機画面または Ridoc 配信待機画面に戻らずに、新たな [任意ファイル送信入力] を行おうとすると、「スキャナー使用中のため、設定できません。しばらくしてから設定してください」と表示されます。

共有フォルダーに送信されたファイルについて

ここでは、Windows共有フォルダーに送信された画像データのファイル名や格納場所について説明します。

保存フォルダー

ファイル送信時に、送信する共有フォルダーを指定しますが、指定した共有フォルダー配下に本機の識別名と同じ名前のサブフォルダーが作られ、画像ファイルが保存されます。

- 例1
指定フォルダー：¥PCName¥Folder
本機の識別名：RNP6219DA
→保存されるフォルダー：
¥PCName¥Folder¥RNP6219DA

補足

- IPSiOSCAN BOXの「識別名」は、Web Status Monitorの [設定] → [一般] の [識別名] で設定します。
- 「ファイル送信設定」の [識別フォルダ作成] を「しない」に設定した場合は、サブフォルダーは作成されず、送信する共有フォルダー直下に画像ファイルが保存されます。

6

ファイル名

Windows共有フォルダーにファイル送信された画像データのファイル名は、次のようになります。なお、[ファイル名] 未選択のときは「DOC」を選択したときと同様になります。

補足

- [任意ファイル送信入力] からファイル送信するときは、ファイル名を未指定にはできません。登録済みファイル名とは別に任意のファイル名を指定できますので、必ず指定してください。

❖ 読取時刻付き

Web Status Monitorの [設定] → [ファイル送信設定] → [ファイル送信] で [ファイル名+時分付け] を「する」に設定した場合は、「ファイル名年月日時分秒(4桁の通し番号).拡張子」になります。

- 例2
指定ファイル名：image
ファイル形式：シングルページ
原稿種類：白黒：文字
原稿枚数：2枚両面
読取実行日時：2006年3月9日午後1時7分21秒
→ファイル名：
image060309130721(0001).TIF
image060309130721(0002).TIF
image060309130721(0003).TIF
image060309130721(0004).TIF

- 例3
指定ファイル名：なし
ファイル形式：マルチTIFF
原稿種類：カラー：フルカラー
原稿枚数：2枚両面
読取実行日時：2006年3月9日午後1時7分21秒
→ファイル名：
DOC060309130721(0001).PDF

❖ 読取時刻なし

Web Status Monitorの [設定] → [ファイル送信設定] → [ファイル送信] で [ファイル名+時分付け] を「しない」に設定した場合は、「ファイル名(4桁の通し番号).拡張子」になります。

- 例4
指定ファイル名：image
ファイル形式：シングルページ
原稿種類：白黒：文字
原稿枚数：2枚両面
読取実行日時：2006年3月9日午後1時7分21秒
→ファイル名：
image(0001).TIF
image(0002).TIF
image(0003).TIF
image(0004).TIF
- 例5
指定ファイル名：なし
ファイル形式：マルチTIFF
原稿種類：カラー：フルカラー
原稿枚数：2枚両面
読取実行日時：2006年3月9日午後1時7分21秒
→ファイル名：
DOC(0001).PDF

参照

ファイル形式と拡張子については⇒ P.56 「ファイル形式」を参照してください。

補足

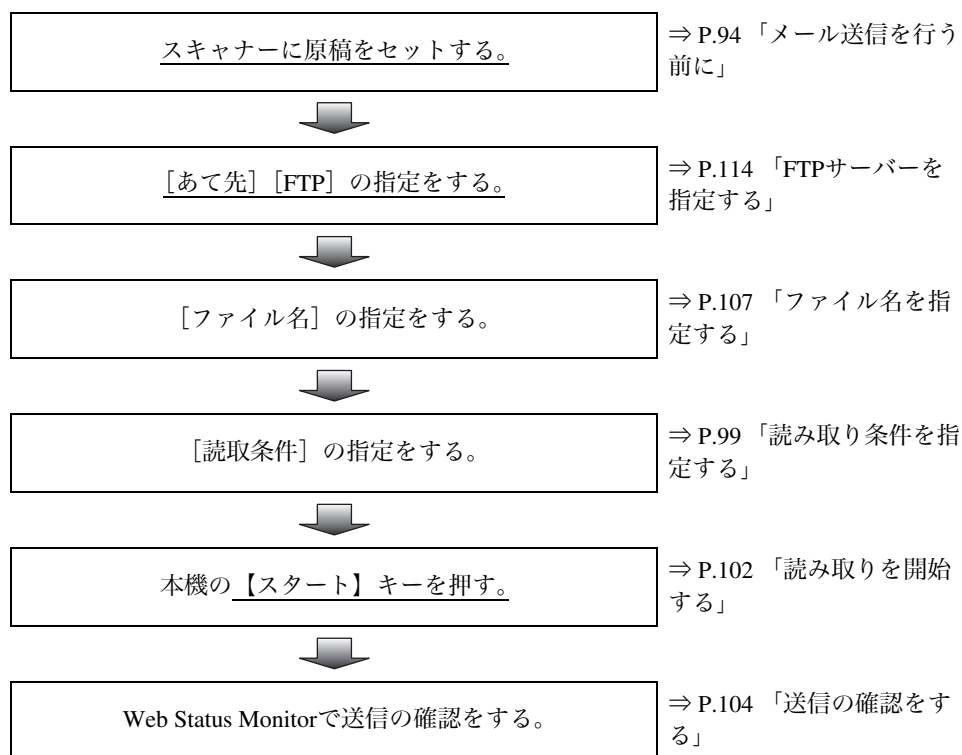
- 例2～5のファイルは、例1の共有フォルダー内に送信されます。
- Web Status Monitorの [設定] → [ファイル送信設定] → [ファイル送信] で [ファイル名+時分付け] を「しない」に設定した場合、同じファイル名を指定(未指定も含む)し、拡張子が同じになったときは、画像データファイルは上書きされますのでご注意ください。

7. FTPサーバーにファイル送信する

連結スキャナーで読み取った画像ファイルを、本機からFTPサーバーにファイル送信する手順を説明します。

FTPファイル送信の概要

登録済みのFTPサーバーにファイル送信する手順の流れを示します。なお、下線は必須作業です。本機から行う各種指定のうち、[あて先] の [FTP] の指定のみが必須となります。



FTPサーバーを指定する

あて先として、登録してあるFTPサーバーの中から1件のみ選択できます。

1 [ファイル送信] を押します。

宛先を指定して下さい	[全表示]
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:A4	
読取条件	メール送信
ファイル送信	

2 [⓪] または [⓪] キーを使用して、[FTP] を反転表示させ、[一覧] を押します。

選択してください	[全表示]
ファイル送信	<input type="checkbox"/> SMB
<input checked="" type="checkbox"/> FTP	<input type="checkbox"/> ファイル名
一覧 確定	

登録されているFTPサーバー名が表示されます。

3 [↓次ページ] または [↑前ページ] を使用して、選択したいFTPサーバーを表示させます。

FTP ページ:001/002	⓪⓪で指定し選択
<input checked="" type="checkbox"/> 00001銀座ショール	<input type="checkbox"/> 00002イベント
<input type="checkbox"/> 00003案内図	<input type="checkbox"/> 00004価格表
↑前ページ	↓次ページ
選択 終了	

見出しを使ってFTPサーバーを検索する

1 [/*] (見出し)キーを押します。

見出しが表示されます。

補足

- Web Status Monitorの [設定] → [基本設定] → [スキャナー] → [見出し選択] で設定した見出しが表示されます。

2 [⓪] または [⓪] キーを使って該当するFTPサーバーの所属する見出しを反転状態にし、[設定] を押します。

選択してください	[FTP]
全表示 常用	<input checked="" type="checkbox"/> か した な は ま や ら わ
設定 取消	

選択した見出しに所属するFTPサーバーが表示されます。

補足

- FTPサーバーの所属する見出しは、Web Status Monitorの [設定] → [ファイル送信設定] → [FTPサーバー] → [所属見出し] で設定します。

見出しを「全表示」にする

1 [/*] (見出し)キーを押します。

見出しが表示されます。

2 [⓪] または [⓪] キーを使用して [全表示] を反転表示させ、[設定] を押します。

選択してください	[FTP]
全表示	常用 あ か さ た な は ま や ら わ
設定 取消	

4 [⓪] または [⓪] キーを使用して選択したいFTPサーバーを反転表示させ、[選択] を押します。

送信先に指定されたFTPサーバーにチェックが付きます。

補足

- 別のFTPサーバーを選択すると、前に選択されたFTPサーバーは解除されます。(チェックが消えます。)

5 [終了] を押します。

FTP ページ:001/002	⓪⓪で指定し選択
<input checked="" type="checkbox"/> 00001銀座ショール	<input type="checkbox"/> 00002イベント
<input type="checkbox"/> 00003案内図	<input type="checkbox"/> 00004価格表
↑前ページ	↓次ページ
選択解除 終了	

[保護パスワード] が設定されている場合、「アドレス保護コードを入力してください」が表示されます。

- 6** 本機のテンキーを使って、パスワードを入力します。

アドレス保護コードを入力してください	
確認	戻る

 補足

- Web Status Monitorの [設定] → [ファイル送信設定] → [FTPサーバー] → [保護パスワード] で設定した4～8桁の数字を入力します。

- 7** [確認] を押します。

アドレス保護コードを入力してください	

確認	戻る

手順**2**の画面が表示されます。

- 8** [確定] を押します。

選択してください		[FTP] [全表示]
ファイル送信 <input type="checkbox"/> SMB	<input checked="" type="checkbox"/> FTP	<input type="checkbox"/> ファイル名
一覧		確定

メール/ファイル送信待機画面が表示されます。

FTPサーバーに送信されたファイルについて

ここでは、FTPサーバーにファイル送信された画像データのファイル名や格納場所について説明します。

保存場所

ファイル送信(FTP)時に、登録済みのFTPサーバー名を指定しますが、登録されたFTPサーバー配下のフォルダーの配下に、本機の識別名と同じ名前のサブフォルダーが作られ、画像ファイルが保存されます。

- 例1

指定FTPサーバー：¥¥FTPserver¥Folder

本機の識別名：RNP6219DA

→保存される場所：

¥¥FTPserver¥Folder¥RNP6219DA

 補足

- IPSiOSCAN BOXの「識別名」は、Web Status Monitorの [設定] → [一般] の [識別名] で設定します。
- FTPサーバーに指定したディレクトリがない場合は、自動作成します。
- 「ファイル送信設定」の [識別フォルダ作成] を「しない」に設定した場合は、サブフォルダーは作成されず、送信するFTPフォルダー直下に画像ファイルが保存されます。

7

ファイル名

FTPサーバーにファイル送信された画像データのファイル名は、次のようになります。なお、[ファイル名] 未選択のときは「DOC」を選択したときと同様になります。

❖ 読取時刻付き

Web Status Monitorの [設定] → [ファイル送信設定] → [ファイル送信] で [ファイル名+時分付け] を「する」に設定した場合は、「ファイル名年月日時分秒(4桁の通し番号).拡張子」になります。

- 例2

指定ファイル名：image

ファイル形式：シングルページ

原稿種類：白黒：文字

原稿枚数：2枚両面

読取実行日時：2006年3月9日午後1時7分21秒

→ファイル名：

image060309130721(0001).TIF

image060309130721(0002).TIF

image060309130721(0003).TIF

image060309130721(0004).TIF

- 例3
指定ファイル名：なし
ファイル形式：マルチTIFF
原稿種類：カラー：フルカラー
原稿枚数：2枚両面
読取実行日時：2006年3月9日午後1時7分21秒
→ファイル名：
DOC060309130721(0001).PDF

❖ 読取時刻なし

Web Status Monitorの [設定] → [ファイル送信設定] → [ファイル送信] で [ファイル名+時分付け] を「しない」に設定した場合は、「ファイル名(4桁の通し番号).拡張子」になります。

- 例4
指定ファイル名：image
ファイル形式：シングルページ
原稿種類：白黒：文字
原稿枚数：2枚両面
読取実行日時：2006年3月9日午後1時7分21秒
→ファイル名：
image(0001).TIF
image(0002).TIF
image(0003).TIF
image(0004).TIF
- 例5
指定ファイル名：なし
ファイル形式：マルチTIFF
原稿種類：カラー：フルカラー
原稿枚数：2枚両面
読取実行日時：2006年3月9日午後1時7分21秒
→ファイル名：
DOC(0001).PDF

参照

ファイル形式と拡張子については⇒ P.56 「ファイル形式」を参照してください。

補足

- 例2～5のファイルは、例1のフォルダー内にファイル送信されます。Web Status Monitorの [設定] → [ファイル送信設定] → [ファイル送信] の [ファイル名+時分付け] を「しない」に設定した場合、同じファイル名を指定(未指定も含む)し、拡張子が同じになったときは、画像データファイルは上書きされますのでご注意ください。

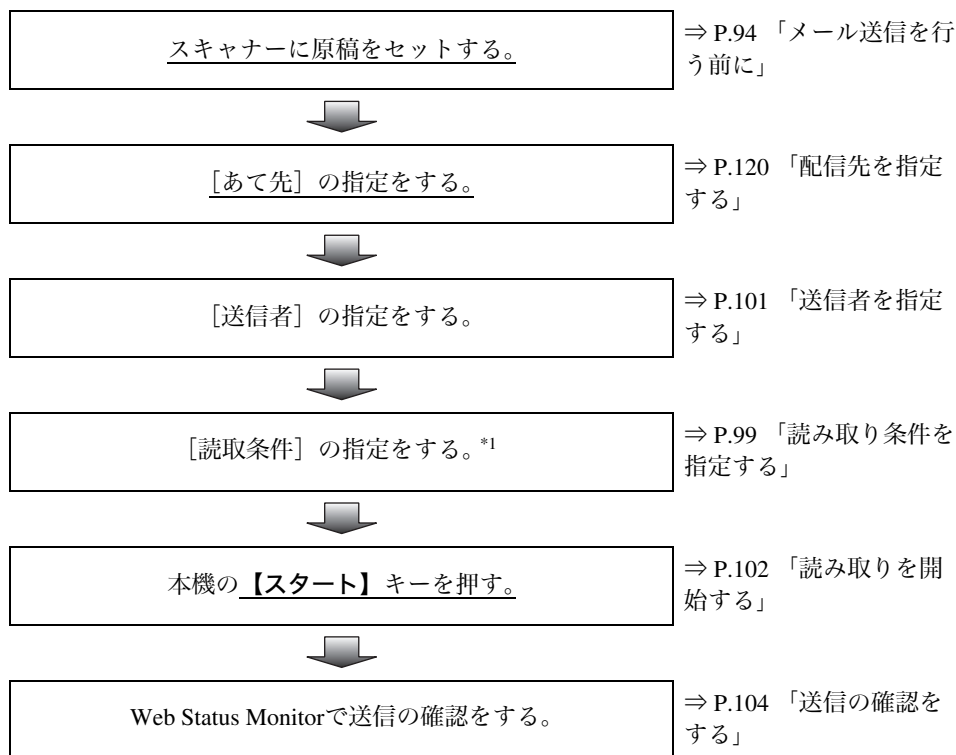
8. Ridoc Document Router/Proを利用して配信する

連結スキャナーで読み取った画像ファイルを、Ridoc Document Router/Proの機能を利用して配信する手順を説明します。

Ridoc配信の概要

配信機能を使用する場合は、ネットワーク上に別売りのRidoc Document Routerなどをインストールした配信サーバーが必要です。Ridoc Document Routerについて詳しくはRidoc Document Routerの説明書を参照してください。

Ridoc Document Router/Proのアドレス帳および配信機能を利用して、連結スキャナーで読み取った画像ファイルを配信する手順の流れを示します。なお、下線は必須作業です。本機から行う各種指定のうち、[あて先] の指定のみが必須となります。



*1 配信されるイメージデータのファイル形式・圧縮形式は、Ridoc Document Router/Proで設定したファイル形式・圧縮形式になります。

配信先を指定する

Ridoc Document Router/Proのアドレス帳を使って、最大100件まで同時に指定ができます。

1 【あて先】を押します。

宛先を指定して下さい		[全表示]
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:A4		
読取条件	あて先	送信者

補足

- [2.スキャナー送信設定]の[7.アドレス帳自動更新]を「する」に設定している場合は、Ridoc Document Router/Proの最新のアドレス帳を読み込みます。⇒P.47「アドレス帳自動更新」


Ridoc Document Router/Proに登録してあるあて先(個人、グループ、フォルダー、メールアドレス先の各名称)が表示されます。

2 【⓪】または【㊦】キーや[↓次ページ]、[↑前ページ]を押して、配信したいあて先を反転状態にし、[選択]を押します。

あて先 ページ:001/002	⓪⓪で指定し選択
<input type="checkbox"/> 00001横浜支店	<input type="checkbox"/> 00002miller
<input type="checkbox"/> 00003sato	<input type="checkbox"/> 00004品川ISC
↑前ページ	↓次ページ
選択	終了

選択したあて先にチェックが表示されます。

補足

- グループあて先には、マークが付きます。
- 選択済みのあて先を解除したいときには、該当のあて先を反転状態にして、[選択解除]を押します。

見出しを使ってあて先を検索する

1 【/】(見出し)キーを押します。

見出しが表示されます。

補足

- Ridoc Document Router/Proで設定した見出しが表示されます。

2 【⓪】または【㊦】キーを使って該当の所属見出しを反転状態にし、[設定]を押します。

選択してください	[Ridoc]
全表示 常用	あかさたなはまやらわ
	[設定] [取消]

該当の所属見出しに含まれるあて先名が表示されます。

補足

- 所属見出しは、Ridoc Document Router/Proで設定します。

3 【⓪】または【㊦】キーを使って目的のあて先を反転状態にし、[選択]を押します。

選択したあて先にチェックが表示されます。

見出しを「全表示」に戻す

1 【/】(見出し)キーを押します。

見出しが表示されます。

2 【㊦】または【⓪】キーを使って[全表示]を反転状態にし、[設定]を押します。

選択してください	[Ridoc]
全表示 常用	あかさたなはまやらわ
	[設定] [取消]

3 必要なだけ 2 を繰り返して配信先をすべて指定します。

4 【終了】を押します。

「読み取りできます」画面が表示され、2行目に指定した配信先名が表示されています。複数指定した場合は、【⓪】または【㊦】キーを使って確認ができます。

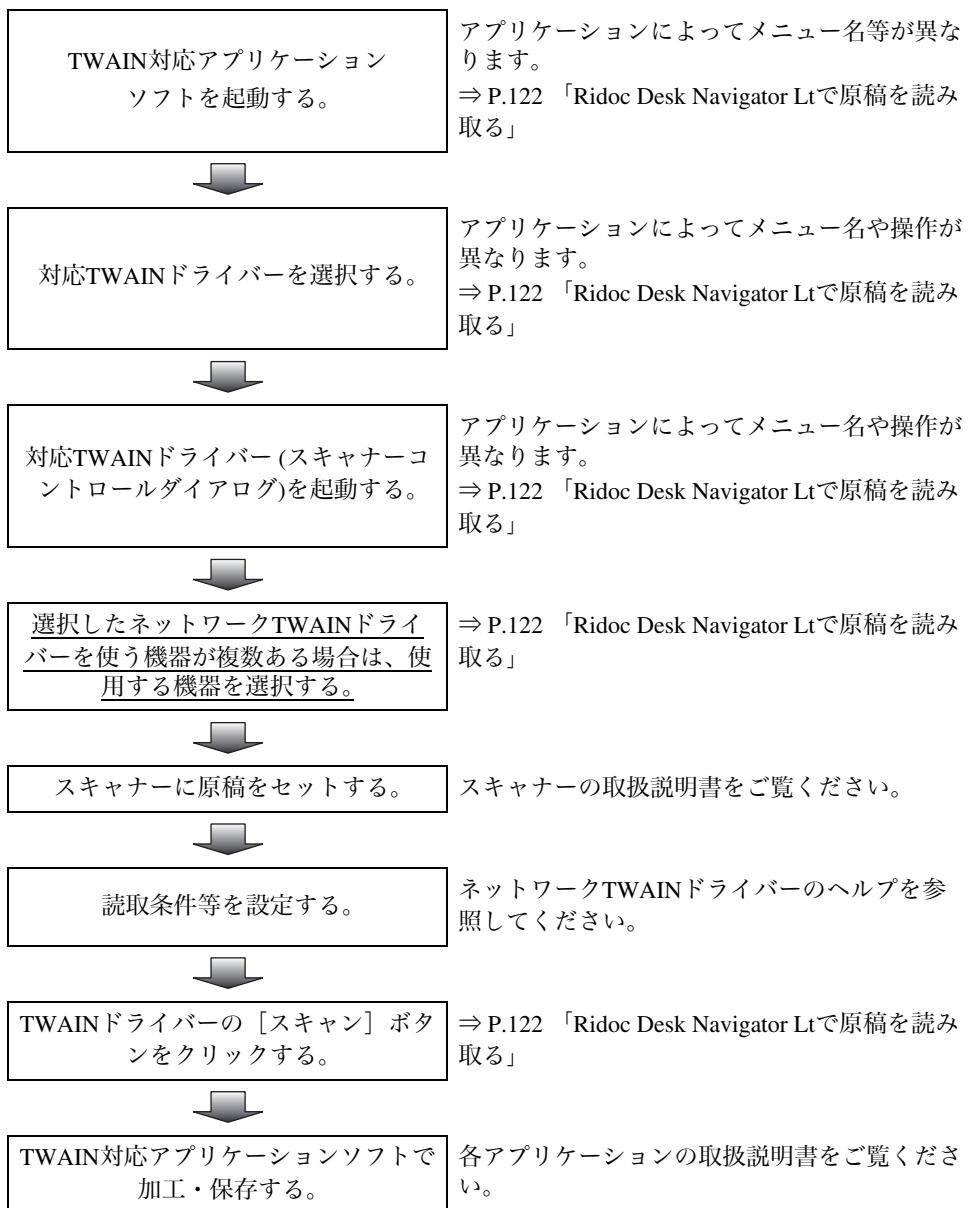
読み取りできます	[Ridoc]	[全表示]
⓪ [1/1] 001横浜支店	(⓪前、⓪次)	
濃度4/白黒:文字/100dpi/㊦:A4		
読取条件	あて先	送信者

9. ネットワークTWAINスキャナーとして使う

ネットワークTWAINドライバーの使いかたは、TWAINドライバーの使いかたとほぼ同等です。ここでは、TWAINドライバーの使いかたと異なる点を中心に、ネットワークTWAINドライバーの使いかたを説明します。

ネットワークTWAINスキャナーの使用手順の概要

ネットワーク上のPCから、本機に接続されたスキャナーをネットワークTWAINスキャナーとして使用し、画像を読み込むときの手順の流れを示します。なお、下線は、TWAINドライバー使用時(SCSI接続時)と異なる作業を示します。



Ridoc Desk Navigator Ltで原稿を読み取る

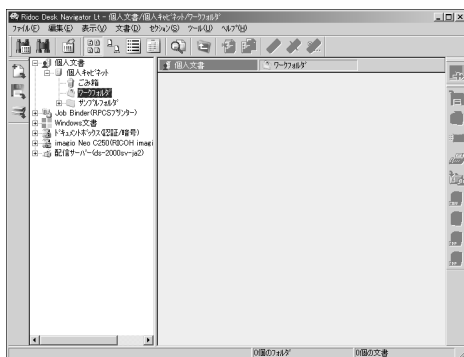
ここでは、ネットワークTWAINドライバーの使用例として、Ridoc Desk Navigator Ltを使って、スキャナーから1枚の原稿を読み取る方法を、⇒P.121 「ネットワークTWAINスキャナーの使用手順の概要」に沿って説明します。

補足

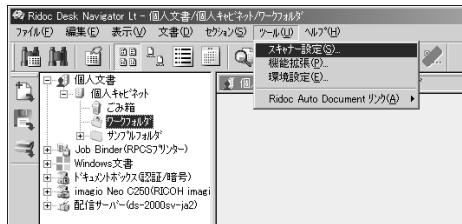
- Ridoc Desk Navigator Ltを使用中に、パソコンのキーボードの【F1】キーを押すと、ヘルプが表示されます。操作がわからないときに、ご利用ください。
- イージースキャン機能については、Ridoc Desk Navigator Ltのヘルプを参照してください。

- 1 [スタート] ボタンから [プログラム] をポイントし、[RICOH Ridoc Desk Navigator] から [Ridoc Desk Navigator] をクリックします。

Ridoc Desk Navigator Ltが起動します。



- 2 [ツール] メニューの [スキャナー設定] をクリックします。



[スキャナー設定] ダイアログボックスが表示されます。

補足

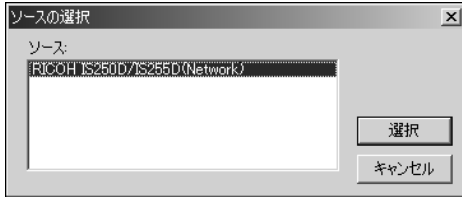
- [スキャナー入力画像の保存ファイル形式] グループで選択されているファイル形式でRidoc Desk Navigator Ltに保存されます。必要に応じて設定を変更してください。

- 3 [スキャナー選択] をクリックします。



[ソースの選択] ダイアログボックスに、クライアント PC にインストールされている TWAIN ドライバーが表示されます。

- 4** 使用するネットワークTWAINドライバーをクリックし、[選択]をクリックします。



[ソースの選択] ダイアログボックスが閉じられ、本機のネットワークTWAINドライバーが選択されます。

- 5** [スキャナー設定] ダイアログボックスの[OK]をクリックします。

[スキャナー設定] ダイアログボックスが閉じます。

- 6** [ファイル] メニューの[文書登録]をポイントし、[スキャン]をクリックします。



Ridoc Deskビューアが開き、選択したネットワークTWAINドライバーに対応するスキャナーの検索が行われ、ネットワークTWAINドライバーのダイアログボックスが表示されます。



- 7** スキャナーに原稿をセットします。

補足

- 原稿ガラスか ADF に、読み取る原稿をセットします。原稿のセット方法については⇒P.87「スキャナーに原稿をセットする」を参照してください。

- 8** 読み取り条件を設定します。

補足

- 読み取り条件の設定方法やプレビューの使い方は、ネットワークTWAINドライバーのヘルプを参照してください。

- 9** [読み取り] をクリックします。

補足

- ネットワークTWAINドライバーの[スキャナーの[スタート]キーで開始]にチェックが入っているときは、[読み取り]をクリックしたあと、本機の【スタート】キーを押します。

原稿の読み取りが終了すると、Ridoc Deskビューアのウィンドウに画像が表示され、ネットワークTWAINドライバーのダイアログボックスが自動的に閉じます。



補足

- 読み取ったイメージは回転や切り抜きなどの編集をしたり、編集した状態を印刷することができます。編集や印刷の操作についてはRidoc Desk Navigator Ltのヘルプを参照してください。

- 10 読み取ったイメージをRidoc Desk Navigator Ltに保存します。

- ① [ファイル]メニューの[終了]をクリックします。

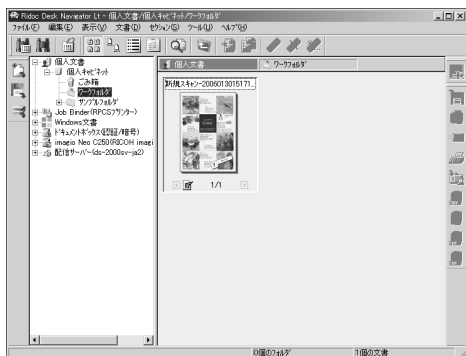


[文書情報の入力] ダイアログボックスが表示されます。



- ② 文書名を入力し、[OK]をクリックします。

Ridoc Desk Navigator Ltにイメージが保存され、Ridoc Deskビューアが閉じます。



補足

- 保存されたイメージをファイルとして書き出すこともできます。詳しくは、Ridoc Desk Navigator Ltのヘルプを参照してください。

- 11 Ridoc Desk Navigator Ltを終了します。

- ① [ファイル]メニューの[Ridoc Deskの終了]をクリックします。



Ridoc Desk Navigator Ltが終了します。

こんなときには

思いどおりに読み取れないとき

状態	原因・対処方法・参照先
読み取ったイメージが汚れる	<ul style="list-style-type: none"> • スキャナーの原稿ガラス、ADF原稿ガラス、圧板または原稿ローラーが汚れています。 • スキャナーの原稿ガラス、ADF原稿ガラス、圧板または原稿ローラーを清掃してください。清掃の手順については各スキャナー付属の使用説明書を参照してください。
イメージがゆがむ、ずれる	<ul style="list-style-type: none"> • 読み取り中に原稿が動きました。読み取り中は原稿を動かさないでください。 • 原稿が原稿ガラスから浮き上がっていました。原稿を原稿ガラスに十分押し当ててください。
イメージの上下が逆に読み取られる	<ul style="list-style-type: none"> • 原稿が上下逆にセットされていました。原稿の向きを正しくセットしてください。 ⇒ P.88 「原稿面を指定する」
イメージが読み取れない	<ul style="list-style-type: none"> • 原稿の表と裏が逆にセットされていました。正しくセットしてください。 • 原稿ガラスにセットするときは、読み取りたい面を下に向け、ADFにセットするときは、読み取りたい面を上に向けてください。

エラーメッセージが表示されたとき

ここでは、本機の操作パネルに表示されたエラーメッセージを、読取条件に関するエラー、本体に関するエラー、Ridoc配信/ファイル送信機能に関するエラーに分類して、原因や対処方法を記載しています。また、Webブラウザに表示されるエラーメッセージについても、原因や対処方法を記載しています。

補足

- ここで示されていないエラーメッセージが表示された場合は、本機の電源をOFFにしてから、もう一度電源をONにしてください。それでもメッセージが消えないときは、エラー内容とエラー番号をサービス実施店に連絡してください。

参照

ネットワーク TWAIN スキャナーとして使用しているときに、ご使用のコンピューターにエラーメッセージが表示された場合は、ネットワークTWAINドライバーのヘルプを参照してください。

本体に関するエラーが表示されたとき

メッセージ	原因・対処方法・参照先
カバーオープン ADFカバーを閉めてください。	<ul style="list-style-type: none"> ADFのカバーが開いています。ADFのカバーを閉じてください。
原稿ミスフィード ADFの中の原稿を取り除いてください。	<ul style="list-style-type: none"> ADFに原稿が詰まっています。詰まっている原稿を取り除いてください。
エラー発生中 SC4xxx 電源を入れ直し、再度エラーが発生する場合には、サービスにご連絡ください。	<ul style="list-style-type: none"> 本機が正しくネットワークに接続されているか確認してください。 冬季に本機を外から居室の暖かいところへ移動するなどして、結露した可能性がある場合は、電源をONにしないで1時間以上放置し、機械を温度になじませてください。原稿ガラスの曇りが取れた後も、内部のレンズやミラーの曇りは残っていますので、上記時間が必要です。原稿ガラスの曇りがなくなったら電源をONにして放置すると待ち時間が短縮されます。 電源を入れ直します。それでもエラーが発生する場合には、エラー表示とエラー番号をサービス実施店にご連絡ください(「SC4xxx」がエラー番号です。エラーの種類によって表示される番号が異なります)。
重送が発生しました ADFの中の原稿を取り除いてください	重送(複数の原稿を一度に重ねて読み取ってしまうこと)が発生しました。詰まっている原稿を取り除いてください。
スキャナーエラー発生 スキャナーの状態を確認してください XX-YY	スキャナーに異常が発生しました。電源を入れ直します。それでもエラーが発生する場合には、エラー表示とエラー番号をサービス実施店にご連絡ください(「XX-YY」がエラー番号です。エラーの種類によって表示される番号が異なります)。
スキャナーを認識できません スキャナーの電源を確認してください	スキャナーの電源、またはスキャナーと本機の接続を確認してください。
IEEE 802.11bに接続できません 主電源をきり、IEEE 802.11bカードを確認してください。	IEEE 802.11bカードを認識できません。IEEE 802.11bカードと本機の接続を確認してください。 IEEE 802.11bカードを使用しない場合、初期設定-ネットワーク設定-IFの切り替えで、Ethernetを設定し、有線LANでご使用ください。
ADFパッドの交換時期です ADFパッドの交換時期です 交換後は、必ずカウンタークリアをしてください	ADFパッドの交換時期です。ADFパッドを交換してください。 また、交換後は、カウンタークリアをしてください。カウンタークリアすることにより、このメッセージが表示されなくなります。

メッセージ	原因・対処方法・参照先
ADFピックアップローラーの交換時期です ADFピックアップローラーの交換時期です 交換後は、必ずカウンタークリアをしてください	ADFピックアップローラーの交換時期です。ADFピックアップローラーを交換してください。 また、交換後は、カウンタークリアをしてください。カウンタークリアすることにより、このメッセージが表示されなくなります。
ADFパッド及びピックアップローラーの交換時期です ADFパッド及びピックアップローラーの交換時期です 交換後は、必ずカウンタークリアをしてください	ADFパッドおよびピックアップローラーの交換時期です。ADFパッドおよびピックアップローラーを交換してください。 また、交換後は、カウンタークリアをしてください。カウンタークリアすることにより、このメッセージが表示されなくなります。
読み取り中断中です 続行：読み取りを続行します 破棄：読み取り済みの画像データを破棄します	重送が発生して、2枚目以降の原稿の読み取りができませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [続行] を選択すると、読み取りを継続します。詰まっている原稿を取り除いて、もう一度、原稿をセットして、【スタート】キーを押してください。残りの原稿を読み取ります。 ・ [破棄] を選択した場合は、読み取りを中断し、送信されません。もう一度、原稿をセットして、再度、読み取ってください。
読み取り中断中です 送信：読み取り済みのデータを送信します。 破棄：画像データを破棄します。	原稿ミスフィードなどで、2枚目以降の原稿の読み取りができませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [送信] を選択すると、読み取りを終了した原稿が送信されます。☞マークが消えてから、もう一度、【スタート】キーを押して、残りの原稿を読み取ります。 ・ [破棄] を選択した場合は、送信されません。もう一度、原稿をセットして、再度、読み取ってください。

読取条件に関するエラーが表示されたとき

メッセージ	原因・対処方法・参照先
原稿サイズがわかりません 原稿がセットされていることを確認して 原稿サイズを設定してください。 [確認]	原稿ガラスに原稿がセットされていません。またはセットされていますが、原稿サイズを自動検知できませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 原稿がセットされていないときはセットしてください。 ・ 原稿サイズはADFの開閉で検知されますので、30度以上の角度で確実に開けてください。 ・ 小さいサイズや海外で使われているサイズなど自動的にサイズを検知できないサイズがあります。詳しくはP.60 「任意の原稿サイズを指定するとき」を参照してください。

メッセージ	原因・対処方法・参照先
<p>1文書最大サイズを超えました 読み取りを中止して画像データを破棄します。 [確認]</p>	<p>1枚目の原稿の読み取りができませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み取り条件の [1.原稿種類] を見直してください。白黒原稿に対して「フルカラー」が設定されていませんか。また、グラフにのみカラーが使われている原稿であれば「白黒：文字・写真」で充分です。 読み取り条件の [2.解像度] を見直してください。必要以上に高解像度が指定されている場合は、解像度を下げてください。一般に、文字の読み取りであれば100dpi～200dpiで充分です。 [1.原稿種類] が「白黒：文字」、「白黒：文字・写真」、「白黒：写真」のときは、設定の [2.スキャナー送信設定] の [圧縮設定(2値)] を「する」、「白黒：グレースケール」、「カラー：フルカラー」のときは [圧縮設定(多値)] の画質を、圧縮率が高くなるように変更してください。 メール送信時はWeb Status Monitorの [設定] → [メール送信設定] → [メール] の [送信メールサイズ制限]、Ridoc配信時はWeb Status Monitorの [設定] → [配信設定] → [配信] の [1文書最大サイズ制限]、ファイル送信(SMB/FTP)時はWeb Status Monitorの [設定] → [ファイル送信設定] → [ファイル送信] の [1文書最大サイズ制限] を大きくします。
<p>1文書最大サイズを超えました 送信：読み取り済みのデータを送信します。 破棄：画像データを破棄します。 [送信] [破棄]</p>	<p>2枚目以降の原稿の読み取りができませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> [送信] を選択すると、読み取りを終了した原稿のデータを送信されます。☞マークが消えてから、もう一度、【スタート】キーを押して、残りの原稿を読み取ります。 [破棄] を選択した場合は、送信されません。読み取り条件や圧縮方法を変更して1回で送信できるようにするか、原稿を分割して再送信してください。
<p>読み取り条件が不正です 解像度,原稿サイズ等を確認してください。</p>	<p>読み取り条件の解像度、または原稿サイズが正しくありません。以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 解像度、原稿サイズの指定がスキャナーの主走査最大画素数を超えていないか確認してください。 任意エリア設定で、読み取りできないエリアを指定していないか確認してください。(圧板読み取りで圧板より大きな読み取りエリアを設定し、読み取りを行ったなど)

Ridoc配信、メール/ファイル送信時に、本体操作画面にエラーが表示されたとき

メッセージ	原因・対処方法・参照先
<p>(Ridoc配信機能を使用時に) あて先のアドレス帳を更新中です しばらくお待ちください</p>	<p>[2.スキャナー送信設定] の [7.アドレス帳自動更新] で「する」に設定している場合、[あて先] を押すと配信サーバー (Ridoc Document Router/Proをインストールしたコンピューター) からあて先/送信者の情報を取得してアドレス帳を更新します。これは常に最新のあて先情報を使用できるようにするためです。あて先/送信者の登録数やネットワークの状態により時間がかかることがあります、そのままお待ちください。</p>
<p>(Ridoc配信機能を使用時に) アドレス帳の更新に失敗しました もういちど実行しますか。 [はい] [いいえ]</p>	<p>配信サーバー (Ridoc Document Router/Proをインストールしたコンピューター) からアドレス帳(あて先や送信者のリスト)の情報を取得できませんでした。[はい] をクリックしてもう一度実行してみてください。</p> <p>同じメッセージが表示されるときは次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 配信サーバーが起動していません。または、配信サーバーのサービスが開始されていません。 ● 配信サーバーの空きディスク容量が不足したため、配信サーバーが一時停止しています。
<p>サーバーと通信できません サーバーの動作状況や接続を確認してください。 [確認]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイル(SMB)送信の指定を行ったときは、指定したWindows共有フォルダーがあるコンピューターの電源が遮断されていないか確認してください。 ● Ridoc配信時は、Ridoc Document Router/Proがインストールされているコンピューター(配信サーバー)の電源が遮断されていないか確認してください。 ● [任意ファイル送信入力] でファイル送信したときは、Webブラウザの [戻る] ボタンをクリックして、[ログインパスワード] を入力し [テスト] ボタンをクリックしてみてください。“ファイル送信パスに接続できません。設定を確認してください”と表示された場合は、[ファイル送信パス] が間違っています。なお、[任意ファイル送信入力] では、[テスト] ボタンで指定したファイル送信パスに接続できるか確認してから、ファイル送信してください。

メッセージ	原因・対処方法・参照先
<p>画像の送信に失敗しました もう一度同じ設定で読み取って 送信してください。</p> <p style="text-align: right;">[確認]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク通信異常のために、画像データの送信に失敗しました。ネットワークケーブルがきちんと接続されているか確認して、もう一度同じ設定で読み取り、送信し直してください。 読み取り直しても同じメッセージが表示される場合は、ネットワークの混雑が原因として考えられますので、ネットワーク管理者に相談してください。 ファイル送信(SMB)の場合は、保存先のコンピュータ名やフォルダー名が変更されている可能性があります。Web Status Monitorの [設定の参照] → [ファイル送信設定] → [ファイル送信パス] で登録したコンピュータ名や共有フォルダー名を、Windowsの「ネットワーク」で確認してください。 [任意ファイル送信入力] でファイル送信したときは、Webブラウザの [戻る] ボタンをクリックして、[ログインパスワード] を入力し [テスト] ボタンをクリックしてみてください。“ファイル送信パスに接続できません。設定を確認してください”と表示された場合は、[ログインユーザー名] や [ログインパスワード] が間違っています。なお、[任意ファイル送信入力] では、[テスト] ボタンで指定したファイル送信パスに接続できるか確認してから、ファイル送信してください。
<p>最大読取ページ数を超えました 続きを読み取ってください。</p> <p style="text-align: right;">[確認]</p>	<p>連続して読み取れる最大ページ数(200ページ)に達しました。[確認] を押してください。読み取った原稿が送信されます。指定したあと先と読取条件の設定は [確認] を押したあとも同じ内容で設定されていますので、続きの原稿をセットして【スタート】 キーを押してください。</p>
<p>最大読取ページ数を超えました 続きを読み取ってください。</p>	<p>連続して読み取れる最大ページ数(200ページ)に達しました。</p>
<p>宛先選択数オーバー To,Ccは合計100件以下にしてください</p>	<p>To:を100件選択後、Cc:を選択し一覧ボタンを押した場合、表示されます。To、Ccの合計は100件以下にしてください。</p>
<p>送信者パスワードが違います 確認して再入力してください</p>	<p>入力した送信者パスワードが正しくありません。確認して再入力してください。</p>
<p>アドレス保護コードが違います 確認して再入力してください</p>	<p>入力したアドレス保護コードが正しくありません。確認して再入力してください。</p>
<p>パスワードが一致していません。 もう一度入力してください。</p>	<p>最初に入力したPDFパスワードと確認用に入力したPDFパスワードが異なります。同じPDFパスワードを入力してください。</p>
<p>文書暗号化パスワードと権限変更 パスワードは同じパスワードを設定 できません。</p>	<p>セキュリティ権限変更の権限変更パスワードとPDFに設定するパスワードは違う文字列を設定してください。</p>

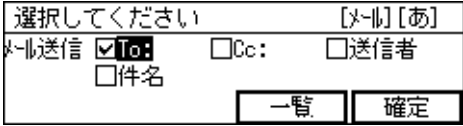
メッセージ	原因・対処方法・参照先
送信者未選択 送信者名を指定してください	送信者初期値がなしの設定で、送信者を選択しないで、読み取りを行った場合表示されます。送信者を指定するか、送信者初期値を設定してください。

Webブラウザの画面にエラーが表示されたとき

メッセージ	原因・対処方法・参照先
ログインユーザー名の値が不適切です。正しい値を設定してください。	<ul style="list-style-type: none"> • [ログインユーザー名] が$\text{xxx}\text{¥xx}$の形式で入力されていないときのメッセージです。[ログインユーザー名] は、「ワークグループ名¥ユーザー名」(ドメインに所属している場合は「ドメイン名¥ユーザー名」)の形式で入力します。 (例) ワークグループ名：abcd ユーザー名：aoki → abc¥aoki
ファイル送信パスに接続できません。設定を確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> • [ファイル送信パス]、[ログインユーザー名]、[ログインパスワード] のいずれかに入力ミスがあります。 • Windows 95/98/98 SE/Meの共有フォルダーでアクセスにパスワードが必要なフォルダーに送信する場合、[ログインパスワード] にはそのパスワードを入力します。それ以外の場合は、[ログインユーザー名] に対応するパスワードを入力します。 • Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0でアクセス権が設定された共有フォルダーに送信する場合、そのOSのユーザー管理で設定されたユーザー名とパスワードを、[ログインユーザー名] と [ログインパスワード] に入力します。 • 小文字/大文字、半角/全角の別に注意して入力します。
スキャナー使用中のため、設定できません。しばらくしてから設定してください。	<ul style="list-style-type: none"> • ほかのクライアントPCからネットワークTWAINスキャナーとして使われています。 • [任意ファイル送信入力] で送信後、送信条件などの設定を変えて新たな送信を行いたいときは、本体操作部の[戻る]を押して、メール/ファイル送信待機画面またはRidoc配信待機画面に戻ってください。新たな設定が可能になります。

その他

状態	原因・対処方法・参照先
(本製品を複数使っているため、) ネットワークTWAINドライバーに表示される機器識別名を変更したい。	<ul style="list-style-type: none"> Web Status Monitorの [設定] → [基本設定] → [一般] の [識別名] で変更します。半角の英数字47文字以内で、ネットワーク上の他の機器と重複しない識別名を設定します。工場出荷時は「RNP*****」(*****は物理アドレスの下6桁)となっていますが、ユーザーが個別に設定するときは、他の機器と重複する恐れがあるため、先頭の3文字が「RNP」(小文字が混ざっている場合も含む)で始まる識別名は設定できないようになっています。
ファイル送信(SMB)やファイル送信(FTP)時に自動作成されるサブフォルダー名を変更したい。	
Webブラウザから本機にログインできない(「お気に入り」に登録したWeb Status Monitorが、表示されない)。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の画面表示を確認してください。初期設定画面のときは、Web Status Monitorを利用できません。[終了] または 【初期設定】 キーを押して、Ridoc配信待機画面またはメール/ファイル送信待機画面に変更してください。⇒ P.19 「待機画面」 本機のIPアドレスが工場出荷時の値(11.22.33.44)に戻っていないか確認してください(【初期設定】 キーを押して [1.システム初期設定] の [1.IPアドレス] で確認できます)。ご利用のネットワークで割り当てられたIPアドレスが正しく設定されていないと、本機へのアクセスはできません。また、IPアドレスが工場出荷時の値に戻っているときは、読取条件なども工場出荷時の値に戻りますので、設定し直してください。 DHCPで本機のIPアドレスが動的に割り付けられている場合は、IPアドレスが変わりますので、「お気に入り」への登録は意味がありません。本機にログインするたびに、【初期設定】 キーを押して [1.システム初期設定] の [1.IPアドレス] で、本機に割り当てられたIPアドレスを確認して、アドレス欄に入力します。なお、DHCP環境であっても、本機のIPアドレスは静的に割り当てることをお奨めします。その場合も、[1.システム初期設定] の [6.ネットワークブート] は「DHCP」を選択し、[1.IPアドレス] は自動取得させるように設定します。
画面を押しても画面が変わらない、反応しない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の画面はタッチパネルではありません。画面の位置に対応したファンクションキーを押してください。⇒ P.16 「画面に表示されるキーなどの選びかた」
操作している途中で、設定がクリアされる。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の操作をしてから一定時間たつと、入力したものがクリアされるように設定されています。[オートクリア時間] を長くするか、「しない」にしてください。⇒ P.46 「オートクリア時間」
Webブラウザで設定した読取条件が本機に反映されない。	<ul style="list-style-type: none"> Webブラウザを使って読取条件を変更する場合、[OK] ボタンをクリックした後、本機操作部の 【リセット】 キーを押してください。[読取条件] の設定内容は、本機操作部の 【リセット】 キーで即時有効となります。

状態	原因・対処方法・参照先
登録したあて先が見当たらない。	<ul style="list-style-type: none"> 所属見出しが選択されていないか確認してください。下図の例のように画面右上に「あ」と表示されている場合は、「あ」行として登録されたあて名のみが表示されず、[全表示]にすると、すべてのあて先が表示されます。[全表示]のしかたはP.97「見出しをすべて表示させる」などを参照してください。 
ファイル名を指定したら、指定したメールのあて先や [Cc:] が消えた。	<ul style="list-style-type: none"> メール送信・ファイル送信(SMB)・ファイル送信(FTP)は排他利用です(同時に複数の機能を利用できません)。ファイル名を設定すると、ファイル送信(SMBまたはFTP)機能が有効になり、メール送信機能は無効になります。件名を設定すると、メール送信機能が有効になり、ファイル送信(SMBまたはFTP)機能は無効になります。また、[To:] または [Cc:] を設定すると、ファイル送信(SMBまたはFTP)機能は無効になります。SMBを設定すると、メール送信およびFTP送信機能は無効になります。FTPを設定すると、メール送信およびSMB送信機能は無効になります。
操作しても反応しない。	<ul style="list-style-type: none"> スキャナーに電源コードが接続されていることを確認し、スキャナーの電源をONにしてください。 本機とスキャナーを接続するSCSIケーブルが外れていないか、確認してください。
Web Status Monitorで変更した内容が本機に反映されない。	<ul style="list-style-type: none"> 【リセット】キーを押してください。
本機の表示が文字化けしている。	<ul style="list-style-type: none"> 設定項目にJIS第二水準や、その他の特殊文字が使われていないかを確認してください。対象外の文字は、本機では■で表示されます。なお本機で表示できる文字はJIS第一水準のみです。

無線LANの設定をする

別売の「拡張無線LANボードタイプB II」を使用する場合のネットワーク関連の設定方法を説明します。

📖 操作の前に

事前に、クロスネットワークケーブルを1本、ご用意ください。なお、ハブ (HUB) などのネットワーク機器が利用できる場合は、ストレートネットワークケーブルをご用意ください。

無線LANを使うための設定の概要

無線LANカードの設定は、Web Status Monitorの [設定] → [基本設定] → [TCP/IP] で設定します。このため、Web Status Monitorにログインするための準備が必要になります。

Web Status Monitorにログインするための準備をします。

本機とPCを一時的にネットワークケーブル接続します。

本機の設定例：

IPアドレス：192.168.1.2

サブネットマスク：
255.255.255.0

PCの設定例：

IPアドレス：192.168.1.3

サブネットマスク：
255.255.255.0

Web Status Monitorで、ご利用の無線LANネットワーク環境を設定します。

無線LANを使うための設定手順

📖 操作の前に

設定を行う前に、スキャナーを接続してスキャナーの電源を ON にしてください。スキャナー未接続時は設定できません。

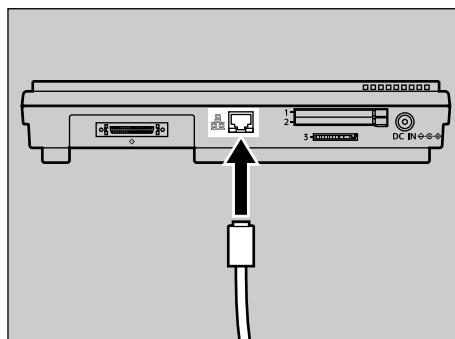
本機とPCは、10BASE-Tまたは100BASE-TXのクロスネットワークケーブルを使って接続してください。ハブ (HUB) などのネットワーク機器が利用できる場合は、10BASE-Tまたは100BASE-TXのストレートネットワークケーブルをご利用ください。

設定作業に使用するPCのネットワーク設定情報を変更します。作業完了後にPCのネットワーク設定を元に戻すために必要な情報を控えてください。

1 PCと本機を接続します。

クロスネットワークケーブルを使用する場合

- 1 本機のネットワーク用インターフェースにクロスネットワークケーブルを接続します。

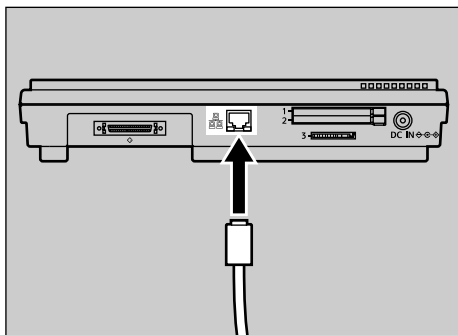


ZKJH060J

- 2 クロスネットワークケーブルのもう片方のコネクタを、PCのネットワークインターフェースに接続します。

ハブ(HUB)が利用できる場合

- ① 本機のネットワーク用インターフェイスにストレートネットワークケーブルを接続します。

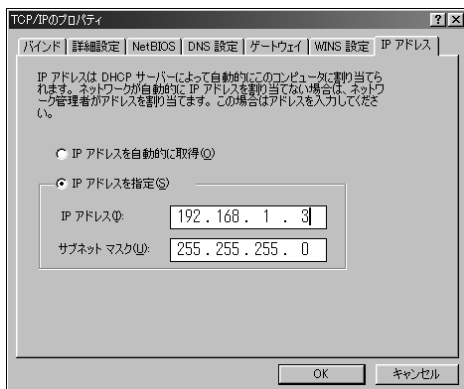


ZKJH060J

- ② ストレートネットワークケーブルのもう一方のコネクターを、ハブ(HUB)などのネットワーク機器に接続します。
- ③ PCが②のネットワーク機器にケーブル接続されていることを確認します。

接続されていない場合は、10BASE-Tまたは100BASE-TXのストレートネットワークケーブルを使って接続してください。

- ② PCのIPアドレスを192.168.1.3、サブネットマスクを255.255.255.0に変更します。



- ③ PCを再起動します。

PCのIPアドレスが192.168.1.3に変更されます。

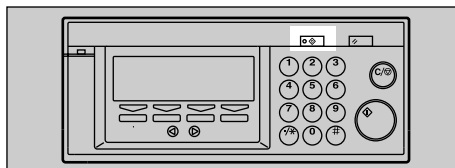
- ④ 本機のPCカードスロットに、無線LANカードを挿入します。

🔍 参照

無線LANカードの装着については、⇒ P.24 「無線LANカードを装着する」を参照してください。

- ⑤ 本機の電源をONにします。

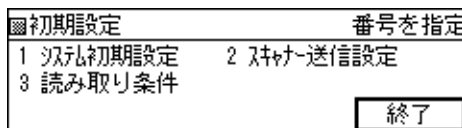
- ⑥ 本機の【初期設定】キーを押します。



ZKJS020J

初期設定画面が表示されます。

- ⑦ [1] キーを押します。

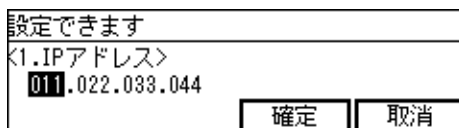


- ⑧ [設定] を押します。



「1.IPアドレス」入力画面が表示されます。

- ⑨ テンキーを使って「192.168.1.2」を入力します。



📎 補足

- 数値は、3桁ずつ入力します。
- 3桁入力したら、【#】キーまたは【Ⓢ】キーを押します。次の3桁が入力できる状態になります。
- 間違えたときは【クリア/ストップ】キーを押します。入力した3桁の数値がクリアされますので、正しい数値を入力し直してください。

10 [確定] を押します。

8の画面が表示されます。

11 [↓次ページ] を押します。

「2.サブネットマスク」が表示されます。

12 **9**～**10**と同様の手順で、[2.サブネットマスク] に255.255.255.0を設定します。

13 [↓次ページ] を4回押し、[設定] を押します。

「6. ネットワークブート」入力画面が表示されます。

14 ネットワークブートが「NONE」になっていることを確認して、[取消] を押します。



補足

- 現在、設定されている値には、「*」が付いて表示されます。
- 設定が異なる場合は、上記の値を表示させた状態で [確定] を押します。

15 **7**～**14**と同様の手順で、[9.通信速度]が「自動設定」、[10.I/Fの切り替え]が「Ethernet」になっていることを確認します。

16 [前メニュー] を押し、[終了] を押します。

初期設定を終了し、電源ON時の待機画面に戻ります。

重要

- 電源ON時の待機画面に戻るまでは、本機の電源をOFFにしないでください。変更した設定が反映されずに、すべて工場出荷時の設定に戻る場合があります。

17 PCのWebブラウザを起動します。

18 WebブラウザのURL欄に「http://192.168.1.2/」を入力します。

Web Status Monitorが起動します。



参照

Web Status Monitorについては⇒ P.63 「IPSIOSCAN BOXへのアクセス手順」を参照してください。

19 メインメニューから [設定] をクリックします。

パスワード入力ダイアログボックスが表示されます。

補足

- 一度設定をクリックしてパスワードを入力していれば、2回目からはパスワード入力ダイアログボックスは表示されません。その場合は**20**に進んでください。

20 ユーザー名に「ricoh」を入力し、パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

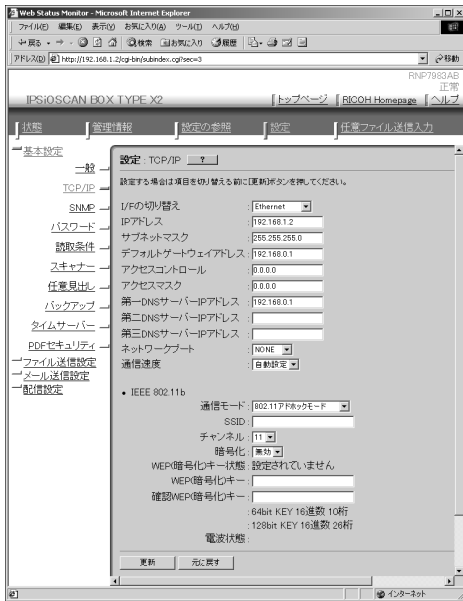
補足

- ユーザー名は「ricoh」(半角小文字)に固定です。
- パスワードは、工場出荷時に「ricoh」に設定されています。[設定] → [パスワード] で変更可能です。

設定画面が表示されます。

21 サブメニューの [基本設定] → [TCP/IP] をクリックします。

22 各項目を設定します。



参照

⇒ P.39 「[システム初期設定] の設定項目」

❖ I/Fの切り替え

無線LANカードを有効にするには「IEEE 802.11b」に設定します。

❖ ネットワークブート

- NONE
固定IPアドレスの場合に選択します。「NONE」を選択したときは、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイアドレス]も設定します。
- DHCP
DHCP 環境の場合に選択します。[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイアドレス]はDHCPサーバーから取得するため、入力しないでください。

❖ 通信モード

- インフラストラクチャーモード
ワイヤレスルーター(アクセスポイント)を介して有線ネットワークと無線ネットワークを統合し、ひとつのネットワークを構成するモードです。無線LANを構成するすべてのパソコンや本機、ワイヤレスルーター等を識別するために、同一ネットワーク内の機器に同じ [SSID] (ESS-ID)を設定します。

補足

- インフラストラクチャーモードの場合、更新後、電波の強さが [電波状態] 欄に % で表示されます。
- アドホックモード
ワイヤレスルーター(アクセスポイント)を介さずにネットワークを構成するモードです。無線LANカードを装着した機器のみのネットワークで、1～14チャンネルの任意の同じ [チャンネル] (周波数帯)を設定して通信します。
- 802.11b アドホックモード
アドホックモードの一種ですが、[チャンネル]のほかに [SSID] (ESS-ID)も設定します。

❖ 暗号化

通信データを暗号化するかしないかを設定します。「有効」に設定した場合は、暗号化に用いる秘密キーを [WEP(暗号化)キー] 欄と [確認WEP(暗号化)キー] 欄に入力します。秘密キーは16進数(半角の0～9、半角a～fまたは半角A～F)で入力します。

23 [更新] をクリックします。

設定した値が本機に書き込まれます。

24 1で接続したケーブル類を外します。

25 PCのネットワーク設定を元に戻します。

26 本機の電源をOFF/ONして再起動させます。

補足

- I/F の切り替えを行ったときと、ネットワークブートを DHCP に変更したときは、設定内容を反映させるために必ず本機を再起動させてください。

連結スキャナーのカウンターや消耗品の交換時期を調べる

本機の操作画面を使って、連結スキャナーの読取カウンターを調べたり、IS250D/IS255D、IS220DC/IS225DC の ADF パッドやピックアップローラーといった消耗品の交換時期の管理ができます。

● 制限

- 連結スキャナーがIS250D/IS255D、IS220DC/IS225DC以外のときは、ADFパッドカウンターやピックアップローラーカウンターは半輝度表示され、機能しません。
- カウントの方法の詳細については、連結スキャナーによって異なります。各カウンター値は、読取枚数等の目安としてお使いください。

❖ ADFパッドカウンター

IS250D/IS255D、IS220DC/IS225DC の ADF パッドの交換時期の目安用カウンターです。[クリア]を押すとカウンター値が0になりますので、ADFパッドを交換したときに[クリア]を押して、ADFパッド交換後のカウンター値 (ADF 読取枚数) がわかるようにします。

❖ ピックローラーカウンター

IS250D/IS255D、IS220DC/IS225DC のピックアップローラーの交換時期の目安用カウンターです。[クリア]を押すとカウンター値が0になりますので、ピックアップローラーを交換したときに[クリア]を押して、ピックアップローラー交換後のカウンター値 (読取枚数) がわかるようにします。

カウンター項目について

❖ 読取枚数

連結されたスキャナーの総読み取り枚数を表示します。ADF/コンタクト(原稿)ガラス別に表示します。

📎 補足

- 両面原稿を1枚読み取った場合、連結スキャナーが同時両面読取のときは1枚とカウントされますが、反転両面読取の場合は2枚としてカウントされます。

❖ 読取ページ数

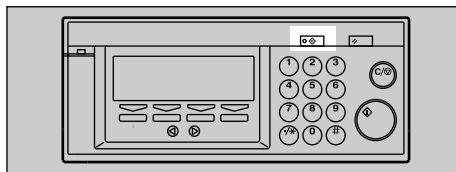
連結されたスキャナーの総読み取りページ数を表示します。ADF/コンタクト(原稿)ガラス別に表示します。

📎 補足

- 両面読取機能があるスキャナーでは、1枚の原稿の両面を読み取った場合は、原則、2ページとしてカウントされますが、連結スキャナーによっては1ページとカウントされるものがあります。

カウンター表示・クリアの操作手順

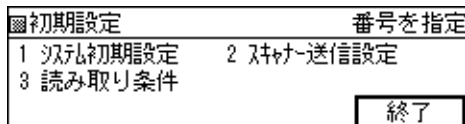
- 1 【初期設定】キーを押します。



ZKJ020J

初期設定画面が表示されます。

- 2 【2】キーを押します。



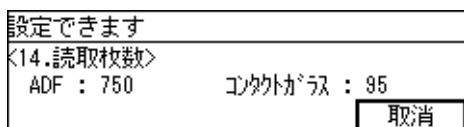
「1.送信/TWAIN優先設定」が表示されます。

- 3 【↓次ページ】を使って、「14.読取枚数」を表示させます。

4 [設定] を押します。



5 表示されたカウンターを確認したら、[取消] を押します。



4 のスキャナー設定の項目選択画面「14. 読取枚数」に戻ります。

6 [↓次ページ] を押します。

「15. 読取ページ数」が表示されます。

7 **4**~**6**と同様にして、読取ページ数を確認します。

スキャナー設定の項目選択画面「16.ADFパッドカウンター」画面になります。

 補足

- 連結スキャナーがIS250D/IS255D、IS220DC /IS225DC以外の場合は、**12**に進んでください。

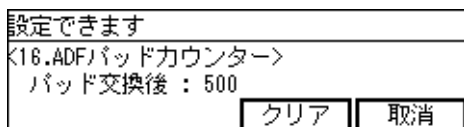
8 [設定] を押します。



パッド交換後のカウンターが表示されます。

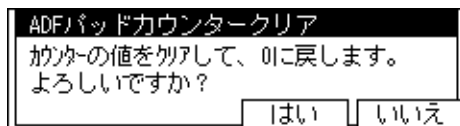
ADFパッドを交換したとき

1 [クリア] を押します。



クリア確認画面が表示されます。

2 [はい] を押します。



ADFパッドカウンターが0になり、**1**の画面に戻ります。

 補足

- 交換していないときは、[いいえ] を押します。

9 [取消] を押します。

8 のスキャナー設定の項目選択画面「16.ADFパッドカウンター」に戻ります。

10 [↓次ページ] を押します。

スキャナー設定の項目選択画面「17. ピックローラーカウンター」が表示されます。

11 **8**~**9**と同様にして、ピックアップローラーカウンターを確認またはクリアします。

10 のスキャナー設定の項目選択画面「17. ピックローラーカウンター」に戻ります。

12 [前メニュー] を押します。



2 の初期設定画面に戻ります。

13 [終了] を押します。

初期設定を終了し、電源ON時の待機画面に戻ります。

メールアドレス一括登録/書き出し時のフォーマット

登録エントリー情報

メール送信時に、あて先の [To:] および [Cc:] に表示されるメールアドレスの情報が書き込まれた CSV ファイルです。

登録エントリー情報ファイル例

1行目	#登録エントリー情報
2行目	#Format Version:3.1.1.0
3行目	#取得日時:09/03/2006 12:00:58
4行目	#機器名:RNP6219DA
5行目	#アドレス:192.168.1.15
6行目	#登録番号,種別,名前,表示名,常用,見出し1,見出し2,見出し3,E-mail,送信者,パスワード,ユーザーコード,所属グループ
7行目	[00001],[A],[ishihara],[石原],[1],[1],[7],[3],[ishihara@abcd.com],[1],[],[],[1]
8行目	[00015],[A],[suzuki],[鈴木],[1],[1],[7],[3],[suzuki@xyz.co.jp],[1],[TlzMDQ==],[],[1]

補足

- 1～6行目は認識用の固定行です。一括登録時は、まず書き出しを行って、これらの情報を取得することをお奨めします。書き出し時のデフォルトファイル名は“(識別名)_addr.csv”(例：RNP6219DA_addr.csv)です。
- 登録する情報は7行目以降に、各項目をカンマで区切って記入します。
- 各項目は[]で囲んでください。

❖ 登録番号

Web Status Monitorの [設定] → [メール送信設定] → [メールアドレス] の [登録番号] に相当する項目です。半角数字00001～50000で、重複しないように設定してください。

❖ 種別

メールアドレスの種別ですが、本システムでは「A」(ユーザー)に固定です。

❖ 名前

Web Status Monitorの [設定] → [メールアドレス] の [名前] に相当する項目です。半角で20文字(全角で10文字)まで設定できます。

❖ 表示名

本機の操作画面に表示される名前です。半角で13文字(全角で6文字)まで設定できます。

❖ 常用

常用見出しに表示するときは「1」、表示しないときは「0」を設定します。

❖ 見出し1、見出し2、見出し3

各見出しの先頭から何番目の所属見出し(常用を除く)に所属するかを1~10の数字で表します。各見出しの所属見出しについては、機器タグ情報を参照してください。

例えば、見出し2が「常用」、「ABC」、「DEF」、「GHI」...の順に並んでいるときに、見出し2が「3」となっているユーザーは、「GHI」の所属見出しに所属します。

❖ E-mail

電子メールアドレスです。

❖ 送信者

送信者として登録する場合は「1」、登録しない場合は「0」を設定します。

❖ パスワード

送信者として登録したときに、[パスワード保護]を「する」にした場合の保護パスワードで、暗号化されて表示されています。

 補足

- パスワード保護をしたいユーザーを一括登録用にCSVファイルで加工するときは、パスワードをnullにして一括登録し、Web Status Monitorの [設定] → [メール送信設定] → [メールアドレス] の [変更] で保護パスワードを設定してください。

❖ ユーザーコード

本システムでは使用しません。

❖ 所属グループ

本システムでは使用しません。

機器タグ情報

メール/ファイル送信時のあて先の見出し情報のCSVファイルです。

補足

- 機器タグ情報ファイルの [取り込み] はできません。登録エントリー情報ファイルを表計算ソフトやテキストエディターで作成するときの参照用です。

CSVファイル例

1行目	#機器タグ情報
2行目	#取得日時:09/03/2006 12:01:32
3行目	#機器名:RNP6219DA
4行目	#アドレス:192.168.1.15
5行目	#常用見出し登録,しない=0,する=1,
6行目	見出し 1 登録,あ=1,か=2,さ=3,た=4,な=5,は=6,ま=7,や=8,ら=9,わ=10,
7行目	見出し 2 登録,ABC=1,DEF=2,GHI=3,JKL=4,MNO=5,PQRS=6,TUV=7,WXYZ=8,
8行目	見出し 3 登録,1=1,2=2,3=3,4=4,5=5,

補足

- 1～5行目は認識用の固定行です。
- 書き出し時のデフォルトファイル名は“(識別名)_taginfo.csv”(例：RNP6219DA_taginfo.csv)です。

❖ 6行目(見出し1登録)

「かな」見出しの所属見出しです。

❖ 7行目(見出し2登録)

「英数」見出しの所属見出しです。

❖ 8行目(見出し3登録)

「任意見出し」の所属見出しです。

[読み取り条件設定] の制約

[読み取り条件設定] の [3.原稿サイズ] で設定したサイズと異なるサイズの前稿をADFにセットして読み取る場合、本機の設定や連結スキャナーの機種によっては、[3.原稿サイズ] で設定しておいたサイズで読み取られる場合があります。詳細については、以下の表を参照してください。

スキャナー機種名	IS250D/IS255D IS220DC/IS225DC	IS760D IS330DC/IS330DC EX IS450 EX/IS450E EX/IS450D EX
ネットワークTWAINドライバーでの読み取り時	<ul style="list-style-type: none"> • [読み取り条件設定] の [3.原稿サイズ] で設定した原稿サイズで読み取り 	
配信、送信(Scan to E-mail、Scan to SMB、Scan to FTP)での読み取り時	<ul style="list-style-type: none"> • [読み取り条件設定] の [3.原稿サイズ] で設定した原稿サイズで読み取り 	<ul style="list-style-type: none"> • [スキャナー送信設定] の [5.圧縮設定(多値)] で [圧縮] を指定して、フルカラーまたはグレースケールで読み取りを行った場合、設定した原稿サイズで読み取り • 上記以外の条件で読み取りを行った場合、[読み取り条件設定] の [3.原稿サイズ] でセットした原稿サイズで読み取り

仕様

形式	外付けボックスタイプ	
インターフェース	画像入力	SCSI2インターフェース × 1 (50ピンハーフピッチ・メス)
	画像出力	Ethernetインターフェース × 1 (10BASE-Tまたは100BASE-TX)
	機能拡張	PCカードType IIインターフェース × 2 SDカード用インターフェース × 1
操作部	表示部	240×64ドット STN液晶(4行白黒表示)
	操作キー	10キー、4選択、2方向、スタート、クリア/ストップ、初期設定、リセット、#、*
	表示言語	日本語(漢字)
ウォームアップタイム	最大40秒	
メモリー	RAM：128MB	
自己診断機能	あり(ハングアップ時の電源OFF/ON復帰)	
主なスキャナー支援機能	ネットワークTWAINドライバー対応 メール送信機能 ファイル送信(SMB)機能 ファイル送信(FTP)機能 Ridoc配信対応機能	
耐久性	5年間	
使用環境	5～32℃、10～85%RH ^{*1}	
電源	AC100V±10%、50/60Hz±3Hz	
消費電力	8W以下(オプション非装着時)	
大きさ	幅290mm/奥行き120mm/高60mm(ゴム足含む)	
重量	本体：1kg以下	

*1 連結されたスキャナー本体の仕様に依存するため、詳細についてはスキャナー本体に付属の使用説明者を参照してください。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

GPL/LGPL適用ソフトウェアについて

本製品に含まれるソフトウェアは、GPL/LGPL適用ソフトウェアを使用しております。

本製品をご利用、ご購入のお客様には、対象ソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があります。本製品で使用しているGPL/LGPL適用ソースコードの入手をご希望されるお客様は、<http://www.ricoh.com/support/linux/>にアクセスしてください。

BSDライセンス適用ソフトウェアについて

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

Copyright (c) 1985, 1989, 1990 The Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The Apache Software License 適用ソフトウェアについて

Apache License Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.
5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

APACHE HTTP SERVER SUBCOMPONENTS:

The Apache HTTP Server includes a number of subcomponents with separate copyright notices and license terms. Your use of the source code for the these subcomponents is subject to the terms and conditions of the following licenses.

For the MD5 Message-Digest library component:

Copyright (C) 1995, Board of Trustees of the University of Illinois

(C) Copyright 1993,1994 by Carnegie Mellon University All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Carnegie Mellon University not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Carnegie Mellon University makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

CARNEGIE MELLON UNIVERSITY
DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CARNEGIE MELLON UNIVERSITY BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Copyright (c) 1991 Bell Communications Research, Inc. (Bellcore)

Permission to use, copy, modify, and distribute this material for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Bellcore not be used in advertising or publicity pertaining to this material without the specific, prior written permission of an authorized representative of Bellcore. BELLCORE MAKES NO REPRESENTATIONS ABOUT THE ACCURACY OR SUITABILITY OF THIS MATERIAL FOR ANY PURPOSE. IT IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES.

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc.
Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

"THE BEER-WARE LICENSE" (Revision 42):

<phk@login.dknet.dk> wrote this file. As long as you retain this notice you can do whatever you want with this stuff. If we meet some day, and you think this stuff is worth it, you can buy me a beer in return. Poul-Henning Kamp

For the expat-lite library component:

Copyright (c) 1998, 1999 James Clark. Expat is subject to the Mozilla Public License Version 1.1. Alternatively you may use expat under the GNU General Public License instead.

For the regex library component:

Copyright 1992, 1993, 1994 Henry Spencer. All rights reserved. This software is not subject to any license of the American Telephone and Telegraph Company or of the Regents of the University of California.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose on any computer system, and to alter it and redistribute it, subject to the following restrictions:

1. The author is not responsible for the consequences of use of this software, no matter how awful, even if they arise from flaws in it.
2. The origin of this software must not be misrepresented, either by explicit claim or by omission. Since few users ever read sources, credits must appear in the documentation.

3. Altered versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software. Since few users ever read sources, credits must appear in the documentation.
4. This notice may not be removed or altered.

For the expat xml parser library component:

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

For the mod_mime_magic component:

Copyright (c) 1996-1997 Cisco Systems, Inc.

This software was submitted by Cisco Systems to the Apache Group in July 1997. Future revisions and derivatives of this source code must acknowledge Cisco Systems as the original contributor of this module. All other licensing and usage conditions are those of the Apache Group.

Some of this code is derived from the free version of the file command originally posted to comp.sources.unix. Copyright info for that program is included below as required.

Copyright (c) Ian F. Darwin, 1987. Written by Ian F. Darwin.

This software is not subject to any license of the American Telephone and Telegraph Company or of the Regents of the University of California.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose on any computer system, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The author is not responsible for the consequences of use of this software, no matter how awful, even if they arise from flaws in it.
2. The origin of this software must not be misrepresented, either by explicit claim or by omission. Since few users ever read sources, credits must appear in the documentation.
3. Altered versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software. Since few users ever read sources, credits must appear in the documentation.
4. This notice may not be removed or altered.

For the mod_imap component:

"macmartinized" polygon code copyright 1992 by Eric Haines, erich@eye.com

For the zb test and ab support components:

This program is Copyright (C) Zeus Technology Limited 1996.

This program may be used and copied freely providing this copyright notice is not removed.

This software is provided "as is" and any express or implied warranties, including but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall Zeus Technology Ltd. be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute good or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on theory of liability. Whether in contract, strict liability or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

JPEGソフトウェアについて

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.

All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M. I. T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.) So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated. "

TIFFソフトウェアについて

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

UCD-SNMPソフトウェアについて

-- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) --

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

-- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) --

Copyright (c) 2001, Networks Associates Technology, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the NAI Labs nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

-- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) --

Portions of this code are copyright (c) 2001, Cambridge Broadband Ltd..

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MD5ソフトウェア使用許諾文について

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc.
Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

索引

アルファベット索引

- ADF薄紙モード **49**
- ADFに原稿をセットしたとき **102**
- ADFパッドカウンター **50, 138**
- Apacheライセンス **146**
- BSDライセンス **146**
- Cc:を指定する **98**
- CD-ROMの構成 **82**
- FIRMWARE **41**
- FTPサーバー **73**
- FTPサーバー **74**
- FTPサーバーに送信されたファイル **116**
- FTPサーバーの指定 **114**
 - [FTPサーバー] の操作手順 →
[メールアドレス] の操作手順 **66**
- FTPサーバーへのファイル送信 **113**
- FTPサーバーへのファイル送信概要 **11**
- FTPサーバー名 **73**
- GPL/LGPLライセンス **146**
- I/Fの切り替え **41, 137**
- IPSiOSCAN BOXにアクセスする **62**
- IPSiOSCAN BOXを使うとできること **9**
- IPアドレス **39**
- JPEGライセンス **151**
- MD5ライセンス **154**
- PCカードスロット **15**
- PDFセキュリティ
 - 操作手順 **69**
 - 登録 **71**
- Ridoc Desk Navigator Ltのインストール **84**
- Ridoc Desk Navigator Lt **6**
- Ridoc Document Router/Pro **6**
- Ridoc Document Router/Proを利用した配信 **119**
- Ridoc I/O Adminのインストール **86**
- Ridoc配信
 - 概要 **12**
 - 設定の概要 **28**
 - 操作手順の流れ **119**
- SCSIコネクタ **15**
- SDカードスロット **15**
- SMB **10**
- SMBの指定 **106**
- sRGB設定 **48**
- TIFFライセンス **152**
- TWAINスキャナー
 - 概要 **13**
 - 使用手順の流れ **121**
 - 設定の概要 **30**
 - ドライバーのインストール **83**
- TWAINスキャナーとして使う **121**
- TWAINドライバー
 - 読み取り例 **122**
- UCD-SNMPライセンス **153**
- Web Status Monitorで登録する項目 **70**
- Web Status Monitor **63**
- Web Status Monitorの画面と操作方法 **64**
- Webブラウザを使って設定する **62**
- WEPキー **137**

あ行

- アクセスコントロール **40**
- アクセスマスク **40**
- 圧縮設定(2値) **47**
- 圧縮設定(多値) **47**
- あて先と件名を指定する **96**
 - メール **96**
- あて先の指定
 - ファイル送信:FTP **114**
 - ファイル送信:SMB **106**
- あて先を指定する **96**
- アドレス帳自動更新 **47**
- 暗号化 **137**
- 一覧表の見方 **31**
- 一括登録 **68**
- 移動キー **14**
- インストール **86**
 - Ridoc Desk Navigator Lt **84**
 - Ridoc I/O Admin **86**
 - TWAINドライバ **83**
 - ネットワークTWAINドライバ **83**
- インターフェース **144**
- エラーメッセージ
 - Ridoc配信・ファイル送信時の操作画面 **129**
 - Webブラウザ上 **131**
 - 本体に関するエラー **126**
 - 読み取り条件に関するエラー **127**
- オートクリア時間 **46**
- 思いどおりに読み取れないとき **125**

か行

- 開始位置 **55**
- 解像度 **55**
- 概要
 - 読み取った画像をメールで送信する **91**
- カウンターに関連する項目 **138**
- カウンターの表示とクリア **138**
- 各部の名称 **14**
- 画面上のキーの選びかた **16**
- 管理情報 **38**
- キーの選びかた **16**
- キー表示名 **71, 74, 75**
- 機器タグ情報 **142**
- 機能設定と待機画面 **17**
- 機能選択 **47**
- 共有フォルダーに送信されたファイルについて **111**
- 共有フォルダーにファイル送信する **105**
- 共有フォルダーの指定 **106**
- 共有フォルダーへのファイル送信概要 **10**
- 【クリア/ストップ】キー **14**
- 原稿ガラスに原稿をセットしたとき **103**
- 原稿サイズ **55**
- 原稿種類 **54**
- 原稿の向きと読取面について **88**
- 原稿面を指定する **88**
- 原稿をセットする **87**
 - 原稿のセット場所について **88**
 - スキャナー送信機能、またはスキャナー印刷機能の場合 **87**
- 言語切り替え **41**
- 件名を指定する **98**
- 孤立点除去 **56**
- こんなときには **125**

さ行

作業エリア **64**
サブネットマスク **39**
サブメニュー **64**
時刻付きファイル名
 ファイル送信(FTP) **116**
 ファイル送信(SMB) **111**
時刻なしファイル名
 ファイル送信(FTP) **117**
 ファイル送信(SMB) **112**
システム初期設定 **39**
[システム初期設定] の設定項目 **39**
[システム初期設定] の設定をする **42**
指定色消去 **56**
【#】キー **14**
重送検知 (WSM) **51**
終了 **124**
仕様 **144**
使用可能送信機能 **20, 41**
 設定 **44**
 登録 **70**
使用可能送信機能(WSM) **50**
消耗品の交換時期 **138**
初期設定項目一覧 **32**
初期設定画面 **20**
【初期設定】キー **14**
初期設定項目一覧 **31**
所属見出し **72, 74, 75**
白黒反転 **56**
スキャナー支援機能 **144**
スキャナー送信設定 **46**
[スキャナー送信設定] の設定項目 **46**
[スキャナー送信設定] の設定をする **52**
【スタート】キー **14**
スムーズング **56**
接続
 スキャナー **21**
 電源コード **22**
 ネットワーク **22**
設置環境 **21**
設定
 無線LAN **134**
設定確認の操作手順 **78**
[設定] (Web Status Monitor)の操作手順 **65**
設定をクリア **49**

選択画面を表示する **48**
操作画面 **14**
送信/TWAIN優先設定 **46**
送信時接続禁止時間 **46**
送信者 **92**
送信者を指定する **101**
送信する **102**
送信の確認 **104**
ソフトウェアのインストール **82**

た行

第一DNS サーバー IP アドレス (WSM) **40**
第三DNS サーバー IP アドレス (WSM) **41**
第二DNS サーバー IP アドレス (WSM) **41**
タイムサーバー **70**
タイムサーバー IP アドレス **70**
タイムゾーン (WSM) **50**
単位系設定 **48**
追加原稿待ち時間 (WSM) **49**
通信速度 **41**
通信モード **137**
テストボタン
 任意ファイル送信入力 **110**
 バックアップ時 **80**
 リストア時 **81**
デフォルトゲートウェイアドレス **39**
テンキー **14**
電源インジケータ **14**
電源OFFのしかた **23**
電源ONのしかた **23**
電源コネクタ **15**
電源スイッチ **14**
電波障害 **145**
電波状態 **41**
同梱品一覧 **7**
登録エントリー情報 **140**
登録済みの共有フォルダーへの
 ファイル送信 **105**
登録番号 **71, 73, 75**
取り込み
 [設定] 全体 **79**
 メールアドレス **68**
ドロップアウトカラー →指定色消去 **56**

な行

長さ誤差 (WSM) **51**
名前 **75**
並び順 **73**
任意の共有フォルダーへのファイル送信 **108**
[任意ファイル送信入力] の操作方法 **109**
任意ファイル送信
送信手順の流れ **108**
ネットワークTWAINスキャナー
概要 **13**
使用手順の流れ **121**
設定の概要 **30**
ドライバーのインストール **83**
ネットワークTWAINスキャナーとして
使う **121**
ネットワークTWAINドライバー
読み取り例 **122**
ネットワークブート **40, 137**
ネットワーク用インターフェース **15**
濃度 **56**

は行

配信サーバー IPアドレス **41**
配信先の指定 **120**
配信時の1文書最大サイズ **49**
バックアップ
[設定] 全体 **79**
メールアドレス **67**
バックアップファイル名
バックアップ時 **80**
リストア時 **81**
ピックアップカウンター **50, 138**
日付設定 **41**
表示の例 **3**

ファイル形式 **56**
ファイル送信 **72**
ファイル送信(FTP)
概要 **11**
設定の概要 **27**
ファイル名 **116**
保存場所 **116**
送信手順の流れ **113**
ファイル送信(SMB)
概要 **10**
設定の概要 **26**
送信手順の流れ **105**
任意フォルダー **108**
ファイル名 **111**
保存場所 **111**
ファイル送信(SMB)の指定 **106**
ファイル送信パス **71**
任意ファイル送信入力 **109**
バックアップ時 **80**
リストア時 **81**
[ファイル送信パス] の操作手順 →
[メールアドレス] の操作手順 **66**
ファイル送信パス名 **71**
ファイル名
任意ファイル送信入力 **110**
ファイル送信(FTP) **116**
ファイル送信(SMB) **111**
ファイル名の指定 **107**
ファンクションキー **14, 16**
フィルター **56**
復元
[設定] 全体 **79**
メールアドレス帳 **68**
物理アドレス **41**
ヘッダーエリア **64**
ポーリング間隔 **70**
保存 **124**
保存場所
ファイル送信(FTP) **116**
ファイル送信(SMB) **111**

ま行

- マルチページTIFF **57**
- 【見出し】キー **14**
- 見出し選択 (WSM) **50**
- 無線LANの設定 **134**
- メインメニュー **64**
- メール **76**
 - 概要 **91**
- メールアドレス **75**
- メールアドレス一括登録/書き出し時のフォーマット **140**
- メールアドレス帳の一括登録 **68**
- メールアドレス帳の書き出し **67**
- [メールアドレス] の操作手順 **66**
- メール送信
 - 概要 **9**
 - 設定の概要 **25**
- メール送信を行う前に **94**
- メールで送信する **91**
- メールの内容 **92**
- メール、ファイル送信の待機画面 **95**

や行

- 読取エリア **55**
- 読取時刻付き **111, 116**
- 読取終了後の動作 **48**
- 読み取り条件設定 **54**
- [読み取り条件設定] で登録する項目 **54**
- [読み取り条件設定] を登録する **58**
- [読取条件] の操作手順 **65**
- 読取条件名(WSM) **54**
- 読み取り条件を指定する **99**
- 読み取り設定を確認する **100**
- 読取ページ数 **50, 138**
- 読取枚数 **50, 138**
- 読み取りを開始する **102**

ら行

- リストア
 - [設定] 全体 **79**
 - メールアドレス **68**
- 【リセット】キー **14**
- 略称・総称 **6**
- ログインパスワード
 - 任意ファイル送信入力 **110**
 - バックアップ時 **80**
 - リストア時 **81**
- ログインユーザー名
 - 任意ファイル送信入力 **109**
 - バックアップ時 **80**
 - リストア時 **81**
- ログ送信 **76**

わ行

- 枠消去幅 **49**

MEMO

■ 商標

- Adobe、Adobe AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
 - PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
 - MS[®]、Microsoft[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
 - その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。
- * Windows[®] 95の製品名は、Microsoft[®] Windows[®] 95です。
 - * Windows[®] 98の製品名は、Microsoft[®] Windows[®] 98です。
 - * Windows[®] Meの製品名は、Microsoft[®] Windows[®] Millennium Edition(Windows Me)です。
 - * Windows[®] 2000の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows[®] 2000 Professional
 - Microsoft[®] Windows[®] 2000 Server
 - * Windows[®] XPの製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows[®] XP Home Edition
 - Microsoft[®] Windows[®] XP Professional
 - * Windows Server[™] 2003の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows Server[™] 2003 Standard Edition
 - Microsoft[®] Windows Server[™] 2003 Enterprise Edition
 - Microsoft[®] Windows Server[™] 2003 Web Edition
 - * Windows NT[®] 4.0の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows NT[®] Server 4.0
 - Microsoft[®] Windows NT[®] Workstation 4.0

❗重要

- 本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
- 本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とおお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社リコー

東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>


お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文はお買い上げの販売店にご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは最寄りのサービス実施店にご連絡ください。転居の際は、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介します。

リコープリンターコールセンターIPSiOダイヤル

製品の操作方法に関するお問い合わせは、「リコープリンターコールセンターIPSiOダイヤル」にご連絡ください。

コールはイプシオ
 **0120-56-1240**
FAX 0120-479-417

- 受付時間：9～12時、13～17時（土、日、祝日、リコーの休業日を除く）
- ※対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音をさせていただいております。

最新スキャナードライバーおよびユーティリティ情報

最新版のスキャナードライバーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

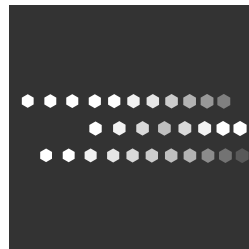
- インターネット/リコーホームページ：<http://www.ricoh.co.jp/>

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

リコーは環境に配慮し、説明書の印刷に大豆から作られたインキの使用を推進しています。この説明書はエコマーク商品に認定された再生紙を使用し、リサイクルに配慮し製本しています。この説明書が不要になったときは、資源回収、リサイクルに出しましょう。

Printed in Japan

JA 2006年3月 G425-8501



使用説明書



G4258501